

新病院整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

萩前・一本木遺跡 I

— 第3分冊 —

2017年3月

高松市教育委員会

插 表 目 次

表 1	土器觀察表 (1)	1	表 23	土器觀察表 (23)	23
表 2	土器觀察表 (2)	2	表 24	土器觀察表 (24)	24
表 3	土器觀察表 (3)	3	表 25	土器觀察表 (25)	25
表 4	土器觀察表 (4)	4	表 26	土器觀察表 (26)	26
表 5	土器觀察表 (5)	5	表 27	土器觀察表 (27)	27
表 6	土器觀察表 (6)	6	表 28	土器觀察表 (28)	28
表 7	土器觀察表 (7)	7	表 29	土器觀察表 (29)	29
表 8	土器觀察表 (8)	8	表 30	土器觀察表 (30)	30
表 9	土器觀察表 (9)	9	表 31	土器觀察表 (31)	31
表 10	土器觀察表 (10)	10	表 32	土器觀察表 (32)	32
表 11	土器觀察表 (11)	11	表 33	土器觀察表 (33)	33
表 12	土器觀察表 (12)	12	表 34	土器觀察表 (34)	34
表 13	土器觀察表 (13)	13	表 35	土器觀察表 (35)	35
表 14	土器觀察表 (14)	14	表 36	土器觀察表 (36)	36
表 15	土器觀察表 (15)	15	表 37	土器觀察表 (37)	37
表 16	土器觀察表 (16)	16	表 38	土器觀察表 (38)	38
表 17	土器觀察表 (17)	17	表 39	土器觀察表 (39)	39
表 18	土器觀察表 (18)	18	表 40	土器觀察表 (40)	40
表 19	土器觀察表 (19)	19	表 41	土製品觀察表	41
表 20	土器觀察表 (20)	20	表 42	玉器觀察表	42
表 21	土器觀察表 (21)	21	表 43	石器・石製品觀察表	43
表 22	土器觀察表 (22)	22	表 44	金屬製品・鉄製品觀察表	44

図 版 目 次 (1)

図版 1 (1) 第 3～6 調査区 全景 (北東から)	(2) 10・竪穴 90 カマド完掘状況 (南から)
(2) 第 3～6 調査区 全景 (南西から)	(3) 3・竪穴 45 (南東から)
図版 2 (1) 第 3・4 調査区 全景 (北東から)	(4) 3・竪穴 45 カマド遺物出土状況 (南から)
(2) 第 6・7 調査区 作業風景 (北西から)	(5) 3・竪穴 45 遺物出土状況 (北西から)
(3) 第 7 調査区 全景 (北東から)	(6) 3・竪穴 45 遺物出土状況 (南西から)
図版 3 (1) 第 8・9 調査区 全景 (北東から)	(7) 6・竪穴 2 (南から)
(2) 第 11 調査区 全景 (南西から)	(8) 6・竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)
図版 4 (1) 第 10 調査区 西半全景 (南西から)	図版 13 (1) 10・竪穴 110 (東から)
(2) 第 10 調査区 東半全景 (東から)	(2) 10・竪穴 110 カマド遺物出土状況 (南から)
図版 5 (1) 第 12 調査区 全景 (南から)	(3) 10・竪穴 110 北西部遺物出土状況 (北から)
(2) 第 13 調査区 全景 (東から)	(4) 45・竪穴 5 (南から)
図版 6 (1) 第 20 調査区 全景 (東から)	(5) 10・竪穴 201 (南から)
(2) 第 21 調査区 全景 (北から)	(6) 10・竪穴 201 カマド完掘状況 (南から)
(3) 第 22 調査区 全景 (北から)	(7) 6・竪穴 9 (南東から)
図版 7 (1) 第 23 調査区 全景 (北から)	(8) 6・竪穴 9 カマド完掘状況 (南から)
(2) 第 24 調査区 全景 (北から)	図版 14 (1) 7・竪穴 7 (北東から)
(3) 9-SD205 全景 (南から)	(2) 24・竪穴 7 (南東から)
図版 8 (1) 第 42 調査区 全景 (南から)	(3) 7・竪穴 7 カマド完掘状況 (南から)
(2) 第 43 調査区 全景 (南から)	(4) 8・竪穴 2 (南から)
(3) 第 44 調査区 全景 (南から)	(5) 8・竪穴 2 カマド断面 (南から)
(4) 第 45 調査区 全景 (南から)	(6) 21・竪穴 20 (南から)
図版 9 (1) 7・竪穴 5 (北西から)	(7) 21・竪穴 20 カマド完掘状況 (南から)
(2) 42・竪穴 5 (南西から)	図版 15 (1) 5・竪穴 30 (南から)
(3) 6・竪穴 8 (南東から)	(2) 22・竪穴 7 (西から)
(4) 6・竪穴 8 遺物出土状況 (南から)	(3) 5・竪穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)
(5) 6・竪穴 8 カマド完掘状況 (南から)	(4) 10・竪穴 310 掘方 (南から)
(6) 6・竪穴 7 (南から)	(5) 10・竪穴 310 カマド遺物出土状況 (南から)
(7) 6・竪穴 7 カマド遺物出土状況 (南から)	(6) 4・竪穴 99 (東から)
(8) 6・竪穴 7 カマド完掘状況 (南から)	(7) 10-SK2 (東から)
図版 10 (1) 23・竪穴 8 (南東から)	図版 16 (1) 3・竪穴 108 (南東から)
(2) 8・竪穴 1 (南から)	(2) 3・竪穴 108 カマド完掘状況 (南東から)
(3) 8・竪穴 1 遺物出土状況 (南から)	(3) 22・竪穴 6 (南から)
(4) 8・竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)	(4) 4・竪穴 30 (南西から)
(5) 8・竪穴 4 (東から)	(5) 4・竪穴 18 (南西から)
(6) 8・竪穴 4 カマド遺物出土状況 (南から)	(6) 21・竪穴 18 (南東から)
(7) 8・竪穴 4 カマド完掘状況 (南から)	(7) 3・竪穴 35 (南東から)
(8) 8・竪穴 4 遺物出土状況 (西から)	(8) 21・竪穴 18 カマド完掘状況 (南から)
図版 11 (1) 3・竪穴 55・竪穴 35 (南西から)	図版 17 (1) 5・竪穴 1 (南西から)
(2) 3・竪穴 55 カマド遺物出土状況 (南から)	(2) 5・竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)
(3) 6・竪穴 6 (南から)	(3) 6・竪穴 3・40 (南東から)
(4) 23・竪穴 6 (南から)	(4) 6・竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)
(5) 6・竪穴 6 カマド完掘状況 (南から)	(5) 3・竪穴 110・4・竪穴 122 (南から)
(6) 23・竪穴 6 SK3 遺物出土状況 (南から)	(6) 3・竪穴 34 (南東から)
(7) 21・竪穴 10 (東から)	(7) 21・竪穴 8 (南東から)
(8) 6・竪穴 1 (東から)	(8) 21・竪穴 8 カマド完掘状況 (南東から)
図版 12 (1) 10・竪穴 90 (西から)	図版 18 (1) 10・竪穴 210 第 1 生活面 (南から)

図 版 目 次 (2)

(2) 10- 竪穴 210 第 2 生活面 (南から)	(7) 4- 掘立 1 SP39 断面 (北から)
(3) 10- 竪穴 210 第 1 カマド完掘状況 (南から)	(8) 4- 掘立 1 SP36 断面 (北東から)
(4) 10- 竪穴 210 第 2 カマド完掘状況 (南から)	図版 24 (1) 4- 掘立 1 SP37 断面 (東から)
(5) 10- 竪穴 210 須恵器杯蓋 (210) 出土状況 (北から)	(2) 4- 掘立 1 SP38 断面 (北から)
(6) 3- 竪穴 40 (東から)	(3) 10- 掘立 3 (北西から)
(7) 3- 竪穴 40 カマド完掘状況 (南から)	(4) 12- 掘立 1 (東から)
(8) 23- 竪穴 5 (南東から)	(5) 12- 掘立 2 (東から)
(9) 5-SP51 土師器甕 (204) 出土状況 (東から)	(6) 3- 掘立 1 (北東から)
図版 19 (1) 10- 竪穴 301 (南から)	(7) 11- 掘立 1 (東から)
(2) 10- 竪穴 301 カマド完掘状況 (南から)	(8) 5- 掘立 1 断面 (南から)
(3) 10- 竪穴 301 鉄鎌 (T17) 出土状況 (南から)	図版 25 (1) 4-SD3 断面 (東から)
(4) 4- 竪穴 91 (南から)	(2) 3-SD1 断面 (東から)
(5) 10- 竪穴 50・30 (南東から)	(3) 4-SD3 遺物出土状況 (南から)
(6) 10- 竪穴 50 カマド完掘状況 (南東から)	(4) 4-SD3 遺物出土状況 (南から)
(7) 10- 竪穴 50 須恵器台付甕 (255) 出土状況 (北から)	(5) 3・4-SD23 断面 (南西から)
(8) 10- 竪穴 50 北東隅遺物出土状況 (北から)	(6) 5-SD49 断面 (南東から)
図版 20 (1) 10- 竪穴 60 (北から)	(7) 5-SD52 断面 (北西から)
(2) 10- 竪穴 60 カマド完掘状況 (南から)	(8) 7-SD1 断面 (東から)
(3) 5- 竪穴 35 (南東から)	図版 26 (1) 6-SD11 a 断面 (南東から)
(4) 24- 竪穴 1 (南から)	(2) 23-SD11 d 断面 (西から)
(5) 10- 竪穴 1 (南東から)	(3) 8-SD5 ①断面 (南西から)
(6) 10- 竪穴 1 カマド断面 (東から)	(4) 9-SD5 ②断面 (南西から)
(7) 21- 竪穴 2 (南から)	(5) 8-SD3 ①断面 (北東から)
(8) 21- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)	(6) 8-SD6 a 断面 (南から)
図版 21 (1) 3- 竪穴 50 (南西から)	(7) 8-SD6 c 断面 (南から)
(2) 3- 竪穴 50 カマド調査時状況 (南から)	(8) 8-SD6 d 断面 (北から)
(3) 22- 竪穴 1 (南から)	図版 27 (1) 8-SD7 断面 (東から)
(4) 22- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)	(2) 8-SD7 遺物出土状況 (西から)
(5) 5- 掘立 1 (南東から)	(3) 9-SD6 a 断面 (北から)
(6) 5- 掘立 1 (南東から)	(4) 9-SD6 c 断面 (北から)
(7) 22- 掘立 1 (北西から)	(5) 9-SD6 全景 (南東から)
(8) 22- 掘立 1 (北西から)	(6) 9-SD200 a 断面 (南から)
図版 22 (1) 6- 掘立 1 (南西から)	(7) 9-SD200 b 断面 (南から)
(2) 6- 掘立 1 (東から)	(8) 9-SD110 b 断面 (南から)
(3) 9- 掘立 1 (南東から)	図版 28 (1) 9-SD115 断面 (北から)
(4) 9- 掘立 2 (東から)	(2) 9-SD216 断面 (南から)
(5) 7- 掘立 1 (北から)	(3) 9-SD222 断面 (西から)
(6) 7- 掘立 2 (北東から)	(4) 9-SD117 b 断面 (南西から)
(7) 10- 掘立 2 (北西から)	(5) 9-SD117 c 断面 (南から)
(8) 10- 掘立 1 (北から)	(6) 9-SD117 d 断面 (南から)
図版 23 (1) 4- 掘立 1 (西から)	(7) 9-SD117 全景 (北から)
(2) 4- 掘立 1 SP33 断面 (北西から)	(8) 9-SD117 遺物出土状況 (東から)
(3) 4- 掘立 1 SP34 断面 (南から)	図版 29 (1) 11-SD7 b 断面 (西から)
(4) 4- 掘立 1 SP41 断面 (南西から)	(2) 11-SD7 c 断面 (東から)
(5) 4- 掘立 1 SP42 断面 (西から)	(3) 45-SD4 断面 (西から)
(6) 4- 掘立 1 SP81 断面 (北から)	(4) 10-SD202 断面 (北から)

図 版 目 次 (3)

(5) 10-SD216 断面 (東から)	(3) 5-SK53 断面 (東から)
(6) 11-SD12 c断面 (南から)	(4) 22-SK2 断面 (北西から)
(7) 11-SD9 b断面 (南西から)	(5) 6-SK12 断面 (南東から)
(8) 11-SD8 a断面 (北西から)	(6) 6-SK15 断面 (南から)
図版 30 (1) 12-SD22 断面 (北から)	(7) 6-SK45 断面 (南東から)
(2) 12-SD25 断面 (北から)	(8) 6-SK39 断面 (南東から)
(3) 12-SD26 完掘状況 (南から)	図版 36 (1) 6-SK14 断面 (北西から)
(4) 12-SD26 b断面 (北から)	(2) 6-SK10 断面 (東から)
(5) 9-SD205 a断面 (南から)	(3) 6-SK18 断面 (南から)
(6) 9-SD205 b断面 (南から)	(4) 24-SK5 断面 (南西から)
(7) 9-SD205 c断面 (南から)	(5) 24-SK6 断面 (南から)
(8) 9-SD205 d断面 (南から)	(6) 6-SK24 断面 (南から)
図版 31 (1) 9-SD205 e断面 (南から)	(7) 6-SK29 断面 (南から)
(2) 9-SD205 f断面 (南から)	(8) 23-SK1 断面 (西から)
(3) 9-SD205 完掘状況 (南から)	図版 37 (1) 24-SK25 断面 (西から)
(4) 11-SD2 断面 (南から)	(2) 24-SK13 断面 (西から)
(5) 11-SD1 断面 (南から)	(3) 24-SK14 断面 (南から)
(6) 11-SD3 断面 (南から)	(4) 24-SK2 断面 (西から)
(7) 11-SD4 断面 (南から)	(5) 6-SK46 断面 (北東から)
(8) 13-SD1 断面 (東から)	(6) 24-SK8 断面 (東から)
図版 32 (1) 13-SD2 a断面 (東から)	(7) 24-SK11 断面 (北西から)
(2) 13-SD2 b断面 (東から)	(8) 6-SK13 断面 (東から)
(3) 13-SD3 a断面 (東から)	図版 38 (1) 24-SK10 断面 (西から)
(4) 13-SD3 b断面 (東から)	(2) 7-SK6 断面 (南東から)
(5) 3-SK3 断面 (西から)	(3) 7-SK28 断面 (東から)
(6) 3-SK28 断面 (南から)	(4) 7-SK33 断面 (北から)
(7) 3-SK102 断面 (南西から)	(5) 7-SK48 断面 (東から)
(8) 3-SK29 断面 (西から)	(6) 7-SK13 断面 (東から)
図版 33 (1) 3-SK101 断面 (南から)	(7) 8-SK8 断面 (西から)
(2) 3-SK106・107 断面 (西から)	(8) 8-SK16 断面 (東から)
(3) 3-SK37 断面 (西から)	図版 39 (1) 9-SK1 断面 (南から)
(4) 4-SK100 断面 (西から)	(2) 9-SK2 断面 (南から)
(5) 21-SK19 断面 (南東から)	(3) 9-SK4 断面 (西から)
(6) 4-SK25 断面 (西から)	(4) 9-SK40 断面 (南西から)
(7) 4-SK102 断面 (西から)	(5) 43-SK2 断面 (東から)
(8) 4-SK105 断面 (南から)	(6) 9-SK5 断面 (北東から)
図版 34 (1) 21-SK1 断面 (北から)	(7) 9-SK106 断面 (南から)
(2) 4-SK107 断面 (西から)	(8) 9-SK202 断面 (東から)
(3) 4-SK50 断面 (南から)	図版 40 (1) 9-SK207 断面 (西から)
(4) 4-SK120 断面 (西から)	(2) 9-SK219 断面 (西から)
(5) 21-SK7 断面 (西から)	(3) 10-SK3 断面 (東から)
(6) 5-SK11 断面 (南から)	(4) 10-SK55 断面 (北から)
(7) 4-SK2 断面 (北から)	(5) 10-SK10 断面 (南東から)
(8) 4-SK2 遺物出土状況 (南から)	(6) 10-SK31 断面 (北から)
図版 35 (1) 5-SK67 断面 (南西から)	(7) 10-SK57 断面 (北西から)
(2) 5-SK68 断面 (西から)	(8) 10-SK52 断面 (南から)

図 版 目 次 (4)

図版 41 (1) 10-SK58 断面 (南から)	(6) 14- 壁穴 12 カマド完備状況 (南から)
(2) 10-SK106 断面 (東から)	(7) 14- 壁穴 15 (南東から)
(3) 10-SK111 a 断面 (西から)	(8) 14- 壁穴 15 カマド完備状況 (南から)
(4) 10-SK124 b 断面 (南から)	図版 49 (1) 14- 壁穴 16 (南東から)
(5) 10-SK112 断面 (南から)	(2) 14- 壁穴 16 カマド完備状況 (南から)
(6) 10-SK112 断面 (西から)	(3) 14- 壁穴 18 (南から)
(7) 10-SK128 断面 (南から)	(4) 14- 壁穴 18 カマド完備状況 (南東から)
(8) 10-SK207 全景 (南から)	(5) 14- 壁穴 19 (南から)
図版 42 (1) 10-SK207 断面 (西から)	(6) 14- 壁穴 19 カマド完備状況 (南から)
(2) 10-SK132 断面 (北西から)	(7) 14- 壁穴 20 (南西から)
(3) 10-SK208 断面 (北から)	(8) 14- 壁穴 22 (南から)
(4) 10-SK311 断面 (北東から)	図版 50 (1) 14- 壁穴 21 (南東から)
(5) 10-SK312 断面 (東から)	(2) 14- 壁穴 21 カマド完備状況 (南から)
(6) 11-SK6 断面 (東から)	(3) 14- 壁穴 23 (南東から)
(7) 11-SK11 断面 (南から)	(4) 14- 壁穴 23 カマド完備状況 (南から)
(8) 11-SK29 断面 (南東から)	(5) 14- 壁穴 24 (南東から)
図版 43 (1) 11-SK30 断面 (南から)	(6) 14- 壁穴 10 (南から)
(2) 11-SK15 断面 (南から)	(7) 14- 壁穴 26 (南西から)
(3) 11-SK31 断面 (東から)	(8) 14- 壁穴 25・26・28・29・31 (北東から)
(4) 12-SK8 断面 (東から)	図版 51 (1) 14- 壁穴 29 (南東から)
(5) 12-SK42 断面 (南東から)	(2) 14- 壁穴 29 カマド完備状況 (南から)
(6) 12-SK1 断面 (南から)	(3) 14- 壁穴 30 (南から)
(7) 12-SK2 断面 (東から)	(4) 14- 壁穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)
(8) 13-SK6 断面 (西から)	(5) 14- 壁穴 32 (南から)
図版 44 (1) 13-SK4 断面 (北西から)	(6) 14- 壁穴 40 (南西から)
(2) 13-SK4 全景 (南から)	(7) 27- 壁穴 1 (南東から)
(3) 13-SK12 断面 (南から)	(8) 27- 壁穴 1 カマド完備状況 (南から)
(4) 13-SK12 遺物出土状況 (南から)	図版 52 (1) 27- 壁穴 2 (南東から)
(5) 20-SK7 断面 (南から)	(2) 27- 壁穴 2 カマド遺物出土状況 (南から)
(6) 20-SK10 断面 (南から)	(3) 27- 壁穴 3 (南から)
(7) 9-SK7 断面 (南西から)	(4) 27- 壁穴 3 カマド完備状況 (南から)
(8) 9-SX126 断面 (南東から)	(5) 27- 壁穴 130 (北東から)
図版 45 (1) 第 14 調査区 全景 1 回目 (南西から)	(6) 27- 壁穴 140 (北東から)
(2) 第 14 調査区 全景 2 回目 (北西から)	(7) 14- 掘立 1 (南東から)
図版 46 (1) 第 14 調査区 全景 3 回目 (北西から)	(8) 14- 掘立 10 (南東から)
(2) 第 27 調査区 全景 (北から)	図版 53 (1) 14- 掘立 3 (西から)
図版 47 (1) 第 27 調査区 南半全景 (北から)	(2) 14- 掘立 6 (東から)
(2) 14- 壁穴 1 (南西から)	(3) 14- 掘立 7 (東から)
(3) 14- 壁穴 1 カマド完備状況 (南西から)	(4) 27- 掘立 16 (南から)
(4) 14- 壁穴 2 (南西から)	(5) 14- 掘立 2 (西から)
(5) 14- 壁穴 2 カマド完備状況 (南から)	図版 54 (1) 27- 掘立 1 断面 (南から)
図版 48 (1) 14- 壁穴 4 (東から)	(2) 14- 掘立 11 SP418 遺物出土状況 (東から)
(2) 14- 壁穴 4 カマド完備状況 (南から)	(3) 14- 掘立 14 SP383 断面 (南から)
(3) 14- 壁穴 5 (南から)	(4) 14- 掘立 9 SP291 断面 (東から)
(4) 14- 壁穴 5 カマド完備状況 (南から)	(5) 14- 掘立 9 SP292 断面 (東から)
(5) 14- 壁穴 12 (南東から)	(6) 14- 掘立 9 SP293 断面 (東から)

図 版 目 次 (5)

(7) 14-掘立 9 SP289 断面 (西から)	(7) 14-SK260 断面 (北東から)
(8) 14-掘立 9 SP295 断面 (西から)	(8) 14-SK272 断面 (南西から)
(9) 14-掘立 9 SP294 断面 (西から)	図版 61 (1) 14-SK275 断面 (南東から)
図版 55 (1) 14-SD1 c 断面 (東から)	(2) 14-SK278 断面 (南東から)
(2) 14-SD2 a 断面 (東から)	(3) 14-SK284・285 断面 (東から)
(3) 14-SD1・2 b 断面 (南から)	(4) 14-SK286 断面 (西から)
(4) 14-SD3 断面 (東から)	(5) 14-SK319 断面 (西から)
(5) 14-SD46 断面 (東から)	(6) 14-SK288 断面 (東から)
(6) 14-SD53 断面 (東から)	(7) 14-SK322 断面 (南から)
(7) 14-SD60 a 断面 (西から)	(8) 14-SK324 断面 (西から)
(8) 14-SD60 b 断面 (西から)	図版 62 (1) 14-SK325 断面 (南から)
図版 56 (1) 14-SD39 a 断面 (西から)	(2) 14-SK378 断面 (南から)
(2) 14-SD39 b 断面 (西から)	(3) 14-SK399 断面 (南東から)
(3) 14-SD39 全景 (東から)	(4) 14-SK401 断面 (南から)
(4) 27-SD139 全景 (東から)	(5) 14-SK404 断面 (西から)
(5) 14-SD29 断面 (東から)	(6) 14-SK406 断面 (南から)
(6) 14-SD70 a 断面 (西から)	(7) 14-SK407 断面 (西から)
(7) 14-SD70 b 断面 (西から)	(8) 14-SK410 断面 (西から)
(8) 14-SD70 c 断面 (西から)	図版 63 (1) 第 28 調査区 全景 (南から)
図版 57 (1) 14-SD70 d 断面 (西から)	(2) 28-壁穴 4・30 (南から)
(2) 14-SD70 e 断面 (北から)	(3) 28-壁穴 4 カマド完備状況 (西から)
(3) 14-SD70 f 断面 (南から)	図版 64 (1) 第 29 調査区 東半全景 (東から)
(4) 14-SD70 g 断面 (南から)	(2) 第 29 調査区 西半全景 (東から)
(5) 14-SD70 (南西から)	(3) 第 36 調査区 全景 (東から)
図版 58 (1) 14-SD380 a 断面 (南から)	(4) 第 47 調査区 全景 (西から)
(2) 27-SD12 断面 (西から)	図版 65 (1) 第 30 調査区 全景 (北東から)
(3) 27-SD12 遺物出土状況 (東から)	(2) 第 30 調査区 追加全景 (北から)
(4) 14-SK55 断面 (北西から)	(3) 第 31 調査区 全景 (北から)
(5) 14-SK5 断面 (南から)	図版 66 (1) 第 34 調査区 全景 (南から)
(6) 14-SK22 断面 (東から)	(2) 第 32 調査区 西半全景 (西から)
(7) 14-SK24 断面 (南から)	(3) 第 32 調査区 東半全景 (北東から)
(8) 14-SK52 断面 (南から)	図版 67 (1) 第 35 調査区 全景 (北東から)
図版 59 (1) 14-SK54 断面 (南西から)	(2) 第 33 調査区 全景 (東から)
(2) 14-SK57 断面 (西から)	(3) 第 37 調査区 全景 (北から)
(3) 14-SK77 断面 (北から)	図版 68 (1) 第 38 調査区 全景 (東から)
(4) 14-SK80 断面 (東から)	(2) 第 40 調査区 全景 (南東から)
(5) 14-SK84 断面 (西から)	(3) 第 46 調査区 全景 (南西から)
(6) 14-SK98 断面 (東から)	図版 69 (1) 第 39 調査区 全景 (北から)
(7) 14-SK155 断面 (西から)	(2) 第 41 調査区 全景 (南から)
(8) 14-SK160 断面 (東から)	図版 70 (1) 28-壁穴 1 (南から)
図版 60 (1) 14-SK176 断面 (東から)	(2) 28-壁穴 30 カマド完備状況 (南から)
(2) 14-SK180 断面 (北西から)	(3) 28-壁穴 3 (南から)
(3) 14-SK234 断面 (南から)	(4) 28-壁穴 3 カマド完備状況 (南から)
(4) 14-SK238 断面 (南西から)	(5) 28-壁穴 6 (南から)
(5) 14-SK229 断面 (南から)	(6) 29-壁穴 50 (北から)
(6) 14-SK235 断面 (北から)	(7) 29-壁穴 20 (東から)

図 版 目 次 (6)

(8) 29- 壁穴 20 カマド完備状況 (北から)	図版 77 (1) 38-SD3 断面 (南から)
図版 71 (1) 29- 壁穴 30 (西から)	(2) 41-SD2 断面 (東から)
(2) 46- 壁穴 35 (南西から)	(3) 46-SD3・4 断面 (南東から)
(3) 46- 壁穴 12 (南から)	(4) 47-SD1 断面 (南から)
(4) 46- 壁穴 1 (南から)	(5) 28-SK5 断面 (南から)
(5) 46- 壁穴 5 (北から)	(6) 29-SK1 断面 (北から)
(6) 41- 壁穴 3・4 (南から)	(7) 29-SK11 断面 (北から)
(7) 36- 壁穴 12 (南西から)	(8) 29-SK12 断面 (南から)
(8) 29- 壁穴 45 遺物出土状況 (北から)	図版 78 (1) 29-SK14 断面 (南から)
図版 72 (1) 29- 壁穴 80 (北西から)	(2) 29-SK15 断面 (南から)
(2) 29- 壁穴 80 西側カマド完備状況 (南から)	(3) 29-SK16 断面 (北から)
(3) 29- 壁穴 80 遺物出土状況 (南から)	(4) 29-SK17 断面 (東から)
(4) 29- 壁穴 80 東側カマド完備状況 (南から)	(5) 29-SK18 断面 (南から)
(5) 41- 壁穴 1 断面 (西から)	(6) 29-SK19 断面 (南から)
図版 73 (1) 30-SD2 断面 (北から)	(7) 29-SK21 断面 (東から)
(2) 30-SD7 断面 (南西から)	(8) 29-SK19 遺物出土状況 (南から)
(3) 30-SD6 断面 (北から)	図版 79 (1) 29-SK33 断面 (南から)
(4) 29-SD35 断面 (東から)	(2) 29-SK36 断面 (南から)
(5) 29-SD64 断面 (東から)	(3) 29-SK51 断面 (南から)
(6) 29-SD10 断面 (南から)	(4) 29-SK58 断面 (南から)
(7) 31-SD1 断面 (東から)	(5) 29-SK65 断面 (南から)
(8) 32-SD20 断面 (北から)	(6) 29-SK66 断面 (南西から)
図版 74 (1) 32-SD20 遺物出土状況 (南から)	(7) 30-SK5 断面 (北から)
(2) 36-SD10 断面 (南から)	(8) 32-SK2 断面 (南東から)
(3) 33-SD1・2 断面 (北東から)	図版 80 (1) 32-SK3 断面 (南から)
(4) 41-SD1 断面 (西から)	(2) 32-SK12 断面 (東から)
(5) 41-SD1 断面 (東から)	(3) 32-SK13 断面 (南西から)
(6) 39-SD1 断面 (西から)	(4) 32-SK15 断面 (東から)
(7) 28-SD22 断面 (東から)	(5) 34-SK4 断面 (南から)
(8) 32-SD1 断面 (南から)	(6) 34-SK5 断面 (西から)
図版 75 (1) 32-SD10 断面 (北から)	(7) 37-SK1 断面 (西から)
(2) 34-SD2 断面 (南から)	(8) 37-SK2 断面 (東から)
(3) 36-SD1 断面 (南から)	図版 81 (1) 39-SK2 断面 (南から)
(4) 36-SD2 a 断面 (西から)	(2) 46-SK6 断面 (西から)
(5) 36-SD2 b 断面 (西から)	(3) 46-SK10 断面 (南から)
(6) 36-SD2 c 断面 (西から)	(4) 第 1 回現地説明会
(7) 36-SD4 断面 (南から)	(5) 第 2 回現地説明会
(8) 36-SD3 断面 (南から)	(6) 第 3 回現地説明会
図版 76 (1) 36-SD5 断面 (南から)	(7) 親子文化財教室の様子
(2) 36-SD6 断面 (南から)	(8) 現地説明会における遺物の公開風景
(3) 36-SD7 断面 (南から)	図版 82 (1) 第 9 調査区 噴霧確認状況 (東から)
(4) 36-SD8 断面 (南から)	(2) 第 5 調査区 噴霧確認状況 (西から)
(5) 36-SD9 断面 (南から)	(3) 第 7 調査区 噴霧確認状況 (西から)
(6) 36-SD11 断面 (南から)	
(7) 38-SD1 断面 (南西から)	
(8) 38-SD2 断面 (南西から)	

図 版 目 次 (7)

図版 83	出土遺物集合
図版 84	竪穴建物 出土遺物 (～TK 208 型式)
図版 85	竪穴建物 出土遺物 (TK 23～TK 10 型式)
図版 86	竪穴建物 出土遺物 (TK 10～TK 209 型式)
図版 87	石器・石製品・紡錘車
図版 88	玉類・土師・鉄滓他・鉄製品
図版 89	7-竪穴 5・6-竪穴 1 出土遺物
図版 90	6-竪穴 8 出土遺物
図版 91	6-竪穴 7 出土遺物
図版 92	3-竪穴 55・3-SK23 出土遺物
図版 93	4-竪穴 30・3-竪穴 50 出土遺物
図版 94	4-SK2・3-竪穴 35・5-竪穴 45・4-竪穴 1 出土遺物
図版 95	4-竪穴 20・3-竪穴 40・4-竪穴 99 出土遺物
図版 96	3-竪穴 45 出土遺物
図版 97	3-竪穴 45 出土遺物
図版 98	3-竪穴 108 出土遺物
図版 99	6-竪穴 2・7-竪穴 3・23-竪穴 5・21-竪穴 20・21-竪穴 2 出土遺物
図版 100	6-竪穴 3 出土遺物
図版 101	4-掘立 1・3-竪穴 110・5-竪穴 1・3-竪穴 40 出土遺物
図版 102	6-竪穴 9・7-竪穴 7・6-竪穴 6・22-竪穴 1 出土遺物
図版 103	3SD1 出土遺物
図版 104	7-掘立 1・24-SK2・24-SK5・45-SD1・45-SD4 他 出土遺物
図版 105	8-竪穴 1 出土遺物
図版 106	8-竪穴 4 出土遺物
図版 107	8-竪穴 2・8-SD7・9-SX126・9-SD117・9-SD3 出土遺物
図版 108	10-SP204・10-竪穴 60・10-竪穴 50・10-竪穴 90・10-竪穴 301 出土遺物
図版 109	10-竪穴 110 出土遺物
図版 110	10-竪穴 110・10-竪穴 310 出土遺物
図版 111	10-竪穴 210・10-竪穴 201 他 出土遺物
図版 112	11-SX5・11-SD7・遺構外・13-SK12 出土遺物
図版 113	14-竪穴 1・14-竪穴 4 出土遺物
図版 114	14-竪穴 4 出土遺物
図版 115	14-竪穴 22 出土遺物
図版 116	14-竪穴 25・14-竪穴 40・14-SK469・14-竪穴 28 出土遺物
図版 117	27-竪穴 1・14-竪穴 5・14-竪穴 21・14-竪穴 2 出土遺物
図版 118	14-竪穴 30 出土遺物
図版 119	27-竪穴 2・14-竪穴 29・14-竪穴 18 出土遺物
図版 120	14-竪穴 23・14-竪穴 20・14-竪穴 26・14-竪穴 16・14-竪穴 15・27-竪穴 3 出土遺物
図版 121	14-竪穴 12・14-掘立 14・14-掘立 11 出土遺物
図版 122	14-SD70 出土遺物
図版 123	14-SD70・27-SD12・14-SK165 出土遺物
図版 124	28-竪穴 1・28-竪穴 30・28-SK5・28-竪穴 3 出土遺物
図版 125	29-竪穴 45・29-竪穴 80 出土遺物
図版 126	29-SK19 出土遺物
図版 127	29-SX60・29-SD64・29-SD62・29-SK12・41-竪穴 3・30-SD7 出土遺物
図版 128	杯蓋他 出土遺物
図版 129	36-SD10・9-SD205・32-SD20 出土遺物
図版 130	9-SD205 出土遺物
図版 131	32-SD20 出土遺物
図版 132	36-SD10・33-SD2・34-SX3 他 出土遺物
図版 133	古代以降の出土遺物
図版 134	遺構外 出土遺物
図版 135	遺構外 出土遺物

觀察表



6- 豎穴 8 出土遺物

表1 土器観察表(1)

単位:cm (推定値)【残存額】【復元額】

図録番号	所収番号	遺物番号	遺構層位	種類・形状(部位)	分類	口縁底径高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質・装飾	残存率	備考
84 89	1	11	1	7・42-型穴5 床面直上	灰土器 杯蓋	① a イ 12.2 — 4.8	口縁部と天井部の境は突帯状の強い稜が走り、内面は段を有す。 【外】回転付、回転3振り(8) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】2.5/3/黄灰 軽質・2mm以下の繊維 堅硬	口 1/2	
84	1	11	2	7・42-型穴5 埋土	灰土器 杯蓋	① a イ (11.4) — [3.4]	口縁部と天井部の境は段が走り、外方に屈曲し内面に斜面を有す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N7/N/灰 軽質・2mm以下の繊維 堅硬	口 1/8	
84	1	11	3	7・42-型穴5 SP1	灰土器 杯蓋 (口縁)	① a イ — [3.2]	口縁部と天井部の境は強い稜が走り、内面は凹斜面を有す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 軽質・2mm以下の繊維・黒色粒質	口 1/8 以下	
84	1	11	4	7・42-型穴5 床面直上	灰土器 杯蓋 (口縁)	(11.2) — [2.8]	立ち上がりは直立し、受部境に溝を有す。内面は凹斜面を持つ。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 軽質・2mm以下の繊維 質	口 1/8	
84	1	11	5	7・42-型穴5 埋土	灰土器 杯蓋	① b イ (10.2) — 4.7	立ち上がりは内傾した後直立し、内面は凹斜面を有す。蓋面は浅く盛りあり。自然輪付帯のため、回転3振り不明。 【外】回転付、自然輪付帯 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N7/N/灰 軽質・2mm以下の繊維 質	口 1/8	
84 89	1	11	6	7・42-型穴5 埋土	灰土器 無蓋直杯	14.4 (10.2) — 12.9	杯蓋は輪形で深く、体部と口縁との境に強い稜が走り、輪縁波状文(8条1束1本)が走る。基部の太い脚部を取り付けハの字状に開き、杯蓋部は有縁輪面を持つ。 【外】回転付、回転3振り(4)、4方向対称 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】N7/N/灰 軽質・2mm以下の繊維 良好		完存
84 89	1	11	7	7・42-型穴5 SK2	土師器 鉢	B d 11.8 (4.6) 5.3	体部は輪形を呈す。口縁部は内湾し、肩部は丸く収める。 【外】付、板付、一部化粧土 【内】付	【外】SV6/6 【内】SV6/6 軽質・6mm以下の石英・長石 質	口 1/2	
84 89	1	11	8	7・42-型穴5 床面直上	土師器 直口蓋	(10.1) — [9.8]	口縁部は長く直線的に外傾し、肩部は丸く収める。体部は輪縁波が、内面は接合痕明瞭。 【外】板付 【内】板付、後3、9、指部5面	【外】SV7/4/7 【内】2.5/3/6 軽質・0.1~0.3mmの長石・石英 良好	頸 2/3	
84 89	1	11	9	7・42-型穴5 SK2	土師器 蓋	14.7 — [17.3]	口縁部は直曲・直線的に外傾し、肩部は、 【外】付、板付 【内】付、板付	【外】SV8/3/7 【内】SV8/4/7 軽質・6mm以下の石英・長石 質	口 1/2	
84	1	11	10	7・42-型穴5 床面直上	土師器 蓋	A2 c2 (13.0) — [6.7]	口縁部は直曲・外反し、肩部は、 【外】付 【内】付、板付	【外】SV5/5/3/7 【内】SV5/5/3/7 軽質・2mm以下の石英・長石 質	口 1/2	
89	1	13	11	6-型穴1 床面直上	灰土器 蓋	18.3 — [13.2]	口縁部は欠損。頸部は直立気味に立ち上がった後大きく外反す。頸部は2条装帯により文様帯が縁に区別され、輪縁波状文が1条ずつ配される。 【外】回転付、平行文付 【内】回転付、指部5面、体部・底面直付、直し	【外】SV9/4/7 【内】SV9/5/4 軽質・4mm以下の繊維・赤色粒質	頸 1/1	
1	13	12	6-型穴1 埋土	土師器 蓋	C IV b 15.0 — [6.3]	口縁部は直曲・外傾し、肩部は、 【外】付、板付 【内】付、板付	【外】2.5/3/5/6 【内】2.5/3/5/6 軽質・2mm以下の石英・長石 質	口 1/8		
1	13	13	6-型穴1 床面直上	土師器 蓋 (口縁)	A2 d1 (18.8) — [5.4]	口縁部は直曲・外傾し、肩部は、 【外】付 【内】付、板付	【外】2.5/3/7/3/7 【内】2.5/3/7/3/7 軽質・2mm以下の石英・長石・金雲母 質	口 1/3		
1	13	14	6-型穴1 埋土	土師器 蓋 (口縁)	B V e1 16.0 — [8.0]	頸部は直立し、口縁中央で折り返し口縁全体を内湾させる。体部に3号「1」。肩部は1 【外】口縁部付、指部5面、体部・底面直付 【内】口縁部付、指部5面	【外】SV5/5/4/7 【内】SV5/5/5/7 軽質・1mm以下の石英・黒色粒・金雲母 質	口 1/2		
90	1	15	15	6・23-型穴8 床面直上	灰土器 杯蓋	① a イ 10.9 2.3 5.0	立ち上がりはやや直立し、内面は凹斜面を有す。底面は深い丸底。 【外】回転付、回転3振り(8)、底面は浅く盛りあり 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 軽質・1mm以下の繊維・黒色粒質	完存	
90	1	15	16	6・23-型穴8 床面直上	灰土器 杯蓋	① a ャ 11.6 — 5.3	立ち上がりは直立し、内面はほぼ傾斜する底面を有す。底面は深い丸底。 【外】回転付、回転3振り(8) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 軽質・2mm以下の繊維 質	完存	
90	1	15	17	6・23-型穴8 床面直上	灰土器 杯蓋	② a オ 10.8 — 5.0	立ち上がりはほぼ直立し、内面は丸くおさめる。底面は深い丸底。 【外】回転付、回転3振り(4) 【内】回転付、静止付	【外】N6/灰 【内】N7/N/灰 軽質・2mm以下の繊維・黒色粒質	完存	
90	1	15	18	6・23-型穴8 床面直上	灰土器 杯蓋	③ b ウ 11.0 — 5.1	立ち上がりは内傾した後直立し、内面は凹斜面の凹斜面を有す。受部部に底面は浅く盛りあり。底面は丸底。 【外】回転付、回転3振り(4) 【内】回転付	【外】SV7/1/灰白 【内】SV7/1/灰白 軽質・6mm以下の繊維・黒色粒質	完存	
90	1	15	19	6・23-型穴8 床面直上	灰土器 杯蓋	④ b イ 11.0 — 5.4	立ち上がりはやや内傾し、内面は凹斜面を有す。底面は深い丸底で繊維状圧痕が現れる。 【外】回転付、回転3振り(4)、底面3切り未調整 【内】回転付、静止付	【外】2.5/3/7/灰白 【内】N7/N/灰 軽質・1mm以下の繊維・黒色粒質	完存	

表2 土器観察表(2)

単位:cm (推定値)【残存額】【復元額】

図 表 番 号	探 査 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口縁 底径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 構成	残 存 率	備考
	1	15	20	6・23-型穴8 埴土	甕器 杯身	(11.4) — [4.0]	立ち上がりは屈曲して直立し、内面は凹面を有す。受盤は長く水平にのびる。受け面に重ねた の成りふりあり。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 胎土:1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/8 以下	
	1	15	21	6・23-型穴8 貼床内	甕器 杯底 (口縁)	(12.6) — [3.2]	口縁部と天井部の境に強い稜が走り、端面は外方に 屈曲し凹面を有す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 胎土:1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/8	
104	1	15	22	6・23-型穴8 SK2	甕器土器 (口縁)	— — [2.6]	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を持つ。 【外】H1 【内】H1/4 青:2mm以下の長石 不良	【外】H10/6/4 【内】H10/7/4/7/4 青:2mm以下の長石 不良	破片	
	1	15	23	6・23-型穴8 埴土	土師質土器 底	8.2 6.8 1.4	口縁は短く外傾する。 【外】回転付、回転付切り 【内】回転付	【外】H10/8/2/灰白 【内】2.5/3/2/灰白 青:2mm以下の長石・炭石・赤色粒 不良	口 1/2	
	1	15	24	6・23-型穴8 埴土	土師質土器 底	(7.7) (6.0) 1.0	口縁は短く外傾する。 【外】回転付、回転付切り 【内】回転付	【外】H10/7/6/4 【内】H10/7/6/4 青:2mm以下の長石・炭石 不良	口 3/8	
	1	15	25	6・23-型穴8 埴土	土師質土器 底 (口縁)	— — [5.5]	口縁部は内面の屈曲が強く外面は直線する。 【外】H1/4 【内】板付	【外】H10/2/1/灰 【内】H10/3/1/灰 胎土:2mm以下の長石・炭石・赤色粒・ 金雲母 不良	口 1/8 以下	
	1	15	26	6・23-型穴8 埴土	土師質土器 底 (口縁)	(21.8) — [7.0]	口縁土器面を積み上げ、端面はくぼむ。 【外】H1/4 【内】H1/4、板付	【外】2.5/3/8/4/灰黄 【内】H10/8/4/灰黄 胎土:2mm以下の長石・赤色粒・金雲母 不良	口 1/8	
85 91	1	18	27	6-型穴7 埴土	甕器 杯身	11.0 6.4 5.1	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を有す。底面は 角丸平底。 【外】回転付、回転付切り(良) 【内】回転付	【外】H10/8/1/灰白 【内】H10/7/1/灰白 青:1mm以下の繊維・黒色粒 やや不良	受 1/2	
	1	18	28	6-型穴7 甕器底	甕器 杯身	(10.2) — [3.2]	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を有す。受盤 上面に強い稜がある。 【外】回転付、回転付切り(良) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】H10/5/2/灰赤 胎土:1mm以下の繊維 良	口 1/8	
85 91	1	18	29	6-型穴7 床面直上	甕器 有蓋高杯 (杯底)	10.5 — [5.1]	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を持つ。 【外】回転付、回転付切り(良)、3方向台形付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】H10/7/1/灰白 青:2mm以下の繊維・黒色粒 良好	口 3/4	
85 91	1	18	30	6-型穴7 SP2・カマド	甕器 有蓋高杯	11.8 8.8-9.2 7.9-8.9	立ち上がりはやや内傾し、内面は凹面を持つ。脚 部は短脚で、脚部と底面の境で屈曲。底面は有 蓋高杯面を持つ。受盤上面の一部が平ら。蓋あり。 【外】回転付、回転付、3方向円形付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】H10/5/灰 胎土:1mm以下の繊維 良好	口 3/8 底面 はば 完存	
85 91	1	18	31	6-型穴7 床面直上	甕器 有蓋高杯	10.4 8.5 8.7	立ち上がりは内傾し、内面は幅広い凹面を持つ。 脚部はハの字状に開き、脚部は下方に曲げて大く 収められ付着。 【外】回転付、回転付切り(良)、3方向台形付 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 青:2mm以下の繊維・黒色粒 良好	口 1/2 底面 完存	
85 91	1	18	32	6-型穴7 埴土	土師器 底	— — [9.6]	端面は緩やかに屈曲し、体部は緩斜を呈する。底面 外面はドーナツ状の浅いスズが付着。 【外】体部H1/4、1/4付 【内】→板付	【外】H10/3/3/灰黄 【内】H10/5/4/7/灰黄 胎土:1mm以下の長石・炭石・金雲母・ 赤色粒 不良	破 1/4	
85 91	1	18	33	6-型穴7 H1/4内底	土師器 底 (口縁)	(15.2) — [5.0]	口縁部は両面・外反する。端面は、 【外】H1 【内】H1	【外】H10/6/4 【内】H10/6/4 胎土:2mm以下の長石・炭石 良	口 1/5	
85 91	1	18	34	6-型穴7 H1/4内底	土師器 底	19.7 12.5 7.8	平底で肩のない短胴形を呈する。口縁部は屈 曲・外傾し端面は長く収められ、やや厚手で短脚な 作りである。 【外】H1/4、板付 【内】H1、板付	【外】H10/8/6/4 【内】H10/7/6/4 胎土:2mm以下の長石・炭石・H1/4 良	口 1/2	
85 91	1	18	35	6-型穴7 埴土	土師器 底	17.0 — [9.6]	口縁部は緩曲・外反し、端面は、 【外】H1 【内】H1、体部短脚形	【外】H10/6/4 【内】H10/6/4 胎土:2mm以下の長石・炭石・赤色粒・ 金雲母 不良	口 1/2	
91	1	18	36	6-型穴7 カマド	土師器 底 (H1/4底面)	16.3 (8.2) [24.1]	短脚付底。口縁部は残存しない。体部は長胴形を 呈し、底面の蓋孔は単孔開け付。 【外】H1/4、復付 【内】板付	【外】H10/6/4 【内】H10/6/4 胎土:1mm以下の長石・炭石・赤色粒 良	体へ 底面 完存	
105	1	21	37	6-型穴1 床面直上	甕器 杯底	11.9 — 4.5	口縁部と天井部の境に稜が走り、内面は凹面を有 す。天井部は丸い。 【外】回転付、回転付切り(良) 【内】回転付、板付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 胎土:1mm以下の繊維・黒色粒 良	完存	
105	1	21	38	6-型穴1 床面直上	甕器 杯身	(10.6) — 2 [5.6]	立ち上がりはやや内傾し、内面は凹面を有す。 底面は深い丸底。 【外】回転付、回転付切り(良) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 胎土:2mm以下の繊維・黒色粒 良	口 3/4	

表3 土器観察表(3)

単位:cm (推定値) [残存値] [埋元値]

図 表 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 構 層 位	種類 名称 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残 存 率	備考
105	1	21	39	8-型穴I 床面直上	東夷器 杯身	① a イ	10.9 — 4.7	立ち上がりは内傾し、内面は斜面を有す。底面は 角丸底。 [外]回転付、回転3振り(4)、2次焼成 [内]回転付、静止付	[外]10/87:4/7 (黄褐色) [内]3/6:1/2 粘土2mm以下の繊維・砂粒 不具	ほぼ 完存
105	1	21	40	8-型穴I SK6	土師器 甕	A1 Ⅲ c1	11.9 — 12.4	口縁部は緩やかに屈曲・外傾し、肩部c1。体部は縁 角丸底。底部外面にドーナツ状の濃いスス付着。 底部中央にドーナツ状の濃いススが付着した支脚 痕あり。 [外]口縁部14°付、体部下半部付 [内]口縁部14°付、体部付・底部正傾	[外]2,5/16:6/明黄褐色 [内]17,3/106:4/7 (橙 黄)0.5~1.5mmの石質・長石 不具	ほぼ 完存
105	1	21	41	8-型穴I SK6	土師器 甕	ⅢA	(20.9) — (9.2)	肩が微少な口縁部は緩やかに高曲・外反する。端 部は先離りしている。 [外]→ [内]縦形離	[外]17,3/105:6/明黄褐色 [内]17,3/105:6/明黄褐色 粘土1~2.5mmの石質・長石・砂粒 不具	口 1/2
105	1	21	42	8-型穴I カマド	土師器 甕	A2 Y	(10.9) 5.0 [27.5]	口縁部は残存しない。体部は長胴形を呈し、底面は 狭い半円面を持つ。底部中央にドーナツ状のスス が付着した支脚痕あり。 [外]14°付、1/1付 [内]板付、底部正傾	[外]5/16:5/明赤褐色 [内]17,3/105:6/明黄褐色 粘土0.5~2mmの石質・長石・砂粒・ 金雲母	体 1/1
105	1	21	43	8-型穴I カマド	土師器 甕 (口・体 部)	A Y d1	(25.7) — [25.0]	口縁部は直口し、肩部d1。把手貼付痕あり。外面の 底部付近は微傾し、表面が割れている。 [外]14°付、1/1付 [内]板付、1°	[外]17,3/106:6/橙 褐色10.5~2mmの石質・長石・砂粒 不具	口 1/8
106	1	25	44	8-型穴I 貼床内	東夷器 杯蓋	④ b イ	(11.4) — [4.3]	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内面は斜面 を有す。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土1mm以下の繊維 不具	口 1/8
106	1	25	45	8-型穴I 埋土	東夷器 杯蓋	④ c イ	(11.6) — [4.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内面は斜面 を有す。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土2mm以下の繊維 不具	口 1/4
106	1	25	46	8-型穴I 埋土	東夷器 杯身	②	(10.8) — [4.1]	立ち上がりはやや内傾し、内面は丸くおさめる。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土1mm以下の繊維 不具	受 1/3
106	1	25	47	8-型穴I 埋土	東夷器 杯身	②	(11.7) — [3.7]	立ち上がりはやや内傾し、内面は幅広い凹面を有 す。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土1mm以下の繊維・黒色粒 不具	受 1/8
106	1	25	48	8-型穴I 床面直上	東夷器 杯身	① b イ	10.8 3.8 4.7	立ち上がりはやや内傾し、内面は凹面を有す。底 面は深い丸底。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付、静止付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土2mm以下の繊維・黒色粒 不具	口 7/8
106	1	25	49	8-型穴I 床面直上	東夷器 杯身	① a ス	11.1 — 5.2	立ち上がりはほぼ直立し、内面は凹面が通る。底 面は丸底。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付、静止付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土2mm以下の繊維 不具	完存
106	1	25	50	8-型穴I 埋土	東夷器 杯身	③ —	(12.9) — [4.9]	立ち上がりは内傾し、内面は面を有す。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付、静止付	[外]10/6:7/灰 [内]3/7:3/灰 粘土1mm以下の黒色粒・繊維 不具	受 1/3
106	1	25	51	8-型穴I 床面直上	東夷器 広口甕		14.8 — [20.6]	体部は球形を呈する。口縁部は屈曲・外反し、端部 は上方に微み上げ外縁面をもつ。口縁部3°付 [外]回転付、平行文付 [内]回転付、1°付	[外]10/7:7/明赤褐色 [内]5/17:1/灰 粘土0.5~2mmの繊維・赤色粒 不具	ほぼ 完存
106	1	25	52	8-型穴I 床面直上	土師器 手取土器		8.2~9.9 5.6 5.2	瓶頸部。底面は、尖みをあげた平底で、体部は外縁 尖角に立ち上がる。内面に尖り付着。 [外]収拾付、底付着 [内]底部正傾	[外]10/105:6/明黄褐色 [内]10/105:6/明黄褐色 粘土0.5~1mmの石質・長石 不具	完存
106	1	25	53	8-型穴I 床面直上	土師器 甕	A3 B a	(19.6) — [18.4]	口縁部は直口・直立状に立ち上がり、肩部は丸く おさめる。体部は長胴形を呈し、底面は丸くおさ める。 [外]口縁部14°付、体部下半部付、下半板付 [内]口縁部14°付、体部付	[外]17,3/107:4/7 (橙 黄)1~3mmの石質・長石 不具	口 1/4
106	1	25	54	8-型穴I カマド	土師器 甕	ⅢA	(20.1) — 14.1	底面が微少な凹面を呈する。口縁部は緩 やかに高曲・外反する。端部は先離りしている。 [外]口縁部14°付、体部付 [内]口縁部14°付→→付、体部板付	[外]5/16:6/橙 褐色[内]5/16:5/明赤褐色 粘土0.5~2mmの石質・長石・砂粒 不具	口 1/8
106	1	25	55	8-型穴I カマド	土師器 甕	B	14.3 — [14.2]	瓶頸部。厚壁で、ふちあり。調整溝。端部は微少な 凹面をもつ。 [外]14°付、板付 [内]14°付、板付	[外]17,3/106:6/橙 褐色[内]10/87:4/7 (黄褐色) 粘土0.5~2mmの石質・長石・砂粒 不具	口 1/8 以下
92	1	28	56	3-型穴55・ 21-型穴10 床面直上	東夷器 杯蓋	② b ス	12.7~ 12.9 — 4.8	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内面は凹面 が通る。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土1mm以下の繊維・黒色粒 不具	完存
92	1	28	57	3-型穴55・ 21-型穴10 3°付付着	東夷器 杯身	③ b イ	(11.7) — [5.6]	立ち上がりは内傾し、内面は斜面を有す。受部 境に微少な凹面をもつ。底面は深い丸底。 [外]回転付、回転3振り(4) [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/17:1/灰 粘土1mm以下の繊維・黒色粒 不具	口 1/3 受 1/1
1	28	58		3-型穴55・ 21-型穴10 3°付上層	東夷器 杯身		(11.9) — [3.6]	立ち上がりは内傾し、内面は斜面を有す。 [外]回転付 [内]回転付	[外]5/16:5/青灰 [内]5/16:5/青灰 粘土1mm以下の繊維・黒色粒 不具	口 1/4

表4 土器観察表(4)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

国 庫 番 号	所 属 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】内	色調【外】内 土質 構成	残 存 率	備 考
92	1	28	59	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 器	② a 1	16.5 — 【16.0】	口縁部はく字状に強く屈曲・外傾し、肩部c。体 部は直線的。 【外】口縁部14mm、体部上半分10mm 【内】口縁部14mm→10mm、17mm	【外】2.5300/8焼 【内】2.5300/8焼 黒1～1mmの石英・長石 質	ほぼ 完全	
	1	28	60	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 器(口部)	a2	13.4 — 【8.2】	肩部は屈曲し、口縁部は鋭く外傾する。肩部v。2。 体部上半分は直線的な線形。 【外】口縁部14mm、体部上半分10mm 【内】口縁部14mm、体部上半分10mm	【外】7.5300/24焼 【内】10/83/1黒 黒1～1mmの石英・長石 質	口 1/2	
	1	28	61	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 杯蓋	b オ	(14.8) — 【4.4】	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は緩 有。 【外】口縁部14mm、体部上半分10mm 【内】口縁部14mm、体部上半分10mm	【外】5/4焼 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	口 1/8 で取上げ	3-型穴2 で取上げ
	1	28	62	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 杯身		(10.4) — 【2.9】	立ち上がりは内傾し、内肩部は緩有している。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/7/18白 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	口 1/8 以下	3-5K20で 取上げ
92	1	28	63	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 杯身	④ c 1	10.5 — 4.4	立ち上がりは内傾し、内肩部は緩有を有する。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/7/18白 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	ほぼ 完全	3-5K20で 取上げ
92	1	28	64	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 杯身		(13.0) — 【4.9】	立ち上がりは内傾気味に内傾し、内肩部は緩有を有 する。体部に沈着が2箇所あり、受部に軽微な焼き による焼きムラあり。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/106/1青灰 【内】5/5/18白 黒質1.5mm以下の線粒 質	口 1/7	3-型穴2 で取上げ
92	1	28	65	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 有蓋高杯	A	(10.1) 8.4 8.9	立ち上がりは内傾し、内肩部は緩有が走る。肩部 はく字状に強く、肩部は有蓋高杯を持つ。底面 あり。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/106/1青灰 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒 質	口 5/12 で取上げ	3-型穴2 で取上げ
	1	28	66	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 有蓋高杯(杯蓋)	A	(10.8) — 【4.2】	立ち上がりは内傾気味に内傾し、内肩部は緩有を有 する。杯底面に、く字状の穴の跡あり。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/7/18白 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	受 1/8	3-型穴2 で取上げ
	1	28	67	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 高杯(杯蓋)	A	— 8.4 【5.7】	肩部はく字状に強く、肩部は有蓋高杯を持つ。底面 あり。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/7/18白 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・赤色粒 質	口 1/7	3-5K20で 取上げ
92	1	28	68	3-型穴55・ 21-型穴10 土器 器		(21.6) — 【9.4】	口縁部は直立気味に立ち上がった後屈曲してき る。外方に開く。肩部外部に受蓋を付けた後、底面 となる。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/5/18白 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒 質	口 1/3	3-型穴2 で取上げ
94	1	29	69	4-型穴1 土器 有蓋高杯(杯蓋)	①	(11.6) — 【7.4】	立ち上がりは内傾し、内肩部は緩有を持つ。受部 に緩有の痕跡あり。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/6/18 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒 質	口 1/2	
102	1	30	70	6・23-型穴6 SK3 土器 杯蓋	② b ウ	12.3 — 4.0	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は緩 有。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/6/18 【内】5/6/18 黒1.5mm以下の線粒・黒色粒・白色結 晶土質	口 1/2	
	1	30	71	6・23-型穴6 SK3 土器 杯	B c	(13.7) — 【4.0】	体部は輪形を呈する。口縁部は内傾し、肩部は内傾す るを持つ。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】2.5300/6赤 【内】2.5300/4/7赤 黒質0.1～1mmの石英・長石・赤色 粒	口 1/3	
102	1	30	72	6・23-型穴6 SK3 土器 器(体部)	A1 V	(9.4) 6.6 【13.1】	体部上半と下半のみの残存で接合可。体部は直線的。 器部は湾い。底面により厚減着し。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/106/17赤 【内】5/106/17赤 黒1.5mm以下の線粒・黒色粒・金雲母 不純	底 1/1	
99	1	33	73	6-型穴2 土器 杯蓋	② b イ	(12.8) — 4.8	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は緩 有。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/6/18 【内】5/6/18 黒1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	口 1/6	
99	1	33	74	6-型穴2 土器 杯蓋	③ c ウ	(12.3) — 【4.5】	口縁部と天井部の境は緩有が走り、内肩部は緩有を有 する。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/6/18 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒 質	口 1/3	3013- SD1・4- 3033と接 合
99	1	33	75	6-型穴2 土器 杯蓋	a オ	(12.0) — 4.7	口縁部と天井部の境は緩有が走り、内肩部は緩有を有 しなにより丸みをおぼる。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/6/18 【内】5/7/18白 黒質1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	口 1/4	
128	1	33	76	6-型穴2 土器 有蓋高杯蓋(天井)		(4.0) (14.0) 【2.7】	つまみは大きく中央が窪む。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】5/7/18白 【内】5/6/18 黒1.5mm以下の線粒・黒色粒 質	つま みのみ	
99	1	33	77	6-型穴2 土器 瓶(口縁・把 手)	A B c2	(28.0) — 【22.0】	口縁部は直立し肩部近くで外傾。肩部c2。把手は 外角状を呈し、断面は円形。把手接合部は差込み接 合。 【外】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり 【内】口縁部14mm、体部外部に焼きムラあり	【外】7.5300/6焼 【内】10/83/18焼 黒質1.5mm以下の石英・長石・赤色粒 質	口 1/10	

表5 土器観察表 (5)

単位:cm (推定値)【残存値】【埋入値】

図 像 番 号	探 査 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備考	
107	1	35	78	8-型穴2 床面直上	煎煮器 杯蓋	⑤ e 9	12.0 — 4.5	口縁部と天井部の境は内縁が逆り、内縁部は幅広い の断面を有す。天井部はくぼむ。 【外】回転付、回転3割り(4) 【内】回転付	【外】S7/灰白 【内】S7/灰白 軽黄1mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 2/3	
107	1	35	79	8-型穴2 床面直上	煎煮器 杯身	— — 【4.2】	— — 【4.2】	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内縁部は凹斜面を 有す。 【外】回転付、回転3割り(4) 【内】回転付	【外】S6/灰 【内】S6/灰 軽黄1.5mm以下の緑粒 不具	口 1/3 以下	
107	1	35	80	8-型穴2 埋土	煎煮器 杯身	— — 【12.8】 【3.7】	— — 【12.8】 【3.7】	立ち上がりは内傾し、内縁部は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】10YR2/2黄褐色 【内】10YR2/2灰白 黄1.2mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/3 以下	
108	1	36	81	10-型穴90 埋土	土師器 甕 (口縁)	F 皿 d2	(27.0) — 【9.1】	口縁部はくの字状に屈曲し、肩部42。 【外】口縁部17付、体部上半丁半丁 【内】口縁部17付、体部17付	【外】10YR6/3灰黄褐色 【内】10YR6/2灰黄褐色 軽黄1.1~5mmの石英・長石・珪砂・ 赤黄緑 良好	口 1/3 以下	煎煮器
1	36	82	10-型穴90 埋土	製土器 (口縁)	— — 【2.9】	— — 【2.9】	口縁部は直口し、肩部は丸くおさめる。 【外】付 【内】付	【外】7. 10YR 4黄 【内】10YR2/2灰黄褐色 軽黄0.1~0.5mmの石英・長石・珪 砂 不具	縁片 断面V式		
86	96	1	83	3-型穴15 床面直上	煎煮器 杯蓋	④ b 3	(11.8) — 【4.9】	口縁部と天井部の境は弱い縁が逆り、内縁部は凹面 が逆る。天井部は高く丸い。 【外】回転付、回転3割り(8) 口部3割り未調整 【内】回転付	【外】S6/灰 【内】S7/灰白 黄1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 2/3	
1	84	1	84	3-型穴15 埋土	煎煮器 杯蓋	⑤ d オ	(15.2) — 【3.5】	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、肩部は丸く おさめる。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、静止付	【外】S6/灰 【内】S6/灰 軽黄1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/3 以下	
1	85	1	85	3-型穴15 埋土	煎煮器 杯蓋	⑤ d 3	(14.0) — 4.1	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、内縁部は凹 面が逆る。 【外】回転付、回転3割り(8) 口部3割り未調整 【内】回転付、当て具	【外】S6/灰 【内】S6/灰 黄1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/3	
1	86	1	86	3-型穴15 埋土	煎煮器 蓋?	d 9	(15.0) — 【4.2】	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、肩部は外方 に屈曲し凹斜面を有す。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】S5/灰 【内】S6/灰 黄1.5mm以下の緑粒 不具	口 1/3 以下	
86	96	1	87	3-型穴15 床面直上	煎煮器 杯身	⑤ a ス	(11.0) — 5.5	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、内縁部は凹 面が逆る。底部は 深く丸底。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、静止付	【外】S5/灰 【内】S5/灰 黄1 不具	完存	
86	96	1	88	3-型穴15 床面直上	煎煮器 杯身	⑤ b オ	11.3 6.9 3.9	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は 浅い丸底。全周に意匠めきあり。折込浅口。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、静止付	【外】S6/灰 【内】S7/灰白 黄1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	完存	
96	1	89	3-型穴15 床面直上	煎煮器 高杯 (杯蓋)	— — 【14.0】 【4.1】	— — 【14.0】 【4.1】	口縁部と体部の境は弱い縁が逆り、外縁部をつまみ 出し、内傾する面を持つ。長脚高杯か。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、静止付	【外】10YR2/2黄褐色 【内】10YR2/2灰黄褐色 軽黄0.5~1mmの黒色粒 不具	口 1/3	2000年頃の 古墳群に属 する古墳群 あり	
1	90	1	90	3-型穴15 床面直上	煎煮器 瓶or甕 (口縁)	(7.2) — 【5.0】	— — 【5.0】	口縁部は外傾し、肩部は丸く収める。 【外】回転付 【内】回転付	【外】12. 5Y6/1黄灰 【内】12. 5Y6/1黄灰 黄1.5~2mmの緑粒・黒色粒 良好	口 1/3	
1	91	1	91	3-型穴15 埋土	煎煮器 有蓋高杯蓋 (つまみ)	3.1 0.8 【1.6】	つまみは小さく、扁平で中央が窪む。 【外】回転付 【内】回転付	【外】S7/灰白 【内】10YR2/1灰白 軽1.2~1mmの緑粒 良好	つま み 1/2		
86	96	1	92	3-型穴15 床面直上	煎煮器 短頸甕	7.4~7.0 — 7.0	口縁部は短く内傾し、肩部は丸くおさめる。 体部は壺形を呈し、底部は丸底。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】S6/灰 【内】S6/灰 黄1~1mmの緑粒 不具	ほぼ 完存		
86	96	1	93	3-型穴15 床面直上・ 周壁直上	煎煮器 短頸甕 (体部)	(9.2) — 【8.9】	口縁部は欠損。体部上位に最大径となり、直径は中 等直径。底部に粘土目の付着(1ヶ)・剥離痕(2 ヶ)。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、微傾正転、3割り	【外】5YR6/3青灰 【内】5YR6/3青灰 黄1~2mmの緑粒 不具	頸 1/4 底 1/1		
86	96	1	94	3-型穴15 床面直上	煎煮器 広口甕	10.6 — 14.0	体部は肩がゆるぎ丸底の形状を呈す。口縁は外傾 し、肩部は欠損している。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、工具付	【外】S7/灰白 【内】S7/灰白 黄1~2.5mmの緑粒・黒色粒 やや不具	口 1/2 体 1/1		
86	96	1	95	3-型穴15 床面直上	煎煮器 広口甕	12.9 — 17.8	体部上位に最大径となり、やや中央直気味の断面を 有す。口縁は外傾し、肩部は内傾する幅広い面を持 つ。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、微傾正転	【外】7. 10YR 1灰白 【内】S7/灰白 黄1~1mmの緑粒 不具	口 2/3 体 1/1		
86	96	1	96	3-型穴15 床面直上	煎煮器 広口甕	11~11.7 — 21.0	体部は壺形丸底である。口縁部は外反し、肩部は丸 くおさめる。 【外】回転付、平反付付→回転3割り(8) 【内】回転付	【外】7. 10YR 1灰白 【内】7. 10YR 1灰白 黄1~1mmの緑粒・黒色粒 不具	完存		

表 6 土器観察表 (6)

単位: cm (推定値) [残存額] [復元額]

図録番号	探検番号	遺物番号	遺構層位	種類・形状 (部位)	分類	口縁底径高さ	形態の特徴 手法の特徴 [外] [内]	色調 [外] [内] 組成	残存率	備考
86-97	1	42	97	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	(13.0) — [8.4]	口縁部はく字状に屈曲し、肩部は丸く収める。 [外] 127° [内] 127°	[外] 7. 5B27/3-7° [内] 7. 5B38/4浅黄褐色: 0.5~1.5mmの石英・長石・珪酸質 [外] 10YR5/4浅黄褐色 [内] 7. 5B38/4浅黄褐色 青: 0.5~2mmの石英・長石・珪酸質	口 1/8 以下	97・98・99は出土位置も同じで、粘土等も類似しているため、同一個体の可能性あり。
86-97	1	42	98	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	2.9 2.1 [6.0]	把手は細い棒状を呈し、断面円形。 [外] 指節状 [内] 縦線	[外] 10YR5/4浅黄褐色 [内] 7. 5B38/4浅黄褐色 青: 0.5~2mmの石英・長石・珪酸質	把手 全体	
86-97	1	42	99	3-型穴45 埋土	土師器 甕 (口縁)	2.3 1.7 [3.0]	把手は短い角状を呈し、断面はほぼ円形。 [外] 11° [内] 11°	[外] 7. 5B27/3-7° [内] 7. 5B27/3-7° 青: 0.5~1mmの石英・長石・珪酸質・金雲母	把手 のみ	
	1	42	100	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	— — [6.7]	口縁部は直口し、肩部a1。 [外] 127° [内] 縦線	[外] 2. 5B25/6明赤褐色 [内] 5YR6/4-7° 粗: 1~2mmの石英・長石	口 1/8 以下	
	1	42	101	3-型穴45 埋土	土師器 甕 (口縁)	3.4 2.4 [4.1]	把手は丸端で上方への傾きが強い角状を呈し、断面半円形。 [外] 11° [内] 11°	[外] 5YR5/6明赤褐色 [内] 5Y5/6明赤褐色 粗: 1~2mmの石英・長石	把手 のみ	
	1	42	102	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	(18.2) [5.1]	口縁は直線的に外傾し、肩部は先細りしている。 [外] 11° [内] 11°	[外] 10YR5/3浅黄褐色 [内] 7. 5B27/4 粗: 1~2mmの石英・長石・珪酸質	口 1/4	
86-97	1	42	103	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (底面)	— 8.5 [8.2]	底部は平底。 [外] 149° [内] 縦線	[外] 10YR5/4浅黄褐色 [内] 7. 5B27/4 青: 1~2mmの石英・長石・珪酸質	底 1/1	
	1	42	104	3-型穴45 貼床内	土師器 甕 (口縁)	(10.0) [3.7]	口縁部は短く外傾し、肩部a。粗製品。 [外] 指節状 [内] 指節状	[外] 7. 5B25/3-7° [内] 5Y2/1黒 粗: 1~2mmの石英・長石・珪酸質	口 1/6	
86-97	1	42	105	3-型穴45 カマド・周壁直上	土師器 甕 (口縁)	16.7 [6.3]	口縁部はく字状に屈曲し、肩部c1。肩部c1に記号「1」あり。 [外] 127° [内] 127° 指節状	[外] 10YR5/4-7° [内] 7. 5B25/3-7° 粗: 1~2mmの石英・長石・珪酸質・金雲母	口 1/2	
86-97	1	42	106	3-型穴45 カマド・付直	土師器 甕 (口縁)	(20.9) [5.5]	肩部はく字状に屈曲し、肩部d1。 [外] 口縁部127° [内] 口縁部粗い127° [外] 口縁部粗い127° [内] 口縁部粗い127°	[外] 5YR6/3-7° [内] 5YR5/3-7° 青: 1~2mmの石英・長石・珪酸質	口 1/4	
86-97	1	42	107	3-型穴45 カマド	土師器 甕 (口縁)	(19.0) [13.3]	口縁部は湾曲・外傾し、肩部b。 [外] 縦線 [内] 指節状 縦線	[外] 5YR5/6明赤褐色 [内] 5YR5/6明赤褐色 粗: 1~2mmの石英・長石	口 1/3	
86-97	1	42	108	3-型穴45 カマド	土師器 甕 (口縁)	17.0 — [11.4]	口縁部は屈曲・直線的に外傾し、肩部d1。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 10YR5/4-7° [内] 10YR5/2浅黄褐色 青: 1~2mmの石英・長石・金雲母	口 1/2	
86-97	1	43	109	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	(17.0) — [28.8]	口縁部は屈曲・直線的に立ち上がり、肩部b。体部は倒梯形を呈する。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 10YR7/2浅黄褐色 [内] 10YR7/3浅黄褐色 粗: 0.5~1mmの石英・長石	口 1/2 以上	
86-97	1	43	110	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	19.0~ 20.0 [30.1]	口縁部は湾曲・大きく外傾する。肩部は丸く収め、内肩部がわずかにくぼむ。体部は倒梯形を呈する。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 5YR5/6明赤褐色 [内] 5YR6/4 粗: 1~2mmの石英・長石・珪酸質	口 5/6	
86-97	1	43	111	3-型穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	16.0 — 28.9	口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸く収める。体部は球形に近く、底部は丸底か。 [外] 127° [内] 127°	[外] 10YR5/3浅黄褐色 [内] 10YR5/4浅黄褐色 粗: 1~2mmの石英・長石	ほぼ 完存	
85-109	1	48	112	10-型穴110 床面直上	灰土器 杯蓋	(13.7) — 4.4	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は幅広い凹斜面を有する。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 5YR5/6明赤褐色 [内] 5YR7/3 粗: 1mm以下の黒色粒	口 1/3	
85-109	1	48	113	10-型穴110 床面直上	灰土器 杯蓋	14.1 — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は幅広い凹斜面を有する。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 5YR7/3 [内] 5YR7/3 粗: 1mm以下の黒色粒	口 3/4	
85-109	1	48	114	10-型穴110 埋土	灰土器 杯蓋	(13.7) — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、肩部は外方に屈曲して凹斜面を有する。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 5YR5/6 [内] 5YR5/6 粗: 2mm以下の黒色粒	口 1/4	
85-128	1	48	115	10-型穴110 埋土	灰土器 杯蓋	(14.0) — 4.0	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は沈着が走る。天井部はほぼ。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 2. 5B6/1黄褐色 [内] 2. 5B6/1 粗: 1mm以下の黒色粒・白色結晶	口 1/8 以下	
85-109	1	48	116	10-型穴110 埋土	灰土器 有蓋高杯蓋	(14.4) — [4.4]	口縁部と天井部の境は屈曲し、肩部は丸くおさめる。 [外] 127° [内] 127° [外] 127° [内] 127°	[外] 10YR7/2浅黄褐色 [内] 10YR7/15白 青: 1~2mmの黒色粒・黒色粒	口 1/4	

表7 土器観察表(7)

単位:cm (推定値) [残存値] [埋入値]

図表番号	所 属 番 号	遺 物 番 号	遺 構 層 位	種別 器種 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 構成	残 存 率	備考
85-109	1	48	117	10-型穴110 床面直上	煎煮器 杯身	② b オ 11.2 — 5.1	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなす。立ち上がりに縦筋幾文(マ)を刻む。内面に炭化物の付着あり。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ、静止マ	[外]SPH4/4青灰 [内]SPH4/4青灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	完全	
85-109	1	48	118	10-型穴110 床面直上	煎煮器 杯身	② c オ 12.1 — 5.1	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなす。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ、静止マ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	口 5/6	
85-109	1	48	119	10-型穴110 貼床内	煎煮器 杯身	③ (11.9) — [5.1]	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]2.5B5/1黄灰 [内]10B35/1黄灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	口 1/5	
85-109	1	48	120	10-型穴110 床面直上	煎煮器 杯身	③ b オ (13.6) — 5.8	立ち上がりはやや内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなす。水平面を有す。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]SPB5/1黄灰 [内]7.5B35/2灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	受 5/8	
85-109	1	48	121	10-型穴110 貼床内	煎煮器 杯身	③ a オ (13.4) — [5.2]	立ち上がりはほぼ直立し、肩部は丸くおさめる。受部に重なり残さあり。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]10B7/1灰白 [内]10B7/1灰白 青1.5mm以下の緑粒・赤色粒	口 1/7	
85-110	1	48	122	10-型穴110 カマド	土師器 甕	A3 V c1 18.2 — [23.7]	口縁部は紐曲・やや内傾し、肩部は傾斜弱。 [外]口縁部1マ、体部上マ+マ [内]口縁部1マ、体部上マ+マ、下半板マ	[外]7.5B36/6 [内]7.5B36/6 青1.5mm以下の石質・長石・赤色粒・内面石・金雲母	口 1/1	
85-109	1	48	123	10-型穴110 埋土	土師器 甕 (口部)	A3 IV b (28.6) — [7.3]	口縁部は直曲・外傾し、肩部は面をもつ。 [外]マ、マ [内]板マ	[外]10B6/3マ(黄粒) [内]10B6/3マ(黄粒) 青1.5mmの石質・長石	口 1/8 以下	
85-109	1	48	124	10-型穴110 カマド	土師器 甕 (口部)	A2 a (14.9) — [4.9]	口縁部は直曲・外反する。肩部a。 [外]縦筋幾文 [内]縦筋幾文	[外]2.5B35/6明赤 [内]2.5B35/6明赤 青0.1~7mmの石質・長石・赤石	口 1/2	
85-109	1	48	125	10-型穴110 床面直上	土師器 甕 (口部)	A2 V c2 (15.4) — [8.3]	口縁部は直曲・内傾する。肩部c2。 [外]マ、マ [内]マ、マ	[外]10B6/4マ(黄粒) [内]10B6/4マ(黄粒) 青1.5~3mmの石質・長石・マ、マ、金雲母	口 1/2	
85-109	1	48	126	10-型穴110 床面直上	土師器 甕 (口部)	A2 IV d1 19.2 — [7.3]	口縁部はく字の字に紐曲・内傾し、肩部d1。 [外]マ、マ、マ [内]マ、マ、マ	[外]2.5B35/6明赤 [内]5B36/6 青1.5mmの石質・長石・マ、マ、金雲母	口 1/3	
85-110	1	48	127	10-型穴110 床面直上	土師器 甕	A2 IV c2 (14.8) — 17.5	口縁部は紐曲・外反する。肩部c2。体部は球形丸底。 [外]口縁部1マ、体部マ、マ、マ [内]口縁部1マ、体部マ、マ、マ	[外]5B36/6 [内]10B6/4マ(黄粒) 青1.5mmの石質・長石・マ、マ	口 2/3	
85-109	1	48	128	10-型穴110 床面直上	土師器 甕 (口部・底)	A1 V (10.4) — [6.9] [4.2]	口縁部は緩やかに紐曲・外傾し、肩部b。体部は球形丸底。厚減著しい。 [外]マ、マ、マ [内]マ、マ、マ	[外]7.5B35/6明赤 [内]7.5B36/8 粗1.5mmの石質・長石・マ、マ	口 1/3	
111-1	50	129	10-型穴201 床面直上	煎煮器 杯身	① a オ 10.6 — 4.8	立ち上がりはほぼ直立し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]2.5B7/1灰白 [内]5B7/1灰白 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	完全		
111-1	50	130	10-型穴201 カマド縦方	煎煮器 杯身	(11.4) — [4.8]	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。内面は凹面を有す。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]2.5B6/1黄灰 [内]5B6/1灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	受 1/1		
111-1	50	131	10-型穴201 埋土	煎煮器 杯身 (口+体部)	(10.4) — [3.4]	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]10B6/4灰 [内]2.5B7/1灰 青1.5mm以下の緑粒・赤色粒	受 1/6		
111-1	50	132	10-型穴201 埋土	煎煮器 杯身	① b イ (11.0) — [4.8]	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を有す。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]N5/灰 [内]N6/灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	口 1/3		
111-1	50	133	10-型穴201 床面直上	煎煮器 杯身	① a オ (12.4) — [5.6]	立ち上がりはほぼ直立し、肩部は丸くおさめる。底面は丸底。 [外]回転マ、回転マ側り(4) [内]回転マ	[外]2.5B7/1灰白 [内]2.5B7/1灰白 青1.5mm以下の緑色粒・赤色粒	口 1/3		
111-1	50	134	10-型穴201 埋土	煎煮器 甕 (口縁)	(21.9) — [4.8]	口縁部は外反し、肩部は上下わずかに膨厚し、肩部は段付面をもつ。 [外]回転マ [内]回転マ	[外]2.5B7/3黄灰 [内]2.5B7/4黄灰 粗1.5mm以下の緑粒・赤色粒	口 1/6		
111-1	50	135	10-型穴201 埋土	土師器 甕 (口部)	A2 a (15.8) — [7.1]	口縁部は紐曲・外傾し、肩部は丸くおさめる。 [外]縦筋幾文 [内]縦筋幾文	[外]5B4/4赤赤 [内]5B4/4赤赤 粗1.5~3mmの石質・長石・赤色粒	口 1/8 以下		

表8 土器観察表(8)

単位:cm (推定値) [残存額] [還元額]

図録 番号	調査 年度	遺物 番号	遺物 種別 ・ 観察 部位	分類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質・ 構成	残 存 率	備考
111	1	90	10-型穴201 埴土	土師器 甕 (口縁)	(25.0) — [5.0]	口縁部は直口し、肩部は1。 [外]12×9 [内]12×7	[外]SVR4/赤褐色 [内]SVR5/赤褐色 軽い0.5~2mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
111	1	90	10-型穴201 埴土	土師器 甕 (口縁・把手)	(3.2) [7.1]	口縁部は直口し、肩部は1。把手は半角状を呈し、断面は樽形。 [外]14×7、側面縦断面(3/4切) [内]12×7	[外]SVR5/赤褐色 [内]SVR5/赤褐色 軽い0.5mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/8 以下	
1	92	138	4-型穴20 カマド	灰意器 杯蓋	(11.5) — [5.2]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は幅広い斜面を有す。天井部は丸い。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV7/灰白 [内]2. SV7/灰白 軽質:2mm以下の繊維 やや不良	口 1/4	
95	1	92	4-型穴20 床面直上	灰意器 杯蓋	(14.2) — [5.4]	口縁部と天井部の境は2段の凹線が走り、内面にも凹線が走る。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV6/灰白 [内]2. SV6/1黄灰 軽質:2mm以下の繊維・黒色粒・白色粘土 土質	口 1/3	
1	92	140	4-型穴20 埴土	灰意器 杯蓋	(14.3) — [3.9]	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV7/灰白 [内]SV8/灰白 軽質:1mm以下の繊維・黒色粒	口 1/8 以下	
1	92	141	4-型穴20 埴土	灰意器 杯蓋	(14.4) — [3.7]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV5/灰白 [内]SV7/灰白 軽質:1mm以下の繊維	口 1/6	
95	1	92	4-型穴20 SF71	灰意器 杯蓋	12.2~ 13.5 — 4.7	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は凹面を有す。自然釉付着、釉上目の付着剥離版(3/4切) [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV6/灰白 [内]SV7/灰白 軽質:2mm以下の繊維・黒色粒	完存	
95	1	92	4-型穴20 床面直上	灰意器 杯身	(11.8) — 4.8	立ち上がりは内傾し、肩部は先細りの斜面を有す。浅い丸底。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV7/灰白 [内]2. SV7/灰白 軽質:1mm以下の繊維・11繊維 やや不良	口 1/2	
1	92	144	4-型穴20 埴土	灰意器 杯身	(12.1) — [3.1]	立ち上がりは短く高直し、肩部は先細りしている。受胎部に溝をなす。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]2. SVR5/2赤灰 [内]2. SVR5/1赤灰 軽質:1mm以下の繊維 良	口 1/3	
95	1	92	4-型穴20 床面直上	灰意器 高台付筒 (底面)	— 7.4 [3.2]	ハの字状に開く短筒。 足元の高台付、ハの字状に開く。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV6/灰白 [内]SV6/灰白 軽質:1~2mmの繊維 良好	脚定 存	
95	1	92	4-型穴20 床面直上	土師器 鉢	12~12.2 2.1 6.3	体部は筒形を呈す。口縁部は直口し、肩部は先細りしている。内外面化粧土を施しているが、内面底部は剥離している。 [外]12×9、浅い板付、化粧土 [内]12×9、板付、口縁部の一部に化粧土が残り、他は剥離	[外]10V85/4灰褐色 [内]10V87/4灰褐色 やや粗い0.5~2mmの石英・長石・11繊維 不良	完存	
95	1	92	4-型穴20 床面直上	土師器 杯	10.4 3.0 5.7	体部は筒形を呈す。口縁部は直口し、肩部は先細りしている。外面は剥離し、口縁部内外面にスグが付着している。 [外]口縁部被熱スス、全体的に剥離 [内]12×9、板付、化粧土、口縁部スス付着	[外]10V87/4灰褐色 [内]10V87/4灰褐色 やや粗い0.5mm~2mmの石英・長石・11繊維 不良	口 1/2	
1	92	148	4-型穴20 カマド	土師器 鉢々 (口縁)	— — [7.7]	口縁部は内湾気味に立ち上がり、肩部は丸く収める。直口か。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]12×9	[外]7. SVR5/3コブ(灰) [内]7. SVR5/3コブ(灰) 軽質:1~2mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
95	1	92	4-型穴20 SF70	土師器 甕 (口・体部)	(30.8) — [25.2]	口縁部は直立気味に立ち上がり、肩部は、把手は実線と上方への反りが強い半角状を呈し、断面樽形。 [外]体部が2寸、把手部が2寸 [内]12×12(口縁部)、板付	[外]10V85/3コブ(灰褐色) [内]10V86/3コブ(灰褐色) 軽質:1~5mmの石英・長石 良	口 1/4	
102	1	94	6・23-型穴9 カマド	灰意器 杯蓋	(11.8) — 4.0	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV7/灰白 [内]SV7/灰白 軽質:1mm以下の繊維・黒色粒	口 1/4	
102	1	94	6・23-型穴9 埴土	灰意器 杯蓋	12.1 — 3.9	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8)、頂部3/4切り未調整 [内]10×12	[外]SV4/灰 [内]SV5/灰 軽質:2mm以下の繊維・黒色粒	口 1/3	
1	94	152	6・23-型穴9 埴土	灰意器 杯蓋 (口縁)	— — [3.4]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV6/灰 [内]SV6/灰 軽質:1mm以下の繊維・黒色粒	口 1/8 以下	
1	94	153	6・23-型穴9 埴土	灰意器 杯身	(12.4) — [3.5]	立ち上がりは内傾し、内面は幅広い斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV4/灰 [内]SV4/灰 軽質:1mm以下の繊維	口 1/7	
1	96	154	7・24-型穴7 6-型穴1 埴土	灰意器 杯蓋 (口縁)	— — [2.9]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、断面は外方に傾斜した斜面を有す。 [外]10×12、口縁部3割り(8) [内]10×12	[外]SV7/灰白 [内]SV7/灰白 軽質:1.5mm以下の繊維 不良	口 1/12	

表9 土器観察表(9)

単位:cm (推定値) [残存値] [還元値]

国 際 形 番 号	所 属 形 番 号	通 身 形 番 号	造 形 解 説	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残 存 率	備 考	
1	06	155	7・24-型穴7 6-型穴1 埴土	東意器 杯身		(11.5) [3.6]	立ち上がりはやや外傾し、内面は幅広い凹斜面を有す。 [外]回転付、回転3割り(+) [内]回転付	[外]10YR5/1焼灰 [内]10YR5/1焼灰 軽質1mm以下の繊維 質	□ 1/12		
1	06	156	7・24-型穴7 6-型穴1 埴土	東意器 杯身		(10.6) [3.5]	立ち上がりは内湾気味に立ち上がり、内面は幅広い凹斜面を有す。 [外]回転付、回転3割り(+) [内]回転付	[外]5YR6/1青灰 [内]10YR5/3灰青 骨2mm以下の繊維 質	□ 1/7		
102	1	06	157	7・24-型穴7 6-型穴1 埴土	東意器 杯身	④ e ウ 11.2 8.2 4.0	立ち上がりは外湾気味に立ち上がり、内面は幅広い凹斜面を有す。底部は浅く平底。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]5YR/1灰 [内]5YR/1灰 軽質1mm以下の繊維・黒色粒 質	□ 1/3		
102	1	06	158	7・24-型穴7 6-型穴1 床面直上	土師器 壺 (口縁)	A2 b (17.7) [5.7]	口縁部は直曲・大きく外反し、瘤部h。 [外]127付、付 [内]127付、付	[外]7. 5YR6/4付(0) [内]10YR5/3付(0) 骨1~2mmの石英・長石 不質	□ 1/6		
102	1	06	159	7・24-型穴7 6-型穴1 床面直上	土師器 壺 (口縁)	A2 b (17.6) [7.8]	口縁部は直曲・大きく外反し、瘤部h。 [外]板付 [内]板付	[外]5YR6/4焼 [内]5YR6/4焼 軽質1~2mmの石英・長石・付付 不質	□ 1/4		
102	1	06	160	7・24-型穴7 6-型穴1 床面直上	土師器 壺 (口縁)	A3 b (20.3) [9.9]	口縁部は直曲・外反する。瘤部h。 [外]観察難 [内]観察難	[外]7. 5YR7/6焼 [内]7. 5YR7/6焼 軽質1~1mmの石英・長石 不質	□ 1/8		
99	1	08	161	21-型穴20 4-型穴54 3-型穴34 埴土	東意器 杯蓋	④ b ウ (13.9) (11.4) [5.1]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、底部は外方に強く屈曲し、幅広い凹斜面を有す。天井部は低く平直。底を歪みあり。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N6/灰 骨1mm以下の繊維 質	□ 1/4		
1	60	162	4-型穴99・ 22-型穴7・ 5-型穴30 埴土	東意器 杯蓋	b オ — [2.8]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は斜面を有す。 [外]回転付 [内]回転付	[外]N4/灰 [内]N6/灰 軽質1mm以下の繊維・黒色粒 質	□ 1/12			
95	1	60	163	4-型穴99・ 22-型穴7・ 5-型穴30 カマツ	土師器 壺	A3 a (18.6) [22.0]	口縁部は直曲・外傾し、瘤部h。体部は倒卵形。 [外]127付→22付 [内]板付	[外]7. 5YR6/6焼 [内]2. 5YR6/6焼 軽質1~2mmの石英・長石 不質	□ 完存		
1	62	164	10-型穴310 カマツ	土師器 鉢 (口縁)	— [7.3]	口縁部は内湾気味に立ち上がり、瘤部は内傾する面を持つ。唇部は厚い。 [外]板付 [内]板付	[外]10YR6/4付(0)黄緑 [内]10YR6/4付(0)黄緑 骨0.5~2mmの石英・長石 不質	□ 1/8 以下			
110	1	62	165	10-型穴310 カマツ	土師器 鉢	A b d1 (22.8) (7.0) 25.2	底部から体部にかけて緩やかに立ち上がり、口縁は直曲する。瘤部h。底部の気孔は半孔の筒状付タイプ。底を歪みあり。断面は楕円形。 [外]付、付 [内]127付、板付	[外]7. 5YR6/6焼 [内]7. 5YR7/6焼 軽質1~1mmの石英・長石 不質	□ 2/3		
110	1	62	166	10-型穴310 SX2	土師器 直口壺	— (10.2) [10.1]	体部は直線的に立ち上がり、口縁は直線的に外傾し、瘤部は丸く収める。 [外]観察難 [内]観察難	[外]5YR7/6焼 [内]5YR7/6焼 軽質0.5~2mmの石英・長石・付付 不質	□ 1/2		
111	1	62	167	10-型穴310 SX2	東意器 (天井)	— [1.2]	天井部は丸い。天井部に付記号「J」あり。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]12. 5GY7/1明付(0)灰 [内]12. 5GY7/1明付(0)灰 骨2mm以下の繊維・黒色粒 不質	■ 断片		
110	1	62	168	10-型穴310 SX2	東意器 直口壺	(13.9) [21.9]	体部は直線的に立ち上がり、口縁部は外反し、瘤部は上方に構み上げ肥厚する。 [外]回転付、平行文付、回転3割り [内]回転付、あて直板付付(0)直	[外]7. 5YR7/1灰白 [内]N7/3C0 軽質1~2. 5mmの繊維 質	■ 1/1		
128	1	67	169	3-型穴108 SP114	東意器 杯蓋	③ b ウ [13.6] [4.7]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は凹斜面を有す。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N5/灰 [内]N5/灰 軽質12mm以下の繊維 質	□ 1/4		
95	98	1	67	170	3-型穴108 床面直上	東意器 杯身	③ b オ (11.5) [4.6]	立ち上がりはやや短く内傾し、内面は丸くおさめる。受部境に溝をなす。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N6/灰 骨2mm以下の繊維・黒色粒 質	□ 1/3	
95	98	1	67	171	3-型穴108 床面直上	東意器 杯身	④ c オ 9.7 — 4.0	立ち上がりは内傾し、瘤部は丸くおさめる。底部は丸底。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N6/灰 軽質1mm以下の繊維・黒色粒 質	□ 1/4	
95	98	1	67	172	3-型穴108 床面直上	東意器 杯身	③ b オ 12.0 — 5.5	立ち上がりは内傾し、瘤部は丸くおさめる。受部境に溝をなす。底部は丸底。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N5/灰白 [内]N5/灰白 軽質1mm以下の繊維・黒色粒 不質	完存	
95	98	1	67	173	3-型穴108 カマツ	東意器 杯身	④ c オ 8.7 — 10.0 — 5.1	立ち上がりはやや内傾し、瘤部は丸くおさめる。底部は鋭い丸底。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N7/3C0 軽質1mm以下の繊維・黒色粒 質	完存	
95	98	1	67	174	3-型穴108 床面直上	東意器 杯身	③ b オ (12.4) — 5.6	立ち上がりは内傾し、瘤部は丸くおさめる。受部境に溝をなす。底部は丸底。 [外]回転付、回転3割り(0) [内]回転付	[外]7. 5YR7/2明灰 [内]7. 5YR7/4灰青 軽質12mm以下の繊維・付付 不質	□ 1/3	

表 10 土器観察表 (10)

単位:cm (推定値)【残存額】【埋込額】

図録番号	探検番号	遺物番号	遺構層位	種類・形状(部位)	分類	口縁底径高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 組成	残存率	備考
85-98	1	67	175	3-型穴108 床面直上	順直器 杯身	③ b オ 11.2 5.3	立ち上がりはやや内傾し、肩部は丸くおさめる。受 部は直ぐに平ら。底部は深い丸底。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(8) 【内】同軸1かけ	【外】10YR5/3浅黄緑 【内】10YR5/2白 精食:2mm以下の繊維・黒色粒 不食	□	3/4
128	1	67	176	3-型穴108 埋土	順直器 杯蓋	③ 12.9 3.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内肩部は幅広い の凹面を有す。天井部は低く平直。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4) 【内】同軸1かけ	【外】5Y6/3灰 【内】5Y6/3灰 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 不食	□	1/6
85	1	67	177	3-型穴108 埋土	順直器 杯身 (口縁)	③ d オ (12.2) 2.6	立ち上がりは鋭く直曲し、肩部は丸くおさめる。 受部は直ぐに平ら。 【外】口縁1かけ 【内】同軸1かけ	【外】7.5YR/1灰 【内】7.5YR/1灰 骨:2mm以下の繊維 不食	□	1/8
85-98	1	67	178	3-型穴108 埋土	順直器 高杯 (脚部)	B — (7.8) (3.8)	脚部は截頭円錐形を呈する短脚で、順直器の内側に 埋入する。 【外】口縁1かけ、同軸3割り、推定4方向円形3かけ 【内】同軸1かけ	【外】5Y5/灰 【内】5Y5/灰白 精食:1~2mmの繊維・黒色粒 不食	脚	1/2
85-98	1	67	179	3-型穴108 カマド	土師器 甕	B V a (15.8) — [19.9]	口縁部は直立気味に立ち上がり、やや内湾する。肩 部は、体部上からは平らでない。 【外】口縁部1かけ、体部上平直かけ、下平直かけ 【内】口縁部1かけ、体部上平直かけ、下平直かけ	【外】10YR5/4浅黄緑 【内】10YR5/4浅黄緑 精食:1~2mmの石英・長石・黒色 粒・付着、金雲母 不食	□	5/8
85-98	1	67	180	3-型穴108 カマド	土師器 甕	A1 V d1 16.6 — [20.7]	口縁部はくの字状に屈曲し、やや内湾し、肩部d1。 【外】口縁部1かけ、体部上平直かけ 【内】口縁部1かけ、体部上平直傾直、下平直かけ・板 かけ	【外】2.5YR5/6赤褐色 【内】5YR5/4浅黄緑 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	1/1
85-98	1	67	181	3-型穴108 床面直上	土師器 甕	E IV b (14.2) [8.1]	口縁部は直立気味に立ち上がる。肩部b。 【外】口縁1かけ 【内】板かけ	【外】7.5YR5/3浅黄 【内】10YR5/4浅黄緑 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	2/3
85	1	67	182	3-型穴108 貼土	土師器 甕 (口縁)	A2 e2 (17.5) [5.1]	口縁部はくの字状に屈曲し、内湾気味に立ち上がり、 肩部e2。 【外】口縁1かけ 【内】口縁1かけ	【外】2.5YR5/6赤褐色 【内】5YR5/4浅黄緑 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	1/8 以下
85	1	67	183	3-型穴108 貼土	土師器 甕 (口縁)	A2 V a (16.0) [10.5]	口縁部は直立し、肩部は丸くおさめる。肩部a。 【外】口縁1かけ、板かけ 【内】口縁1かけ、板かけ	【外】7.5YR5/4浅黄 【内】5YR5/6赤褐色 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	1/4
85-98	1	67	184	3-型穴108 床面直上	製塩土器 (口縁)	13.8 — [11.3]	口縁部は直立し、肩部はやや丸くおさめる。 【外】口縁1かけ 【内】口縁1かけ	【外】5YR5/4浅黄 【内】5YR5/6赤褐色 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	5/8
93	1	70	185	4-型穴30・ 22-型穴6 床面直上	順直器 杯蓋	③ e イ (13.0) 4.8	口縁部と天井部の境は凹面が通り、内肩部は凹面を 有す。天井部は丸くおさめる。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(8) 【内】同軸1かけ	【外】7.5YR/1灰 【内】5Y6/3灰 骨:1mm以下の繊維 不食	□	1/3
93	1	70	186	4-型穴30・ 22-型穴6 床面直上	順直器 杯蓋	④ e ウ (12.2) 4.3	口縁部と天井部の境は凹面が通り、内肩部は凹面を 有す。天井部は丸くおさめる。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4) 【内】同軸1かけ	【外】5Y6/3灰 【内】5Y6/3灰 骨:2mm以下の繊維 不食	□	1/4
128	1	70	187	4-型穴30・ 22-型穴6 埋土	順直器 杯蓋	b イ — [3.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内肩部は幅広い の凹面を有す。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4) 【内】同軸1かけ	【外】5YR5/4浅黄 【内】5YR5/6赤褐色 精食:1mm以下の繊維 不食	□	1/8 以下
128	1	70	188	4-型穴30・ 22-型穴6 埋土	順直器 杯蓋	④ e ウ (11.0) 3.2	口縁部と天井部の境は凹面が通り、内肩部は幅広い の凹面を有す。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4) 【内】同軸1かけ	【外】5Y6/3灰 【内】5Y6/3灰 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 不食	□	1/6
128	1	70	189	4-型穴30・ 22-型穴6 埋土	順直器 杯蓋	④ b ウ — [4.1]	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、肩部は外方に 屈曲して凹面を有す。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4) 【内】同軸1かけ	【外】5Y7/3灰白 【内】5Y6/3灰 骨:2mm以下の繊維 不食	□	1/8 以下
93	1	70	190	4-型穴30・ 22-型穴6 床面直上	順直器 杯身	③ b オ (11.2) 5.2	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。受け部 に丸くおさめる。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4)・3割り4方向円形3かけ 【内】同軸1かけ	【外】5Y6/3灰 【内】5Y7/3灰白 精食:2.5mm以下の繊維・黒色粒 不食	□	1/3
93	1	70	191	4-型穴30・ 22-型穴6 床面直上	順直器 有意高杯蓋	(11.9) 3.5 5.5	口縁部と天井部の境は凹面が通り、内肩部は幅広い の凹面を有す。天井部中央からずれた位置に扁平 なつまみを貼付ける。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(8) 【内】同軸1かけ	【外】2.5YR5/1黄灰 【内】2.5YR5/1黄灰 骨:0.5~2mmの繊維 不食	□	2/3
93	1	70	192	4-型穴30・ 22-型穴6 埋土	順直器 有意高杯 (杯蓋)	B (11.2) [5.6]	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。杯蓋は浅 い。脚部は内湾気味に立ち上がる。 【外】口縁1かけ、同軸3割り(4)・3割り4方向円形3かけ 【内】同軸1かけ	【外】5Y6/3灰 【内】5Y7/3灰白 精食:0.5~2mmの繊維・黒色粒 不食	□	1/2
93	1	70	193	4-型穴30・ 22-型穴6 床面直上	順直器 甕 (口縁)	(18.2) [9.8]	口縁部は外反し、肩部は肥厚し、有縁外肩部をも つ。肩部外面に「へ」の字記号あり。 【外】口縁1かけ、平直上平直かけ 【内】口縁1かけ、平直上平直かけ	【外】5Y7/3灰白 【内】5Y7/3灰白 骨:1~2mmの繊維・付着 不食	□	1/4
93	1	70	194	4-型穴30・ 22-型穴6 埋土	土師器 高杯 (脚部・杯蓋)	B1 13.6 — [10.2]	脚部高杯。杯蓋は平や浅く、肩部は丸くおさめる。縁 金雲母あり。 【外】口縁1かけ、板かけ、化粧土 【内】口縁1かけ、脚部高杯、化粧土	【外】7.5YR/6赤 【内】7.5YR/4浅黄 精食:1~2mmの石英・長石・付着 不食	□	1/2

表 11 土器觀察表 (11)

單位:cm (推定値) [残存値] 【複元値】

氏名	種別番号	検査番号	建物番号	通風機設置位置	種類・機種(部位)	分	期	口縁部高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 取上 構成	残存率	備考
93	I	70	195	①-型穴30・ 22-型穴6 カマド	土師器 甕 (口縁)	F	v + i	(17.9 — [6.6])	口縁部は直造・外傾し、肩部②。 【外】3段? 【内】3段?, 微細な縦筋	【外】?、5/8? / 2? / 4? 程度 【内】?、5/8? / 3? / 3? 程度 青・0.5~2mmの石英・長石・付随物 不具	□	1/2
94	I	73	196	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	煮恵器 杯蓋 (口縁)	㊦	b ウ	(14.23 — [4.4])	口縁部と天井部の境は緩いが通り、内肩部は幅状の斜面を有す。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) , 尖輪 【内】同型片?	【外】10/8? / 1/4? 程度 【内】10/8? / 1/4? 程度 緑・2mm以下の縦紋・黒色粒 不具	□	1/6
95	I	73	197	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	煮恵器 杯蓋 (口縁)	㊦	d オ	(13.49 — [2.5])	口縁部と天井部の境は直造し、肩部は丸くおさめる。 【外】同型片? 【内】同型片?	【外】10/8? / 2? / 4? 程度 【内】10/8? / 2? / 3? 程度 青・1mm以下の縦紋 不具	□	1/6
96	I	73	198	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	煮恵器 杯蓋	㊦	b オ	(10.3 4.9 4.3)	立ち上がりは内傾し、肩部は丸くおさめる。受部に杯底を重ねる痕あり。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) 【内】同型片?	【外】N? / 灰白 【内】N? / 灰 青・6mm以下の縦紋 不具	△	1/2
97	I	73	199	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	煮恵器 杯蓋	㊦	d オ	(12.0 — [2.9])	立ち上がりは短く湾曲し、肩部は丸くおさめる。 【外】同型片? 【内】同型片?	【外】J2、5/8? / 2/4? (白) 【内】J2、5/8? / 2/4? (白) 黄・1.5mm以下の縦紋 不具	□	1/4
98	I	73	200	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	土師器 鉢 B	c	e	(11.5) — [4.0])	体高は飽形を呈す。口縁部は内湾し、肩部は内傾する面を持つ。 【外】丁摩たけ? 【内】丁摩たけ?, 放射状<5割り?	【外】10/8? / 1/4? 程度 【内】?、5/8? / 1/4? 程度 精良・0.5~2mmの石英・長石・付随物 不具	□	1/5
99	I	73	201	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	土師器 甕 (口縁)	㊦	w + i	(13.8) — [5.9])	肩部は直造し、口縁部は短く湾曲する。肩部①、体高上半がゆるい球状柄杓。 【外】縦線筋 【内】3段?, 1段?	【外】5/8? / 3? / 3? (赤褐) 【内】J3/5? / 3? / 3? (赤褐) 緑・0.5~2mmの石英・長石・付随物・黒色粒 不具	□	1/8 以下
100	I	73	202	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	土師器 把手 (把手)	㊦	手	3.3 6.2 2.9	把手は無歯で上方への反りが強い半角状を呈し、断面楕円形。 【外】板打?, 平 【内】指摺三角	【外】5/8? / 8? 程度 【内】5/8? / 8? 程度 緑・1~4mmの石英・長石・付随物 不具	□	把手のみ
101	I	73	203	21-型穴18 3-型穴35 4-型穴18 甕上	土師器 把手 (把手)	㊦	手	4.6 1.7 4.5]	把手は舌状、断面は上面が平坦な半円形。 【外】板打?, 付? 【内】板打?, 付?	【外】J2、5/8? / 6? 程度 【内】J2、5/8? / 6? 程度 緑・0.5~1.5mmの石英・長石・付随物 不具	□	把手のみ
99	I	74	204	23-型穴6 5段I	土師器 甕	A	w + c	10.5 5.0 12.0	口縁部は両湾・外傾し、肩部③、体高は下位に最大径をもつ。底部下位にノコ状突起の濃いスズが付着。 【外】口縁部3段?, 体高中・下・10cm, 2次被熱 【内】口縁部2段?, 体高上半のみ?	【外】J2、5/8? / 4? 程度 【内】J2、5/8? / 4? 程度 緑・1~4mmの石英・長石・付随物 不具	□	完全
99	I	74	205	23-型穴5 床面直上	土師器 口縁 (口縁)	A	i b	(28.0) — [12.1])	口縁部は直造する。肩部④。 【外】付付+付+付+付 【内】削り→付+付	【外】5/8? / 6? 程度 【内】5/8? / 6? / 7? 程度 緑・1~2mmの石英・長石・金雲母・付随物 不具	□	1/4
101	I	75	206	5-型穴1・ 23-型穴10 床面直上	煮恵器 杯蓋	㊦	d オ	12.6~ 13.1 4.4	立ち上がりは短く湾曲し、肩部は先離りしている。受肩部には丸く仕上げている。底部はやや平坦、僅き歪みあり。底部外面にわずかな結晶(目)の配付あり。口縁部軸方向。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) 【内】同型片?	【外】J2、5/8? / 1/4? 程度 【内】J2、5/8? / 1/4? 程度 精良・1mm以下の縦紋・黒色粒 不具	□	3/4
101	I	75	207	5-型穴1・ 23-型穴10 床面直上	煮恵器 杯蓋	㊦	a オ	12.1 3.7 3.3	立ち上がりは短く内傾し、肩部は丸くおさめる。底部は丸底。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) , 頂部<5割り未調査 【内】同型片?, 跡止け?	【外】N? / 灰白 【内】N? / 灰白 精良・2mm以下の縦紋・黒色粒 不具	□	1/2
101	I	75	208	5-型穴1・ 23-型穴10 甕上	煮恵器 杯蓋 (口縁)	㊦	—	(12.2) — [2.2])	立ち上がりは短く内傾し、肩部は丸くおさめる。 【外】同型片? 【内】同型片?	【外】N? / 灰 【内】N? / 灰白 精良・3mm以下の縦紋・黒色粒 不具	□	1/6
101	I	75	209	5-型穴1・ 23-型穴10 カマド	土師器 甕 (口縁)	E	IV b	(12.6) — [4.4])	口縁部は直造する。肩部は丸く収める。 【外】3段?, 板打? 【内】3段?, 板打?	【外】5/8? / 6? 程度 【内】5/8? / 6? 程度 緑・1~3mmの石英・長石・付随物 不具	□	1/8
111	I	80	210	10-型穴210 床面直上	煮恵器 杯蓋	㊦	d オ	(14.4) — [4.9])	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、肩部は丸くおさめる。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) 【内】同型片?	【外】5/8? / 3? / 3? (赤褐) 【内】5/8? / 3? / 3? (赤褐) 青・2mm以下の縦紋 不具	□	1/8 完全
111	I	80	211	10-型穴210 甕上	煮恵器 杯蓋	㊦	—	(13.0) — [3.5])	立ち上がりは短く内傾し、肩部は先離りしている。 【外】同型片?, 凹輪<5割り (B) 【内】同型片?	【外】J3? / 1/4? (白) 【内】J3? / 36? (灰) 精良・1mm以下の縦紋・黒色粒 不具	□	1/5

表 12 土器観察表 (12)

単位:cm (推定値) [残存額] [図元額]

図元番号	探検番号	遺物番号	遺物部位	種類 (部位)	分類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残存 率	備考
128	1	93	214	3-型穴40 底面直上	東意器 杯蓋	○ 4 オ	口縁部と天井部の境は強い稜が通り、内面は段を有する。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]S5/RC [内]S36/RC 黄・tan以下の緑粒・黒色粒 良	□ 1/4	
101	1	93	215	3-型穴40 カマド	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直し、断面は先細りしている。 受環部は丸く仕上げる。底面はやや平直。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付、静止付	[外]S7/RC白 [内]S19/2RC白 黄・tan以下の緑粒・黒色粒 やや良	□ 3/4	
95	1	93	216	3-型穴40 底面直上	東意器 鉢 (口縁)	○ 4 オ	口縁部は直交気味に外傾した後、断面付近でやや内湾する。断面は内傾する断面を持つ。 [外]回転付、自然軸付着 [内]回転付	[外]S36/RC [内]S36/RC 黄・0.5~1mmの緑粒・黒色粒 良好	□ 1/4	
95	1	93	217	3-型穴40 埋土	土師器 壺 (体部)	A3 IV	口縁部は残存しない。体部は長胴形を呈し、底面は丸底。 [外]板付、 [内]板付、前部折戻	[外]7.0307/4747 [内]7.0306/166 粗:1~2mmの石英・長石・砂・鉄・金 黄・赤	第 1/2	
86	1	93	218	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	口縁部と天井部の境は屈曲し、断面は丸くおさめる。 [外]回転付、回転3振り(8)、頂部3切り未調整、 底面 [内]回転付	[外]S36/2RC白 [内]S37/1RC白 粗:1mm以下の緑粒 不良	□ 1/5	
86	1	93	219	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	口縁部と天井部の境はわずかに屈曲し、断面は丸くおさめる。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]S36/1RC [内]S36/RC 黄・tan以下の緑粒 良	□ 1/12	
86	1	93	220	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直し、断面は先細りしている。 受環部は丸く仕上げる。底面はやや平直。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付、静止付	[外]S12.0306/166 [内]S12.0306/166 黄・tan以下の緑粒・黒色粒 良	□ 1/4	
86	1	93	221	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直し、断面は先細りしている。 受環部は丸く仕上げる。底面はやや平直。 [外]回転付、回転3振り(8)、底面3切り未調整 [内]回転付	[外]S36/1RC [内]S36/1RC 粗:1mm以下の緑粒 良	□ 2/3	
86	1	93	222	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直し、受環部は丸く仕上げる。 断面はやや平直。折り曲げ後。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付	[外]S12.0306/166 [内]S12.0306/166 粗:1mm以下の緑粒 不良	□ 3/4	
86	1	93	223	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直しながら内傾し、断面は先細りしている。受環部は溝をなし、受環部は丸くおさめる。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]S7/RC白 [内]S7/RC白 粗:1mm以下の緑粒・黒色粒 良	□ 1/8	
86	1	93	224	6-型穴3 カマド	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは短く高直し、断面は先細りしている。 受環部は丸く仕上げる。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付	[外]S36/RC [内]S36/RC 粗:1.0.5mm以下の緑粒・黒色粒 良	□ 1/10	
86	1	93	225	6-型穴3 埋土	土師器 杯蓋	○ 4 オ	杯蓋の受環部は破片である。他は不良で、東意器の底 き損じと考えられる。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]7.0307/8黄 [内]7.0307/8黄 黄・tan以下の長石・赤色粒 不良	受 1/8 以下	
1	93	226	6-型穴3 カマド	東意器 有蓋高杯 (杯蓋)	A	10.2 - [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、断面は丸く収める。杯底 面におおむね2条の筋目あり。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付	[外]S36/RC [内]S36/RC 粗:1mm以下の緑粒・黒色粒 良	□ 1/4	
86	1	93	227	6-型穴3 カマド	東意器 有蓋高杯蓋	14.7 3.4 4.8	口縁部と天井部の境は2条の筋目が通り、断面は丸く収める。天井部中央に扁平なつまみを貼り付ける。 [外]回転付、回転3振り(8)、沈没2条 [内]回転付	[外]10YR2/1RC白 [内]10YR2/1RC白 粗:1mm以下の緑粒 不良	□ 2/3	
86	1	93	228	6-型穴3 埋土	東意器 杯蓋	○ 4 オ	立ち上がりは直交し、断面は丸くおさめる。 体部と立ち上りの境の屈曲は強い。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]10YR8/2RC白 [内]10YR8/2RC黄 黄・tan以下の緑・黒粒 不良	□ 1/8	
86	1	93	229	6-型穴3 カマド	東意器 蓋 (体部)	○ 4 オ	体部は扁球形で平直。体部上に沈没2条通る。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付、ハ状工具による押印	[外]S36/1RC白 [内]S36/1RC白 黄・tan以下の緑粒 不良	体は 欠 存	
1	93	230	6-型穴3 埋土	東意器 有蓋高杯 (杯蓋)	B	10.5 - [4.0]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内面は斜面を持つ。 [外]回転付、回転3振り(8) [内]回転付	[外]S37/1RC白 [内]S36/1RC白 粗:1mm以下の緑粒 不良	□ 1/12	
86	1	93	231	6-型穴3 埋土	東意器 高杯 (脚部)	○ 4 オ	脚部は扁圓筒形の足跡で、断面は内側に肥厚し 内傾する面を持つ。 [外]回転付、回転3振り(8)、3方向円形凹 [内]回転付	[外]S37/1RC白 [内]S36/1RC白 黄・tan以下の緑粒・赤色粒 不良	底 4/4	
86	1	93	232	6-型穴3 埋土	東意器 壺 (口縁)	○ 4 オ	口縁部はそのまま大きく外反する。断面には、2条 の筋目により文様部が3段に区切られ、斜め方向へ の筋目と筋目が配される。 [外]回転付、 [内]回転付	[外]10YR8/4黄 [内]10YR8/2RC白 粗:1mm以下の緑粒・赤色粒 不良	□ 1/6	

表 13 土器観察表 (13)

単位:cm (推定値) [残存額] [埋入額]

国 際 遺 跡 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 組成	残 存 率	備 考	
86	1	97	233	6-型穴3 壇上	土師器 杯	B d	(12.9) — [3.6]	体面は浅い陥凹を呈す。口縁部は直口し、肩部は先 繰りしている。 [外]147 [内]147	[外]10787/47(黄褐色) [内]10785/47(黄褐色) 骨:1mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 1/8	
	1	97	234	6-型穴3 カマド	土師器 甕 (口縁)	d1	— — [3.8]	口縁部は外傾する。肩部d1。 [外]縦線状 [内]147	[外]10786/6(黄褐色) [内]10788/2(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/8 以下	
	1	97	235	6-型穴3 カマド	土師器 甕 (口縁)	F d1	— — [3.5]	口縁部は8の字状に陥凹・内湾気味に立ち上 がる。肩部d1。 [外]縦線状 [内]147	[外]10787/37(黄褐色) [内]10786/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 1/8 以下	
86 100	1	97	236	6-型穴3 壇上	土師器 甕	12 IV c2	(15.6) — [17.4]	口縁部は直口・直線的に外傾し、肩部d2。体面は扇 形を呈する。 [外]口縁部147, 体部147/47, 147/47 [内]147/47, 147/47	[外]17, 10787/47(黄褐色) [内]17, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/2 口 1/3	
92	1	89	237	3-型穴2 S&Z周辺	東夷器 杯蓋	⑤ d オ	13.8 — 4.4	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、肩部は丸く おさめる。天井部は丸い。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]17, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 2/3	
92	1	88	238	3-型穴2 S&Z周辺	土師器 甕	A1 1 d2	(13.0) — 14.2	口縁部は直口・外傾し、肩部d2。体面は下側れ状の 扇形形を呈する。底面外面にドーナツ状の溝い え付着。 [外]口縁部147, 体部上平部147, 下平部147 [内]口縁部147, 体部上平部147, 下平部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]10786/37(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	ほぼ 完 存	
92	1	88	239	3-型穴23	土師器 甕 (口縁)	a	(21.0) — [10.5]	口縁部は直口し、肩部a。 [外]口縁部147 [内]口縁部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]5YR6/47(黄褐色) 骨:0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/8	
101	1	90	240	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	東夷器 杯身	⑤ d オ	11.3 — 4.1	立ち上がりは短く直立し、肩部は先繰りしている。 受肩部は丸く仕上げ。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]10787/47(黄褐色) [内]2, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 3/4	
101	1	90	241	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 床面直上	東夷器 杯身	⑤ d オ	(12.0) — [3.6]	立ち上がりは短く直立し、肩部は先繰りしている。 受肩部は丸く仕上げ。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]10787/47(黄褐色) [内]10787/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 1/3	
128	1	90	242	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 床面直上	東夷器 有意高杯身 (つまみ)	—	2.6 1.4 1.4	扁平で縁部はハの字状に開き、腹面は下方に肥厚 し外面をもち、 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]10787/47(黄褐色) [内]10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	つま みの み	
101	1	90	243	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	東夷器 無蓋高杯 (脚部)	B	10.4 — [5.6]	底面が縁部はハの字状に開き、腹面は下方に肥厚 し外面をもち、 [外]口縁部147 [内]口縁部147	[外]2, 10787/47(黄褐色) [内]2, 10787/47(黄褐色) 骨:0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	脚部 残 存	
101	1	90	244	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 床面直上	東夷器 甕 (口縁)	—	(25.7) — [5.9]	口縁部は短く外傾し、肩部外面に突角が1個出る。 [外]口縁部147 [内]口縁部147	[外]10787/47(黄褐色) [内]10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/4	
101	1	90	245	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	土師器 甕 (口縁)	12 Ⅲ d2	(14.0) — [3.3]	口縁部は直口・内湾し、肩部d2。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]2, 10786/6(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/8	
101	1	90	246	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	土師器 甕 (口縁・把 手)	IV b	3.7 (1.0) [8.0] [4.0]	口縁部は直口し、肩部b。把手は爪状を呈し、断面は 扁平な円筒形。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]10787/47(黄褐色) [内]17, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/5	
101	1	90	247	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	土師器 甕 (把手)	把 手 ウ	8.2 2 [5.7]	把手は爪状、断面は上面が平坦な円筒形。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]17, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	把 手 の み	
101	1	90	248	21-型穴8 3-型穴110 4-型穴122 壇上	土師器 甕	A3 IV b	(18.8) — [16.4]	口縁部は直口・外傾し、肩部b。 [外]口縁部147 [内]口縁部147	[外]17, 10786/47(黄褐色) [内]10787/37(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 1/7	
108 128	1	91	249	10-型穴301 局床	東夷器 杯蓋	⑤ d オ	(13.2) — 3.9	口縁部と天井部の境はわずかに陥凹し、肩部は丸く おさめる。 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]2, 10787/47(黄褐色) [内]10787/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 1/6	
108	1	91	250	10-型穴301 床面直上	東夷器 無蓋高杯	B	13.8 (9.4) 2.3	断面は杯蓋を過ぎた形状のもので、縁部は太く ハの字状に開き、腹面は下方に肥厚し外面をもち、 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]2, 10787/47(黄褐色) [内]2, 10787/47(黄褐色) 骨:1~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	口 2/3	
108	1	91	251	10-型穴301 局床	東夷器 甕 (脚部)	—	(7.0) — [12.2]	断面の表面は丸く、体面は扇形を呈す。断面は傾 斜変換外面に突角が1個出る。断面外面に、縁部近 くハの字状に開き、腹面外面に肥厚し外面をもち、 [外]口縁部147, 体部147/47(黄褐色) [内]口縁部147	[外]5YR6/47(黄褐色) [内]5YR6/47(黄褐色) 骨:1~2mm以下の石英・長石・赤色粒 不具	口 1/4	

表 14 土器観察表 (14)

単位:cm (推定値)【残存値】【埋入値】

図 表 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 組成	残 存 率	備考
108	1	94	252	10-型穴301 床面直上・3 v) 埴土・敷 期	土師器 蓋 (体部)	A3 1 22 — 【32.0】	口縁部は欠損。体部は長胴形を呈し、底部は丸底。 【外】17×9・黒褐色 【内】所り→粗い17×9	【外】107B5/477(黒褐色) 【内】17.5185/477(黒褐色) 青:0.5~3.5mmの石英・長石・赤色 粒 良	類 1/6	
108	1	96	253	10-型穴30 埴土	土師器 杯蓋	⑤ d オ 13.0 — 4.6	口縁部と天井部の境は丸くならぬが、底部は丸く おさめる。 【外】回転付*、口縁部が所り(→)、頂部が所り未調整 【内】回転付*	【外】12.518/324(黒褐色) 【内】12.518/214(白) 青:0.5mm以下の緑粒・黒色粒 不良	口 4/5	
1	96	254	10-型穴30 カマド	土師器 杯身 (口縁)	⑤ d オ (11.2) — 【1.7】	立ち上がりは短く高直し、底部は先細りしている。 受部は丸く仕上げる。 【外】回転付* 【内】回転付*	【外】12.5637/1041(→)灰 【内】12.5637/1041(→)灰 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 不良	口 1/8 以下		
108	1	96	255	10-型穴30 カマド	土師器 蓋 (体部)	4.2 8.4 12.8	口縁部は丸く開き、底部は丸く収める。 【外】回転付*、口縁部が所り(→)、頂部が所り未調整 【内】回転付*	【外】1577/114(白) 【内】156/114(白) 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 良好	保→ 類 1/1	
1	96	256	10-型穴30 カマド	土師器 杯身 (口縁)	B d (10.7) — 【3.2】	口縁部は丸く開き、底部は丸く収める。 【外】17×9、口縁部が所り(→)、頂部が所り未調整 【内】17×9	【外】1578/477(赤褐色) 【内】1578/477(赤褐色) 青:2.5mm以下の石英・長石・赤褐色粒 良	口 1/4		
108	1	98	257	10-型穴30 埴土	土師器 杯身	⑤ b オ 12.2 — 4.6	立ち上がりは短く高直し、底部は先細りしている。 受部は丸く仕上げる。底部やや平直。 【外】回転付*、口縁部が所り(→) 【内】回転付*、静止付*	【外】107B5/324(黒褐色) 【内】1577/477(黒褐色) 青:3mm以下の緑粒・材料難 不良	口 1/2	
1	98	258	10-型穴30 カマド	土師器 蓋 (口縁)	A1 V b (11.1) — 【7.1】	小型。口縁部は緩やかに外反し、底部は丸く おさめる。 【外】17×9 【内】17×9	【外】12.5185/981(赤褐色) 【内】12.5185/981(赤褐色) 青:0.5~3mmの石英・長石 不良	口 1/8 以下		
1	106	259	21-型穴2 床面直上	土師器 杯蓋 (口縁)	d オ (12.9) — 【2.8】	口縁部と天井部の境は丸くならぬが、底部は丸く おさめる。 【外】回転付* 【内】回転付*	【外】156/114(白) 【内】156/114(白) 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 良	口 1/8		
1	106	260	21-型穴2 埴土	土師器 杯身	⑤ d オ (12.0) — 【3.2】	立ち上がりは短く高直し、底部は先細りしている。 受部は丸く仕上げる。受部に杯蓋重ね焼き痕あり。 自然軸付。 【外】回転付* 【内】回転付*	【外】157/114(白) 【内】157/114(白) 青:1mm以下の黒色粒 良	口 1/4		
99	1	106	261	21-型穴2 埴土	土師器 高杯 (脚部)	— 11.4 【5.7】	脚部はへらの字状に開き、縦断面は外縁面をもつ。 【外】回転付*、自然軸付 【内】回転付*、静止付*	【外】157/114(白) 【内】107B5/114(赤褐色) 青:1~1mmの緑粒・黒色粒 良	脚 2/3	
1	106	262	21-型穴2 埴土	土師器 瓶 (把手)	把 手 ア 4.1 3.1 【4.0】	把手は短い棒状を呈し、断面は楕円形。 【外】17×9、断面17mm 【内】17×9	【外】17.5187/477(白) 【内】17.5187/477(白) 青:1~3mmの石英・長石・材料難 良	把手 のみ		
128	1	108	263	3-型穴30 床面直上	土師器 杯蓋	⑤ d オ (12.0) — 4.4	口縁部と天井部の境は丸くならぬが、底部は丸く おさめる。磨擦が強い。 【外】回転付*、口縁部が所り(→) 【内】回転付*	【外】157/114(白) 【内】157/114(白) 青:2mm以下の緑粒・黒色粒 良	口 1/6	
128	1	108	264	3-型穴30 埴土	土師器 杯蓋	⑤ b イ (11.8) (7.0) 【4.0】	口縁部と天井部の境は鋭い縁が所り、内底部は段を 有す。 【外】回転付*、口縁部が所り(→) 【内】回転付*	【外】156/114(白) 【内】157/114(白) 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 良	口 1/6	
128	1	108	265	3-型穴30 埴土	土師器 有蓋高杯蓋 (つまみ)	3.7 0.9 【1.5】	つまみは扁平で中央がくぼむ。 【外】回転付* 【内】回転付*	【外】157/114(白) 【内】156/114(白) 青:0.1~1mmの緑粒・黒色粒 良	つま み のみ	
93	1	108	266	3-型穴30 埴土	土師器 蓋	(11.5) — 【3.4】	口縁外縁部をつまみ出し、底部は接合する。短断面 の蓋か。 【外】17×9、口縁部が所り(→) 【内】回転付*	【外】156/114(白) 【内】156/114(白) 青:2mm以下の緑粒 良	口 1/3	
1	108	267	3-型穴30 埴土	土師器 直口蓋 (頂部)	— (1.9)	蓋部の縁片。蓋部内部に接合痕明瞭。 【外】17×9 【内】17×9、頂部17mm	【外】107B5/324(黒褐色) 【内】17.5187/477(白) 青:0.5~2mmの石英・長石・材料難 良	類 1/6		
1	108	268	3-型穴30 床面直上	土師器 鉢?	(16.8) — 5.8	口縁が大きく湾い形状を呈し、底部は丸く収める。 【外】17×9、断面17mm、2次被焼 【内】17×9、断面17mm	【外】12.5185/981(赤褐色) 【内】12.5185/981(赤褐色) 青:1~3mmの石英・長石 不良	口 1/8		
93	1	108	269	3-型穴30 埴土	土師器 蓋	(12.0) — 【15.3】	体部は短筒を呈する。口縁部は直立し、底部は先細 りしている。内部の接合痕明瞭。 【外】17×9、口縁部が所り(→) 【内】17×9、板付*	【外】1578/477(赤褐色) 【内】1578/477(赤褐色) 青:1~1mmの石英・長石 良	口 1/3	
102	1	109	270	22-型穴1 床面直上	土師器 杯身	⑤ d オ 11.8 — 4.0	立ち上がりは短く高直し、底部は先細りしている。 受部は丸く仕上げる。底部は角削し丸底。 【外】回転付*、口縁部が所り(→)、頂部が所り未調整 【内】回転付*	【外】12.5177/114(白) 【内】12.5177/114(白) 青:1mm以下の緑粒 やや不良	完存	
99	1	112	271	7-24-型穴3 床面直上	土師器 鉢	16.1 5.0 14.5	口縁部は外反し、底部は丸く収める。体部はやや直がゆるな短筒 形を呈し、底部は平直。3~4mmの品痕有り。 【外】17×9→17×9 【内】口縁部17×9、体部17×9、下30×9	【外】1578/477(赤褐色) 【内】1578/477(赤褐色) 青:1mm以下の石英・長石 不良	口 1/4	

表 15 土器観察表 (15)

単位:cm (推定値)【残存額】【瓦文額】

図録 番号	所収 番号	遺物 番号	遺物 部位	種類 名称 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 組成	残存 率	備考
94	1	113	272	5-型実45 壇土	A	14.8 — [4.5]	外は高杯の口縁部だけ。 【外】縦線、一部化粧土、底付着 【内】縦線	【外】5YR7/4-7 (黄) 【内】10YR5/6黄緑 軽黄・1~2mmの石英・長石・珪藻 質	杯蓋 存	
	1	114	273	5・23-紐立2 SP14	※ 38	(12.1) — [3.6]	口縁部と天井部の境は強い線が走り、内面は沈線が 走る。 【外】回転付、回転(9振り)~ 【内】回転付	【外】5Y5/6 【内】7.5YR5/2灰黄 軽黄・2mm以下の緑線・黒色粒 質	口 1/8	
	1	114	274	5・23-紐立2 SP12	A	— (8.5) [5.6]	断面は台形状に開き、3方向有角状を有する。縦 断面は下方に曲げて丸く収め、内縁が走る。 【外】回転付、3方向有角状 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 軽黄・1~2mmの緑線・黒色粒 質	口 1/8	野
104	1	121	275	7・42-紐立1 SP27		(10.6) — [13.9]	口縁部は短く直立し、断面は内傾する面をもつ。体 面中に最大径となる球型玉形を有する。体面中 には沈線が走る。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y7/灰白 【内】5Y7/灰白 黄・2mm以下の緑線・黒色粒 質	口 1/7	野
111	1	124	276	10-紐立2 SP17		— — [3.8]	口縁部は短く直立し、断面は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y7/灰白 【内】5Y7/灰白 軽黄・1mm以下の緑線・黒色粒 質	口 1/8 以下	
111	1	125	277	10-紐立1 SP105	ク	— — [2.8]	断面は外方に屈曲して凹斜面を有する。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 軽黄・1mm以下の緑線・黒色粒 質	口 1/8 以下	
	1	127	278	9-紐立1 SP21		— — [3.2]	口縁は直線的に外傾し、断面は先離りしている。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 黄・1mm以下の緑線 質	口 1/8 以下	
104	1	129	279	6-紐立1 SP37	4 8	(14.2) — [2.9]	口縁部と天井部の境は丸く収め、断面は丸く収 める。 【外】回転付、回転(9振り) (8) 【内】回転付	【外】5Y5/6 【内】5Y5/6 軽黄・1mm以下の緑線 質	口 1/5	
132	1	130	280	9-紐立2 SP35		— — [3.4]	口縁は内湾気味に立ち上がり、断面は丸く収める。 【外】縦線 【内】縦線、→(3)8	【外】10YR5/3浅黄緑 【内】7.5Y2/1 軽黄・0.3~1.5mmの石英・珪藻 質	口 1/8 以下	
132	1	132	281	10-紐立3 SP15		— (7.6) [1.3]	断面は三角形の低い高台を貼付ける。 【外】付 【内】付、→(3)8	【外】10YR5/2灰白 【内】2.5Y2/1 軽黄・0.5~2mmの石英・長石 質	底 3/8	
132	1	132	282	10-紐立3 SP17		(14.6) — [3.8]	口縁は内湾気味に立ち上がり、断面は内傾する面 を有する。 【外】付 【内】付	【外】10YR2/3.7浅黄緑 【内】2.5Y2/1 軽黄・1mm以下の石英・長石 質	口 1/7	
132	1	132	283	10-紐立3 SP32		(13.2) — [4.1]	口縁は内湾気味に立ち上がり、断面は丸く収める。 断面はやや厚い。 【外】付、→(3)8 【内】付、→(3)8	【外】10YR2/1黄 【内】10YR2/1黄 軽黄・0.1~2mmの石英・長石・金雲 母	口 1/8 以下	
133	1	132	284	10-紐立3 SP14		(19.9) — [6.8]	口縁部は直立し、断面外面に水平な線を貼り付 ける。 【外】付 【内】付	【外】10YR5/2灰黄緑 【内】10YR5/2灰黄緑 軽黄・0.5~1.5mmの石英・長石・赤色 粒	口 1/8 以下	
133	1	132	285	10-紐立3 SP14		(18.5) — [5.2]	口縁部は直立し、断面外面に水平な線を貼り付 ける。 【外】付 【内】付	【外】7.5YR5/3.7(黄) 【内】7.5YR5/3.7(黄) 軽黄・1~2mmの石英・長石・赤色粒 質	口 1/8 以下	
133	1	132	286	10-紐立3 SP17		38.4 — [9.3]	口縁部は両面外傾し、断面は内面を積み上げ、外 面を持つ。 【外】付 【内】付	【外】5YR6/6黄 【内】5YR6/6黄 軽黄・1~2mmの石英・長石・赤色粒 質	口 1/4	
1	136	287	5-紐西1 SP15	東意器 杯身 (口縁)	— — [2.6]	口縁部は短く直立し、断面は先離りしている。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 黄・1mm以下の緑線 質	口 1/8 以下		
1	136	288	5-紐西2 SP21	土師器 蓋 (口縁)	32	(13.2) — [4.5]	口縁部は外傾し、内面は丸く収まる。 【外】付 【内】付	【外】5YR6/4.7(黄) 【内】5YR6/6黄 軽黄・1~2mmの石英・長石 質	口 1/8	
1	142	289	8・43-S06	土師質土器 杯 (底面)	— (6.0) [1.2]	底面は平高台状を有する。底面切り離し技法不 明。 【外】回転付 【内】縦線	【外】2.5Y6/3.7(黄) 【内】5Y7/3浅黄 軽黄・0.1~1mmの石英・長石・珪藻 質	底 1/4		
1	142	290	8・9-S03	土師器 蓋 (口縁)	— — [5.6]	口縁部は直立し、断面は丸く収める。 【外】縦線 【内】縦線	【外】7.5YR5/6黄 【内】7.5YR5/6黄 黄・2mm以下の石英・長石 質	口 1/8 以下		
107	1	142	291	8・9-S03	土師器 蓋 (口縁)	(14.0) — [13.8]	断面は緩やかに屈曲・外反し、断面は丸く収める。 【外】付、→(3)8 【内】付、→(3)8	【外】5YR7/6黄 【内】5YR6/6黄 黄・1~2mmの石英・長石・珪藻 質	口 1/8	

表 16 土器観察表 (16)

単位:cm (推定値)【残存額】【復元額】

図 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備考
107	1	143	292	8-507 土器 大口壺 (体部)	土器器 身	(6.2) — [9.7]	樽型。体部は最狭部を有す。口縁部は欠損。 外面に意匠的な「び」を施し、化粧土を塗布する。 【外】「び」は、化粧土 【内】指頭正直、平	【外】SVB6-9/4 【内】SVB6-9/4 軽質0.1~1mmの石英・長石・珪酸 質	1/1	
107	1	143	293	9-507 埋土	土器器 身	(20.9) — [10.6]	体部は肩の狭くない短形を有する。肩部は強く 結曲し、口縁は水平近くまで曲げられ、肩部は面を 持つ。体部内面は全体的に黒化している。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」・「び」	【外】J7、SVB6-9/4 【内】J2、SVB1/1長尺 軽質0.5~1.5mmの石英・長石・金雲 母	3/4	
107	1	146	294	9-50117 埋土	土器器 身 (口+体部)	(18.0) — [14.0]	口縁部は両側に、大きく外反する。肩部は先細り している。 【外】「び」・「び」 【内】「び」・「び」	【外】J7、SVB7-6/4 【内】J7、SVB6-9/4 軽質0.5~1mmの石英・長石・珪酸 質	1/4	
104	1	148	295	15-504 直器器 身	直器器 身	(18.4) — [25.3]	口縁部は強く直立気味に立ち上がり、肩部は五稜状 に肥厚する。体部は肩の張った最狭部を有する。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV6/4 【内】SV6/4 軽質1.2mm以下の細粒・赤色粒	ほぼ 完全 保存	
112	1	148	296	11-507 土器器 身	土器器 身	(37.0) — [11.9] [19.5]	体部は直線的に直く、体部に「角」状の扁平な把手 を2ヶ所付ける。口縁部は、結曲・外反し、肩部は 面をもつ。 【外】「び」・「び」 【内】「び」・「び」	【外】SVB6-9/4 【内】SVB6-9/4 軽質0.5~2mmの石英・長石・赤色粒	1/2	
104	1	151	297	15-501 直器器 杯身	直器器 杯身	(12.4) (6.0) 4.2	立ち上がりは短く内傾し、肩部は丸くおさめる。底 部は浅い丸底。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV6/4 【内】SV6/4 軽質1.2mm以下の細粒	1/3	
104	1	151	298	15-501 直器器 杯身	直器器 杯身	(11.4) — [3.3]	立ち上がりは短く両側に内傾し、肩部は先細り している。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV7/1長尺 【内】SV6/4 軽質1.2mm以下の細粒	受 入	
1	152	299	3-501・4- SD3 土器集中地 点	直器器 杯身	直器器 杯身	(11.6) — [3.0]	立ち上がりは両側に内傾し、内面は両側面を 有す。受部境に溝をなし、受部上面は平坦。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV7/1長尺 【内】SV7/1長尺 軽質1.2mm以下の細粒・黒色粒	1/6	
103	1	152	300	3-SD1・4- SD3 直器器 有蓋高杯	直器器 有蓋高杯	(10.8) (9.4) [9.2]	立ち上がりは結曲して直立し、内面は斜面を有 す。肩部は「角」状に扁平な把手を2ヶ所付ける。 体部は面をもつ。肩部に意匠的な「び」を施す。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV7/1長尺 【内】SV7/1長尺 軽質0.5~1mmの細粒	1/8	
128	1	152	301	3-SD1・4- SD3 直器器 杯蓋	直器器 杯蓋	(12.6) — [5.0]	口縁部と天井部の境は両側に直り、内面は幅広の 両側面を有す。天井部は高く丸みをおさる。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV6/4 【内】SV6/4 軽質1.2mm以下の細粒	1/8	74と組合
103	1	152	302	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	直器器 大口壺 (体部)	9.1 — [10.5]	体部は球状を有する。体部下半は口縁部より全 く、口縁部は「び」の扁平な把手を2ヶ所付ける。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SVB6-9/4 【内】SVB6-9/4 軽質1~2mmの細粒・黒色粒	1/8	体定 存
1	152	303	3-SD1・4- SD3 土器器 杯 (口縁)	土器器 杯 (口縁)	— — [3.0]	口縁部は斜めに立ち、肩部は外傾する面を持つ。 【外】「び」 【内】「び」	【外】J2、SVB6-9/4 【内】J2、SVB6-9/4 軽質0.5~2mmの石英・長石・珪酸 質	1/8 以下		
103	1	152	304	3-SD1・4- SD3 土器器 杯	土器器 杯	(12.0) — 5.4	体部は筒状を有す。口縁部は直立し、肩部は先細 りしている。内外面の化粧土洗磨の範囲は異なる。 【外】「び」、化粧土 【内】「び」、化粧土	【外】SVB6-9/4 【内】SVB6-9/4 軽質1~2mmの石英・長石・珪酸 質	1/8	
1	152	305	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土器器 杯 (口縁)	土器器 杯 (口縁)	(12.2) — [2.6]	口縁部は強く外反し、肩部は面をもつ。 【外】「び」 【内】「び」	【外】SVB6-9/4 【内】J2、SVB6-9/4 軽質0.1~1mmの石英・長石・珪酸 質	1/8 以下	
1	152	306	3-SD1・4- SD3 土器器 杯 (口縁)	土器器 杯 (口縁)	(14.0) — [5.3]	口縁部は内湾気味に立ち上がり、肩部は丸く収 める。 【外】「び」 【内】「び」	【外】J7、SVB7-6/4 【内】J7、SVB7-6/4 軽質0.5~1mmの石英・長石・赤色 粒	1/4		
103	1	152	307	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土器器 高杯 (脚部)	— (9.0) [5.8]	脚柱部と胴部との境は結曲する。接合技法。 【外】「び」、一部化粧土 【内】「び」、一部化粧土	【外】SVB7-6/7/4 【内】J7、SVB7-6/7/4 軽質0.5~2mmの石英・長石・珪酸 質	1/8	
103	1	152	308	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土器器 高杯 (脚部)	— (8.8) [6.0]	脚柱部と胴部との境はわずかに結曲する。接合技 法。 【外】「び」、化粧土 【内】「び」、化粧土	【外】SVB6-9/4 【内】SVB6-9/4 軽質0.5~2mmの石英・長石・珪酸 質	1/4	
103	1	152	309	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土器器 大口壺 (口縁)	9.4 — 16.3	体部は肩の張った最狭部を有する。口縁は直線的 に外傾し、肩部は丸く収める。外面の「び」は斜線 あり。 【外】「び」・「び」、化粧土 【内】「び」・「び」、化粧土	【外】J7、SVB7-6/4 【内】J7、SVB7-6/4 軽質0.5~2mmの石英・長石・珪酸 質	完全 保存	
1	156	310	9-50205 破片	直器器 杯蓋 (口縁)	直器器 杯蓋 (口縁)	(11.6~ 12.2) — [2.9]	口縁部と天井部の境は丸くならぬが、肩部は丸 くおさめる。 【外】口縁部は「び」、体部は「び」 【内】口縁部は「び」、体部は「び」	【外】SV7/1長尺 【内】SV7/1長尺 軽質1.2mm以下の細粒・黒色粒	1/7	

表 17 土器観察表 (17)

単位:cm (推定値)【残存値】【埋入値】

図 表 番 号	所 属 番 号	通 身 番 号	通 身 部 位	通 身 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 部 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備 考
129	1	155	311	9-SI205 部位不明	東意器 杯 (底部)	— 9.6 【2.0】	底部に断面四角の輪高台を駆付する。 【外】回転付、回転5周り 【内】回転付、静止付	【外】S17/1K白 【内】S17/2K白 粗:1~2mmの緑泥 不良	底 1/1	
129	1	155	312	9-SI205 部位不明	東意器 平皿 (口縁)	9.0 — 【7.3】	口縁部はラッパ状に開き、底部は光線りしている。 【外】回転付 【内】回転付、付	【外】N5/灰 【内】N7/3K白 骨:0.5~1.5mmの緑泥・黒色粒 良	口 3/8	
129	1	155	313	9-SI205 部位不明	東意器 鉢 (底部)	— 8.3 【3.0】	底部は厚い円盤状を呈する。 【外】回転付、回転5周り(+)、自然軸付着 【内】回転付	【外】T. 530/1K 【内】T. 530/1K灰 粗:0.5~1mmの緑泥 良好	底 1/1	
130	1	155	314	9-SI205 部位不明	東意器 広口甕 (口縁)	(17.4) — 【7.8】	口縁部は外反し、底部は上方に横上げ有縁外甕面をもつ。 【外】回転付、平行文付 【内】回転付、当て具痕、付消し	【外】S18/1K白 【内】S18/1K白 骨:0.5~1.5mmの緑泥 不良	口 1/8	
130	1	155	315	9-SI205 埋土	東意器 甕	(22.4) — 【14.7】	大空部、底部は環形平底で、口縁は外反し、底部を丸く収める。 【外】回転付、平行文付、斜目 【内】回転付、当て具痕	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:緑泥 良好	口 1/4	
130	1	155	316	9-SI205 部位不明	土師器 甕	24.9 — 【21.8】	口縁部は、強く屈曲し、外傾する。底部は長方形を呈する。 【外】付、板付 【内】付、板付、付	【外】2. 537/2K黄 【内】2. 537/1K白 骨:0.5~1mmの石質・長石・赤色粒 不良	頸 1/1	
130	1	155	317	9-SI205 胎方	土師器 甕 (口縁)	(30.0~ 34.4) — 【6.5】	口縁部はくの字状に屈曲・外傾し、底部は、 【外】付、板付 【内】付、板付、付	【外】10YR5/3浅黄緑 【内】10YR7/2中黄 骨:0.5~2.5mmの石質・長石・付緑 良	口 1/6	
1	155	318	9-SI205 部位不明	土師器 杯	12.0 — 【4.1】	底部は輪形を呈す。口縁部は直口し、底部は内傾する面を持つ。外面に粘土層貼付痕明瞭。 【外】付 【内】付	【外】T. 532/6黄 【内】T. 530/6黄 粗:0.5~2mmの石質・長石・付緑 不良	口 1/8		
130	1	155	319	9-SI205 襷形	土師器 皿A	(12.6) (7.4) 【3.1】	底部は丸みを帯びた広い平底。口縁部は斜めに上向き、底部は丸く収める。 【外】付 【内】縦線	【外】T. 530/3浅黄緑 【内】T. 530/3浅黄緑 粗:0.1~1mmの石質・長石・付緑 良	底 1/3	
1	155	320	9-SI205 埋土	土師器 甕 (把子)	(4.0) 2.3 【4.2】	把子は半角状を呈し、断面は上面が平坦な半円形。 【外】付 【内】付	【外】T. 530/6黄 【内】T. 530/6黄 粗:0.5~2mmの石質・長石・付緑 良	把子 のみ		
130	1	155	321	9-SI205 最下層	東意器 杯	(12.2) (7.2) 4.0	底部はやや丸みを帯びた平底。口縁部は直線的に外傾し、底部は丸くおさめる。 【外】回転付、回転5周り(+)、 【内】回転付	【外】10YR7/1K白 【内】2. 537/2K黄 骨:0.5~1.5mmの緑泥 不良	口 1/4	
130	1	155	322	9-SI205 最下層	東意器 杯	11.4 6.3 4.5	底部は平底。底部は丸みを帯びる。 口縁部はわずかに外反する。 【外】回転付、回転5周り(+)、 【内】回転付	【外】2. 530/1K白 【内】2. 530/2K白 粗:0.5~1mmの緑泥 良	完存	
130	1	155	323	9-SI205 最下層	東意器 杯	(11.4) — 4.6	底部はやや丸形。口縁部は外傾し、底部は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】S18/灰 【内】S18/灰 粗:1~1mmの緑泥 不良	口 3/8	
130	1	155	324	9-SI205 最下層	東意器 盤 (底部)	— (11.5) 【3.9】	底部に足高台を駆付する。 【外】回転付、回転5周り(0) 【内】回転付、静止付	【外】T. 537/1K白 【内】T. 537/1K白 骨:0.5~2mmの緑泥 良	底 1/1	
1	155	325	9-SI205 部位不明	東意器 杯蓋 (口縁)	— — 【2.8】	口縁部と天井部の境は丸くならず、底部は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:1mm以下の緑泥 良	口 1/8 以下		
130	1	155	326	9-SI205 最下層	土師器 杯	(11.6) (7.0) 3.4	特製品。底部は平底。口縁部は斜めに下向き、底部は丸くおさめ、内面に放射状の筋。内外面に粘土を塗布し、摩滅著しいが、外面底部の5周り、内面の放射状筋文がわずかに観察できる。 【外】5周り(5手法) 【内】付、放射状筋文	【外】2. 530/8黄 【内】2. 530/8黄 骨:0.1~1mmの石質・長石 良	口 1/4	内面系土 筋路
1	155	327	9-SI205 最下層	土師器 皿	(15.4) — 【3.1】	底部は丸みを帯びた平底。口縁部は斜めに上向き、底部は丸く収める。ローリングを受け摩滅著しい。 【外】縦線 【内】縦線	【外】T. 530/8黄 【内】T. 530/8黄 骨:0.5~2mmの石質・長石 不良	口 1/8		
1	161	328	3-SK106	東意器 杯蓋 (口縁)	— — 【3.0】	口縁部と天井部の境はわずかに屈曲し、底部は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】T. 532/4中黄 【内】T. 532/4中黄 骨:1.5mm以下の緑泥 不良	口 1/8 以下		
1	161	329	3-SK106	東意器 杯身 (口縁)	— — 【2.5】	立ち上がりは短く屈曲して直立し、底部は丸くおさめる。変部に粘土層を後述による焼きムラあり。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:1mm以下の緑泥・黒色粒 良	口 1/8 以下		
128	1	161	330	3-SK107	東意器 広口甕 (つまみ)	2.8 0.7 【1.4】	つまみは扁平、断面は隆まない。 【外】回転付 【内】回転付	【外】2. 530/1黄灰 【内】10YR7/2中黄 骨:0.1~1mmの黒色粒 良	つま みの み	

表 18 土器観察表 (18)

単位:cm (推定値) [残存額] [還元額]

国 際 遺 跡 番 号	所 属 遺 跡 番 号	遺 物 番 号	遺 物 層 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴 [外] [内]	色調 [外] [内] 胎土 産地	残 存 率	備 考
	1	165	231	21-587	土師器 甕 (把手)	3.5 1.8 [5.3]	把手は平角状を呈し、断面は上面がやや凹んだ様子を有す。 [外]板状?、? ? [内]板状?	[外]10YR7/4? (黄褐色) [内]10YR7/4? (黄褐色) 胎土:1mm以下の黒炭・黒色砂 良	把手のみ	
94	1	165	332	4-582	須恵器 杯蓋	④ e イ 11.5 — 4.7	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内面は斜線を有す。天井部は湾曲によりくぼむ。天井部に板状突起を有す。 [外]凹線状?、凹線?隔り (R)、頂部?切り未調整 [内]凹線状?	[外]N7/10C [内]N7/10C 胎土:1mm以下の黒炭・黒色砂 良	完存	
94	1	165	333	4-582	須恵器 杯蓋	④ e ウ (13.0) — 4.5	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内面は斜線を有す。 [外]凹線状?、凹線?隔り (L)、頂部?切り未調整 [内]凹線状?	[外]N6/10C [内]10YR7/2? (黄褐色) 胎土:1mm以下の黒炭・黒色砂・金雲母 やや不良	口 1/3	
94	1	165	334	4-582	須恵器 杯身	④ a イ (9.8) — 5.0	立ち上がりはほぼ直立し、内面は凹斜線を有す。底部は角丸底。 [外]凹線状?、凹線?隔り (L) [内]凹線状?、跡土?	[外]N7/10C [内]N6/10C 胎土:2mm以下の黒炭・黒色砂 良	口 1/4	
94	1	165	335	4-582	須恵器 高杯 (脚部)	B — (9.0) [5.0]	脚部は截頭円錐形の短脚で、断面部は有稜角断面を持つ。3方向円形突起を穿孔する。 [外]凹線状?、凹線?隔り、3方向円形突起 [内]凹線状?	[外]5YR/10C白 [内]5YR/10C白 胎土:1~2mmの黒炭・? ? 産 不良	底 1/2	
94	1	165	336	4-582	土師器 甕	F IV c (17.6) — [8.4]	口縁部はくの字状に屈曲し、断面はL、断面?記号「I」あり。 [外]凹線状?、? ?、胎土平板状? [内]凹線状?、? ?、胎土平板状?	[外]N6/10C [内]N6/10C 胎土:1mm以下の黒炭・黒色砂 良	口 1/3	
	1	167	337	6-5812	須恵器 杯蓋	③ b イ (13.2) — [4.9]	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内面は斜線を有す。天井部は丸みを帯びる。 [外]凹線状?、凹線?隔り (R) [内]凹線状?	[外]N6/10C [内]N6/10C 胎土:2mm以下の黒炭 良	口 1/7	
	1	168	338	21-585	須恵器 杯身 (口縁)	⑤ d オ — [2.2]	立ち上がりは短く高直し、断面は先細りしている。受胎部は丸く仕上げられる。 [外]凹線状?、凹線?隔り (L) [内]凹線状?	[外]N6/10C [内]5YR6/4青灰 胎土:1mm以下の黒炭 良	口 1/12	
104	1	168	339	21-585	須恵器 高杯 (脚部)	B — 8.9 [4.5]	脚部は截頭円錐形の短脚で、断面部は内側に肥厚し内傾する面を持つ。3方向に突起を穿孔する。 [外]凹線状?、凹線?隔り、3方向突起 [内]凹線状?	[外]5Y7/10C白 [内]5Y7/10C白 胎土:2mmの黒炭・赤色砂 不良	脚 1/1	
104	1	170	340	21-582	須恵器 甕 (胎土)	— [3.8]	胎土片である。断面と胎土断面にそれぞれ輪状突起状 (5条 (条1本)) を施す。 [外]凹線状?、凹線?隔り、自然釉付着 [内]凹線状?	[外]2.5Y7/10C白 [内]2.5Y7/10C白 胎土:1mm以下の黒色砂 良好	胎 1/8	
	1	172	341	9-582	土師質土師 杯 (底部)	— (7.0) [1.2]	底部?残り様子不明。 [外]観察難 [内]観察難	[外]5YR6/6褐色 [内]5YR6/6褐色 胎土:1mm以下の黒石・? ? 産 不良	底 1/8	
133	1	180	342	13-586	土師質土師 甕	(26.9) — [6.9]	口縁部は、直線的に外傾し、上面部を横み上げ外面をもつ。断面内面は屈曲する。 [外]板状?、凹線?隔り (L) [内]板状?、? ?	[外]10YR7/2? (黄褐色) [内]10YR7/2? (黄褐色) 胎土:0.5~2mmの黒石・黒石・赤色砂・金雲母 良	口 1/6	
112	1	180	343	13-5812	土師質土師 甕	(30.0) — [18.9]	大形止で、短脚部を呈するとと思われる。口縁部は外傾し、断面は面をもつ。内面の屈曲は強い。 [外]板状? [内]板状?	[外]7.5YR6/6褐色 [内]5YR6/6褐色 胎土:1~2mmの黒石・黒石・? ? 産 良	口 1/1	
	1	181	344	20-587	須恵器 甕 (胎土)	— (6.6) [3.5]	平底 [外]板状? [内]観察難	[外]5Y6/10C [内]10YR7/2? (黄褐色) 胎土:1~2mmの黒石・黒石 不良	底 1/2	
107	1	185	345	9-58126	須恵器 広口 甕 (口~胎土)	(13.9) — [16.1]	胎土は割の割った扁球形を呈する。口縁部は外反し、断面は上方に横み上げ、丸く肥厚する。 [外]陶文?、凹線?隔り、凹線?隔り [内]胎土?、凹線?隔り、凹線?隔り	[外]10YR7/2? (黄褐色) [内]5YR6/6褐色 胎土:0.5~1.5mmの黒炭・? ? 産 不良	口 1/3	
112	1	186	346	11-535	須恵器 杯蓋	② e ウ (14.0) — [4.3]	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内面は斜線の凹斜線を有す。頂部はやくくぼむ。 [外]凹線状?、凹線?隔り (R) [内]凹線状?	[外]N5/10C [内]N7/10C 胎土:3mm以下の黒炭・黒色砂・白色砂 土 良	口 1/2	
112	1	186	347	11-535	須恵器 甕 (口部)	(18.4) — [6.1]	口縁部は湾曲・外反し、断面は上面を横み上げ、下部に突帯を施す。面を持つ。断面?記号「I」あり。 [外]凹線状?、平行文?、凹線?隔り (X) [内]凹線状?、平文?、凹線?隔り (X)	[外]N5/10C [内]5YR6/6褐色 胎土:0.5~2mmの黒炭 良好	頸 3/8	
	1	186	348	11-535	土師質 高杯 (脚部)	— (9.8) [4.7]	脚部は低脚で、大きく開く。脚部平直。 [外]板状? [内]板状?	[外]5YR6/6褐色 [内]5YR6/6褐色 胎土:0.5~2mmの黒石・黒石 胎 良	脚 1/6	
133	1	188	349	12-5331	土師質土師 割止 (口縁)	(24.6) — [6.5]	口縁部は直立し、断面より少し下った位置に水平な割止を施す。口縁・割止の断面には凹線を持つ。 [外]凹線状? [内]凹線状?	[外]10YR7/2? (黄褐色) [内]10YR7/2? (黄褐色) 胎土:1~2mmの黒石・黒石・? ? 産・風雲母 良	口 1/8	

表 19 土器観察表 (19)

単位:cm (推定値)【残存額】【瓦元額】

国 際 形 番 号	所 属 形 番 号	通 称 番 号	遺 構 層 位	種類 名称 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備 考
1	189	350	3-SP13	煎煮器 杯蓋 (口縁)	トス	— [3.7]	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は凹面を有す。 【外】凹削?、 【内】凹削?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:3mm以下の繊維・黒色粒	口 1/8 以下	
108	189	351	10-SP201	煎煮器 杯蓋	① + オ	(12.8) — 3.3	口縁部と天井部の境は鋭い稜が走り、内面は凹面を有す。 【外】凹削?、凹削?傾り(凹) 【内】凹削?、磨削?	【外】SP6/1青灰 【内】SP6/1青灰 骨:0.5mm以下の繊維	口 1/3	
1	189	352	22-SP8	煎煮器 高杯 (脚部)	—	(10.0) [4.5]	脚部は7つの字状に開き、断面は上下に肥厚し、右側丸断面を持つ。 【外】凹削?、推定4方向有角13?、自然磨削?、 【内】凹削?	【外】S3/緑灰 【内】S7/灰白 骨:0.5~1mmの繊維・黒色粒	底 1/6	
1	189	353	6-SP28	土師器 高杯 (脚部)	把手 ア	3.2 2.2 [3.5]	把手は半角状を呈し、断面楕円形。 【外】指頭正偏 【内】→、指頭正偏	【外】SY6/9黄 【内】2. SY6/8黄 骨:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	把手のみ	
1	189	354	11-SP32	土師器 甕 (口部)	A2 V b	(19.8) — [7.6]	口縁部は高曲・外反する。断面b。 【外】凹削?、凹削? 【内】凹削?、凹削?	【外】SY6/6黄 【内】17. SY6/4黄 骨:0.5~5mmの石英・長石	口 1/8 以下	
111	189	355	10-SP15	煎煮器 鉢 (口縁)	—	(24.2) — [5.3]	口縁部は外方に屈曲し、上縁部はつまみ上げ外縁面とする。 【外】凹削?、 【内】凹削?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:1~3mmの石英・長石・黒色粒	口 1/8	十根山所
1	189	356	10-SP64	土師器 甕 (口部)	A2	(15.6) — [7.0]	口縁部は高曲・外反し、断面b。 【外】凹削?、凹削? 【内】観察難	【外】7. SY6/6黄 【内】7. SY6/4黄 骨:1~5mmの石英・長石 不具	口 1/8	
132	189	357	10-SP141	黒色土器A 甕 (口縁)	—	— [1.8]	断面はやや厚みを増し先細りしている。 【外】凹削? 【内】凹削?	【外】2. S3/1黒灰 【内】SY2/1黒 骨:1mm以下の石英・長石・金雲母	口 1/8 以下	
132	189	358	9-SP42	黒色土器B 甕 (底部)	—	(7.0) [2.4]	底部に輪高台を張り付ける。 【外】凹削?、凹削? 【内】凹削?	【外】SY4/1灰 【内】SY4/1灰 骨:0.5mmの石英・長石・金雲母	底 1/6	
84	113	2	4 359	土師器 高杯 (杯部)	B1	12.4 — [4.8]	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、断面は丸く収める。 【外】凹削?、 【内】凹削?	【外】SY6/6黄 【内】SY6/6黄 骨:0.5~2mmの石英・長石 不具	口 1/3	
84	113	2	4 360	土師器 高杯 (杯部)	B1	13.4 — [6.0]	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、断面は丸く収める。 【外】凹削?、面削?、化粧土 【内】凹削?、面削?、化粧土	【外】SY6/6黄 【内】SY6/6黄 骨:0.5~2mmの石英・長石 不具	口 2/3	
84	113	2	4 361	土師器 高杯 (杯部)	B1	13.3 — [5.3]	碗形高杯。口縁部は直口し、断面は丸く収める。接合部。 【外】凹削?、面削?、一酸化性土、黒面 【内】凹削?、面削?、一酸化性土	【外】7. SY6/7黄面 【内】7. SY6/6黄 骨:0.5~5mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/1	
84	113	2	4 362	土師器 甕	F a1	(20.3) — [13.9]	口縁部は7つの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、断面b1。体部は磨削さ。 【外】口縁部凹削?、体部上至凹削? 【内】口縁部凹削?、体部上至凹削?、凹削?、指頭正偏	【外】7. SY6/7黄面 【内】10YR7/4? (黄面) 骨:0.5~5mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/1	
84	2	4 363	土師器 手取土器	—	—	(9.0) — [4.5]	口縁部はわずかに折り曲げ、断面は丸く収める。 【外】指頭正偏 【内】指頭正偏	【外】SY7/6黄 【内】7. SY7/4? (黄面) 骨:0.5~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/8	
84	113	2	6 364	土師器 杯蓋	① + ア	13.2 — 4.6	口縁部上の稜は突角状の鋭い稜が走り、断面は接合面を有す。 【外】凹削?、凹削?傾り(凹)、凹削?凹削? 【内】凹削?	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:1.5mm以下の繊維	ほぼ 完存	
110	2	6 365	土師器 杯蓋	① + イ	—	(13.8) — [4.4]	口縁部と天井部の境は突角状の鋭い稜が走り、内面は凹面を有す。 【外】凹削?、凹削?傾り(凹) 【内】凹削?	【外】N6/灰 【内】N5/灰 骨:1mm以下の繊維・黒色粒	口 1/3	
84	113	2	6 366	土師器 杯蓋	① + ア	13.8 — [4.9]	口縁部と天井部の境は突角状の鋭い稜が走り、断面はほぼ接合面を有す。 【外】凹削?、凹削?傾り(凹) 【内】凹削?、磨削?	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:3mm以下の繊維・黒色粒	口 1/2	
84	113	2	6 367	土師器 煎煮器高杯 (杯部)	—	13.9 — [4.5]	口縁部と底部の境は鋭い稜が走り、内面は凹削面を持つ。内面足込に断面三角形の突角を張り付ける。底を突きあぶり。 【外】凹削?、凹削?傾り(凹) 【内】凹削?、突角1条	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:0.5~3mmの繊維・石英・黒色 粒 良好	杯 1/1	
84	110	2	6 368	土師器 甕	A2	(19.1) — [8.7]	口縁部は外傾し、口縁部付近でさらに外方に開く。外縁部に突角を貼付け断面となし、その下に突角が1条走る。 【外】凹削?、平打?、磨削 【内】凹削?、滑てき砥の半打?	【外】SY6/1灰 【内】SY6/1灰 骨:3mm以下の繊維 良好	口 1/1	
104	2	6 369	土師器 甕	—	—	(3.0)	口縁部は直口し、断面は丸く収める。 【外】観察難 【内】凹削?	【外】7. SY6/6黄 【内】SY6/4? (金雲母) 骨:0.5~1.5mmの石英・長石 不具	口 1/8 以下	確認式

表 20 土器観察表 (20)

単位:cm (推定値)【残存値】【還元値】

図 表 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】(内)	色調【外】(内) 組成	残 存 率	備考
104	2	6	370	14・27- 型穴22 埴土	製土土器 (口縁)	— (2.6)	口縁部は直立し、肩部は先細りしている。 【外】縦線模 【内】19	【外】10YR6/4-7(黄褐色) 【内】10YR6/3-7(黄褐色) 青:0.1~0.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8 以下	備置V式
84	115	2	371	14・27- 型穴22 埴土	土師器 高杯 (杯部)	III (13.8) 【4.2】	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、肩部は 外方につまみ出し内傾する面を持つ。 【外】19、一部化粧土 【内】19、一部化粧土	【外】5YR6/6 【内】5YR6/6 青:0.5~1.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/4	
84	115	2	372	14・27- 型穴22 床面直上	土師器 高杯 (杯部)	III 13.1 11.1 10.1	碗形高杯。口縁部は内湾し、肩部は面を持ち、19に よる同様にこぼれ。脚部は屈曲せず緩やかに開く。 検査技法A。 【外】19、板状、一部化粧土、黒炭 【内】19、板状、粘土結晶を上げ板、板状、脚部 に化粧土	【外】10YR6/2(黄褐色) 【内】10YR5/3(黄褐色) 青:0.5~1.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 2/3	
84	115	2	373	14・27- 型穴22 埴土	土師器 杯 (口縁)	B a (10.0) 【3.1】	口縁部は短く外反し、肩部は丸く収める。 【外】19 【内】19	【外】7.5YR6/4-7(黄褐色) 【内】7.5YR6/6 靑:0.5~2mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8	
84	115	2	374	14・27- 型穴22 床面直上	土師器 杯 (口縁)	B b (11.2) 【3.1】	口縁部は内折し、肩部は丸く収める。 【外】19、板状 【内】19、板状	【外】5YR6/6 【内】7.5YR6/6 靑:0.1~1mmの石英・赤色鉄 不具	口 1/8	
84	115	2	375	14・27- 型穴22 埴土	土師器 杯 (口縁)	— (2.3)	口縁部は、短く屈曲する。 【外】縦線模 【内】縦線模	【外】5YR6/4-7(赤褐色) 【内】7.5YR6/4-7(黄褐色) 青:0.1~1mmの石英・金雲母 不具	口 1/8 以下	
84	115	2	376	14・27- 型穴22 埴土	土師器 羹 (口縁)	— (4.0)	口縁部はくの字状に屈曲・外反し、肩部は、 【外】縦線模 【内】19、19、19	【外】10YR5/2(黄褐色) 【内】10YR5/3(黄褐色) 靑:0.1~1mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8 以下	
84	115	2	377	14・27- 型穴22 カマド周辺	土師器 羹 (口縁)	A2 b (17.4) 【4.5】	口縁部は屈曲・外反し、肩部は、 【外】19、縦線模 【内】19、縦線模	【外】7.5YR6/3-7(黄褐色) 【内】10YR5/2(黄褐色) 靑:0.5~2.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8	
84	115	2	378	14・27- 型穴22 埴土	土師器 羹 (口縁)	A3 a (22.0) 【3.6】	肩部は屈曲し、口縁部は短く太い。肩部は、 【外】19、19、19 【内】19、19、19	【外】10YR7/4-7(黄褐色) 【内】10YR5/2(黄褐色) 靑:0.5~1.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8	
84	115	2	379	14・27- 型穴22 埴土	土師器 羹 (口縁)	F IV d1 (20.1) 【6.0】	口縁部はくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、 肩部は、 【外】19、19、19 【内】19、19、19	【外】10YR7/4-7(黄褐色) 【内】10YR7/4-7(黄褐色) 青:0.1~0.5mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/4	
84	115	2	380	14・27- 型穴22 カマド周辺	土師器 羹 (口縁)	12A (22.8) 【4.7】	肩が張り出す肩部は屈曲・外反する。 【外】19 【内】19	【外】5YR6/4-7(黄褐色) 【内】10YR5/3(黄褐色) 靑:0.5~2mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8 以下	
84	115	2	381	14・27- 型穴22 埴土	土師器 甕 (把手)	把手 3.4 5.4 【3.3】	把手は短く角状を呈し、断面は円形。ソケット部が 残存しており、体部への接合は挿入部。 【外】粗面陶 【内】—	【外】10YR5/4(黄褐色) 【内】10YR5/4(黄褐色) 靑:2mm以下の石英・長石・金雲母 不具	把手 のみ	
84	115	2	382	14・27- 型穴22 カマド周辺	土師器 甕 (口縁・把 手・底面)	A 1 c2 (29.0) — (29.5)	体部から口縁にかけて緩やかに開く。肩部は、 【外】19、19、19 【内】19、19、19	【外】7.5YR6/6 【内】10YR7/6(黄褐色) 靑:0.5~2mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/8	*部分的に 残存して いるため 還元合成 して実 測。
84	2	7	383	14・27- 型穴22 埴土	弥生土師 高杯 (脚部)	— (2.7)	脚部部の破片。 新製2。 【外】19 【内】19	【外】10YR5/8(黄褐色) 【内】10YR5/8(黄褐色) 青:0.1~2mmの石英・長石・角閃石 不具	口 1/8	近 赤川流 城部土器
120	2	9	384	14・型穴20 カマド	土師器 羹 (口縁)	A2 Y b (14.8) 【15.0】	口縁部は屈曲・外反し、肩部は、 【外】口縁部19、体部上19 【内】口縁部19	【外】5YR6/6 【内】10YR5/8(黄褐色) 靑:0.1~1mmの石英・長石・金雲母 不具	口 2/3	
120	2	11	385	14・型穴19 埴土	灰土器 杯蓋 (杯蓋)	a 9 (12.4) 【4.1】	口縁部と天井部の境は明確な強い段があり、内 端部は幅広い傾斜面を有す。 【外】回転付、回転付(両方19) 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 靑:2mm以下の緑鉄 不具	口 1/8	
104	2	11	386	14・型穴19 埴土	製土土器 (口縁)	(7.0) 【6.0】	口縁部は直立し肩部付でやや内湾する。肩部は 先細りしている。 【外】19、19 【内】19	【外】5YR6/6(明赤褐色) 【内】10YR4/1(黄褐色) 青:1~1mmの石英・長石・金雲母 不具	口 1/4	備置V式
2	13	387	27-型穴3 埴土	灰土器 杯蓋 (口縁)	c 9 (13.0) 【2.5】	口縁部と天井部の境は明確な強い段があり、内 端部は幅広い傾斜面を有す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 靑:1mm以下の緑鉄 不具	口 1/8		
2	13	388	27-型穴3 埴土	灰土器 杯蓋 (口縁)	— (2.2)	立ち上がりは短く内湾し、受盤部に段をなし、肩部 は丸くおさめる。受盤に重なる段の境はきみあり。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5Y6/6 【内】5Y6/6 靑:1mm以下の緑鉄・黒色鉄 不具	口 1/8 以下		

表 21 土器観察表 (21)

単位:cm (推定値) [残存値] [還元値]

図 像 番 号	所 属 番 号	通 号 番 号	遺 構 層 位	種別 器種 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 構成	残 存 率	備 考
120	2	13	389	27-型穴3 カマド	土師器 甕	B b	(14.0) — [9.4]	胎質品。口縁部は緩やかに屈曲・外傾し、肩部は、 [外]122°、頂部平坦、鋭角。 [内]122°、板状	[外]5YR6/6-6 [内]2.5YR5/6明赤褐 質1.2mm以下の石英・長石 質	口 1/1
113	2	17	390	14-型穴1 SK7	灰土器 杯蓋	① a ア	(13.1) — 4.9	口縁部と天井部の境は突縁状の強い稜が走り、肩部 はほぼ垂直する面を有す。 [外]102°、102°(90°以下) [内]102°	[外]5B6/1青灰 [内]3Y7/1灰白 質1.2mm以下の緑泥 質	口 1/1
113	2	17	391	14-型穴4 埴土	灰土器 杯蓋	① b イ	(13.90) — [4.4]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は凹面 を有す。 [外]102°、102°(90°以下) [内]102°	[外]5Y4/4 [内]2Y5/4 質1.1mm以下の緑泥 質	口 1/3
113	2	17	392	14-型穴4 埴土	灰土器 杯蓋	b イ	— — [4.2]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内肩部は斜面 を有す。 [外]102°、102°(90°以下) [内]102°	[外]12.5Y7/1灰白 [内]5Y6/3 質1.1mm以下の緑泥 質	口 1/3 以下
113	2	17	393	14-型穴4 埴土	灰土器 杯蓋	① a イ	(12.2) — [4.6]	立ち上がりはほぼ直上し、内肩部は斜面を有す。突 縁に折差ぬれ稜あり。 [外]102°、102°(90°以下) [内]102°、頂部へ切り上調整	[外]5Y6/3 [内]3Y7/1灰白 質1.5mm以下の緑泥・黒色粒 不質	受 1/2
113	2	17	394	14-型穴4 床面直上	灰土器 杯蓋	① a イ	(10.7) — [5.5]	立ち上がりは内傾し、内肩部は斜面を有す。底部は 丸底。 [外]102°、102°(90°以下) [内]102°	[外]5Y6/1丸底 [内]5Y7/2明赤灰 質2.5mm以下の緑泥 不質	受 3/8
113	2	17	395	14-型穴4 埴土	灰土器 杯蓋	① a イ	(10.40) — [4.0]	立ち上がりは内傾し、突縁部に溝をなし、内肩部は 直を有す。 [外]102° [内]102°	[外]5Y6/3 [内]5Y6/3 質1.5mm以下の緑泥 質	受 3/8
114	2	17	396	14-型穴4 床面直上	灰土器 甕 (口縁)	— (口縁)	(21.8) — [9.8]	口縁部は外反し、肩部は上下に肥厚し面を持つ。頸 部に斜文を施す。 [外]102°、平行斜文、102°斜文 [内]102°、当て丸底	[外]12.5Y7/1灰白 [内]12.5Y7/1灰白 質0.5~1.5mmの緑泥・黒色粒 不質	口 1/3
113	2	17	397	14-型穴4 埴土	灰土器 甕 (口縁)	— (口縁)	(12.1) — [1.9]	頸部傾斜突縁点外面に突縁が走り、肩部は内傾する 面を持つ。口縁部外面に、輪縁状文(10条1条 本)を施す。 [外]102° [内]102°	[外]5Y6/1灰 [内]5Y4/1灰 質1.0.1~0.5mmの緑泥 質	口 1/8
113	2	17	398	14-型穴4 埴土	灰土器 甕 (口縁)	— (口縁)	(9.5) — [2.9]	頸部傾斜突縁点外面に突縁状の強い稜が走り、肩部 は面を持つ。 [外]102°、突縁1条 [内]102°	[外]5Y6/1灰 [内]5Y6/1灰 質1.0.1~0.5mmの緑泥 質	口 1/3 以下
113	2	17	399	14-型穴4 埴土	灰土器 無蓋高杯 (口縁)	A	(14.6) — [3.9]	口縁部と体部の境に2条の突縁が走り、その下に 輪縁状文(6条1条本)が施される。 [外]102° [内]102°	[外]5Y4/1灰 [内]5Y5/1灰 質1.0.1~0.2mmの緑泥 質	口 1/3 以下
113	2	17	400	14-型穴4 埴土	灰土器 甕台 (脚部)	— (脚部)	— — —	所蔵には切られた文様部の中に輪縁状文(5条) を施す。35°以下あり。 [外]102°、自然輪付着 [内]102°	[外]5Y4/1灰 [内]5Y4/1灰 質1.0.5~1mmの緑泥 質	緑片
114	2	17	401	14-型穴4 埴土	土師器 杯	B d	(12.5) — [4.5]	口縁部は内傾し、肩部は内傾する面を持つ。 [外]12° [内]122°	[外]5Y6/6-6 [内]12.5Y7/6-6 質1.0.1~0.5mmの長石・珩片 不質	口 1/4
2	17	402	14-型穴4 埴土	土師器 杯 (口縁)	B d	— (口縁)	— — [3.0]	口縁部は内傾する。 [外]12° [内]鋭角稜	[外]5YR4/2灰褐 [内]12.5YR4/2灰褐 質1.0.5~1.5mmの石英・長石・珩片 不質	口 1/3 以下
114	2	17	403	14-型穴4 埴土	土師器 高杯 (脚部)	B1	(9.1) — [7.1]	脚柱部は比較的大く、脚部は緩やかに開く。頸部内 面に布目状が施す。 [外]12°、12°、化粧土、点刺状、布目底	[外]5YR6/6-6 [内]5YR6/6-6 質1.1~2mmの石英・長石・珩片 不質	底 1/4
114	2	17	404	14-型穴4 カマド	土師器 小型丸底甕	— (口・底)	(9.7) — 11.3	脚柱上部へまで緑線。頸部は直上し、口縁部は屈 曲して外傾する。体部は輪縁状を施す。 [外]122°、122° [内]122°、板状	[外]12.5YR6/9 [内]12.5YR6/9 質1.1~2mmの長石・珩片 不質	口 1/4 以下
114	2	17	405	14-型穴4 カマド	土師器 甕 (口・底)	A 脚 b	(22.2) — [11.9]	口縁部は直上する。肩部も。底部は2孔タイプ。[外] [外]12°、一部割れ [内]12°	[外]5YR6/6-6 [内]5YR6/6-6 質1.0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 不質	口 1/7
114	2	17	406	14-型穴4 カマド	土師器 甕 (口縁)	IV c2	— (口縁)	口縁部は緩やかに開く。肩部は2。 [外]12° [内]122°	[外]10YR5/2灰黄 [内]10YR5/2灰黄 質1.0.5~1.5mmの石英・長石 不質	口 1/3 以下
114	2	17	407	14-型穴4 カマド	土師器 甕 (口縁)	IV b	— (口縁)	口縁部は直上する。肩部も。 [外]122°、12° [内]122°	[外]10YR6/4-7灰黄 [内]10YR7/4-7灰黄 質1.0.5~3mmの石英・長石 不質	口 1/3 以下
114	2	17	408	14-型穴4 カマド周辺	土師器 甕 (口縁)	b	— (口縁)	口縁部は屈曲・外反し、肩部は。 [外]12° [内]12°	[外]12.5YR5/6明赤褐 [内]12.5YR5/2暗赤 質1.0.1~1.5mmの石英・長石・珩片 不質	口 1/3 以下

表 22 土器観察表 (22)

単位:cm (推定値)【残存値】【埋入値】

図 表 番 号	所 属 遺 跡	通 号 番 号	遺 構 層 位	種 別 層 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 組成	残 存 率	備 考	
114	2	17	409	14-型穴4 床面直上	土師器 甕	A3 IV	18.4 8.0 28.7	口縁部は緩やかに屈曲・外反し、肩部は倒 卵形を呈し、底部は全や平坦。 【外】1477、1478 【内】1477、1478	【外】107/7:477(灰褐色) 【内】107/7:477(灰褐色) 軽0.5~1mmの石英・長石・珪石 粒	口 1/1	
114	2	17	410	14-型穴4 SK7	製造土器 (口縁)	—	— 【外】1477、1478 【内】1477	【外】7.5/35/6明褐色 【内】17.5/36/6暗 青(0.5~1mmの珪石・ 石英)	口 1/8 以下	傾倒方式	
116	2	19	411	14-型穴28 床面直上	土師器 杯	B =	(9.6) (5.0) 6.5	体面は均整を有す。口縁部は緩く内湾し、肩部は丸 く収める。外面の化粧土化著の範囲にムラあり。 【外】1477、化粧土 【内】1477、化粧土	【外】5/36/6暗 褐色 【内】5/36/6暗 褐色・金雲母 粒	底 1/2	
116	2	19	412	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(13.0) — 【外】1477 【内】1477	口縁部と天井部の境は突縁状の強い稜が走り、内 面は凹斜面を有す。天井部はやや丸みを帯びる。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】5/35/5(黄褐色) 【内】17/7/36白 軽い0.5mm以下の繊維 粒	口 1/8 以下	
116	2	19	413	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(12.0) — 【外】1477 【内】1477	口縁部と天井部の境は突縁状の強い稜をもち、肩 部はほぼ平坦な面を有す。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】5/36/1灰 【内】17/7/36白 軽い2.5mm以下の繊維・黒色粒 粒	口 1/8 以下	
116	2	19	414	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(11.8) — 【外】1477 【内】1477	口縁部と天井部の境は突縁状の強い稜が走り、内 面は凹斜面を有す。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】2.5/36/1黄褐色 【内】17/7/36白 軽い2mm以下の繊維・黒色粒 粒	口 1/8 以下	
116	2	19	415	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(10.8) — 【外】1477 【内】1477	立ち上がりはほぼ直立し、内面は凹斜面を有す。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】2.5/37/1灰白 【内】17.5/36/1灰 軽い1mm以下の繊維 粒	口 3/8	
116	2	19	416	14-型穴25 床面直上	煎茶器 有蓋高杯	B	(10.8) 8.6 9.5	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内面は凹斜面を 持つ。頸部はハの字状に開き、肩部は下方に屈曲 し肩部を持つ。 【外】1477、凹縁・5割り(灰)、凹縁・3割り、3方向に著 な二角形1477 【内】1477	【外】17/7/36白 【内】17/7/36白 軽い0.5~1mmの繊維 粒	口 1/6 底 1/1	
116	2	19	417	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(13.5) — 【外】1477 【内】1477	立ち上がりは緩く内湾し、肩部は先鋭している。 【外】1477 【内】1477	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い3mm以下の繊維 粒	受 1/8 以下	
116	2	19	418	14-型穴25 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	— 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	立ち上がりは内湾し、肩部は先鋭している。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い3mm以下の繊維・黒色粒 粒	口 1/8 以下	
116	2	19	419	14-型穴25 埋土	煎茶器 把手付碗 (底部)	a =	(4.0) 【外】1477 【内】1477	外面に把手貼付痕あり。 【外】1477、底部持ち手・5割り 【内】1477	【外】5/36/1 【内】17.5/36/1灰 軽い0.1~1mmの繊維・黒色粒 粒	底 1/2	
116	2	19	420	14-型穴25 埋土	煎茶器 甕	A3 IV	(18.8) — 【外】1477 【内】1477	口縁部は外反し、肩部は肥厚し面を持つ。 【外】1477 【内】1477	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い0.5~1mmの繊維 粒	口 1/4	
116	2	19	421	14-型穴25 埋土	煎茶器 甕台 (脚部)	—	— 【外】1477 【内】1477	頸部途中の体~底部にかけてか。要部2条によつて 彫された横線状文(1条)・縦線状文(2条)からなる文様 を配する。文様部上段に横線3方向の跡、下段に三 角形1477を穿孔する。 【外】1477 【内】1477	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い0.5~1mmの繊維 粒	口 1/4	破片
116	2	19	422	14-型穴25 埋土	土師器 甕	A3 <2	(20.1) — 【外】1477 【内】1477	口縁部は両面・外反し、肩部は2。 【外】1477 【内】1477	【外】107/7:477(灰褐色) 【内】107/7:477(灰褐色) 軽0.5~2mmの石英・長石・珪石 粒	口 1/6	
116	2	29	423	14-型穴40 床面直上	煎茶器 杯蓋	a =	(16.4) 5.6	立ち上がりは内湾し、内面は凹斜面を有す。底部 は緩く丸底。受け部に重ね焼き痕あり。自然熱付 着。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477、静止付	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い2mm以下の繊維・石英 粒	口 3/8 受 1/1	
116	2	29	424	14-型穴40 床面直上	煎茶器 杯蓋	a =	(10.9) 4.9	立ち上がりは内湾し、内面は凹斜面を有す。底部 は丸底。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477、静止付	【外】5/36/1 【内】17/7/36白 軽い2mm以下の繊維 粒	受 3/8	
120	2	22	425	14-型穴28 床面直上	土師器 甕	A3 IV b	(18.8) — 【外】1477 【内】1477	口縁部は両面・外反し、肩部は2。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】17.5/36/6暗 青(0.5~1mmの珪石・ 石英)	口 1/3	
117	2	24	426	27-型穴1 埋土	煎茶器 杯蓋	a =	(12.9) — 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	口縁部と天井部の境は均整な強い稜が走り、内 面は凹斜面を有す。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】2.5/36/1黄褐色 【内】17/7/36白 軽い2mm以下の繊維 粒	口 3/8	
117	2	24	427	27-型穴1 床面直上	煎茶器 杯蓋	a =	11.3 3.3 4.7	立ち上がりは、やや内湾し、内面は凹斜面を有 す。底部は丸底。自然付着。 【外】1477、凹縁・5割り(灰) 【内】1477	【外】17/7/36白 【内】17.5/36/1灰 軽い2mm以下の繊維・黒色粒 粒	完存	

表 23 土器観察表 (23)

単位:cm (推定値)【残存額】【還元額】

図 表 番 号	所 出 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備 考
117	2	24	428	27-型穴1 埴土	A	(11.6) (7.4) 8.7	立ち上がりは直立し、底部は丸く収める。胴部は、 截頭円錐形で、胴部には有稜角面を有す。 【外】回転付、回転3割り (-)。回転3割り、推定3方 向の有稜角面 【内】回転付	【外】7.5/7.1/10.0 【内】7.5/7.1/10.0 黄・2mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/2 底 4/1	
117	2	24	429	27-型穴1 床面直上	B	10.8 8.0 7.5	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、底部は丸く収める。 胴部は截頭円錐形の短脚で、3方向の内影3割 りを穿孔する。受部に重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付、炭化物付着。	【外】5/6/7 【内】7/7/10.0 黄・1~3mm程度の緑粒・黒色粒 不具	口 1/2 底 1/1	
117	2	24	430	27-型穴1 床面直上	土師器 ⅢA	21.5 — 14.5	丸底で肩の張らない短胴形を有する。口縁部は緩 やかに内傾・外反する。底部は先細りしている。 底面に炭化付着。 【外】口縁部1割り、体部1割り 【内】口縁部1割り、体部1割り	【外】7.5/10.5/4.7(丸) 【内】10/10.5/4.7(丸) 黄・5mm以下の石質・長石・赤色粒 不具	完存	
117	2	26	431	14-型穴5 床面直上	ⅢB イ	(12.0) — 4.5	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内底部は段を 有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/5/7 【内】5/5/7 黄・5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/3	
117	2	26	432	14-型穴5 SP4	ⅢB イ	13.9 — 4.3	口縁部と天井部の境は凹溝が通り、内底部は斜面を 有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/6/7 【内】7/7/10.0 黄・5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 7/8	
117	2	26	433	14-型穴5 埴土	B =	(13.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は弱い稜が通り、内底部は段を 有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】10/10.5/7(丸) 【内】10/10.5/7(丸) 黄・1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/8	
117	2	26	434	14-型穴5 埴土	ⅢB エ	(10.8) — [3.2]	立ち上がりはやや内傾し、内底部は斜面を有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/4/7 【内】5/5/7 黄・2mm以下の緑粒 不具	受 1/5	
117	2	26	435	14-型穴5 床面直上	ⅢB =	(11.8) — [4.3]	立ち上がりは内傾し、内底部は幅広い凹溝を有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/4/7 【内】5/4/7 黄・1.5mm以下の緑粒 不具	口 1/3	
117	2	26	436	14-型穴5 床面直上	A3 b	(22.8) — [6.4]	口縁部は屈曲・内傾し、底部は、 【外】2割り 【内】1割り	【外】10/10.5/7(丸) 【内】10/10.5/7(丸) 黄・1~3mmの石質・長石・珪石 不具	口 1/8	
2	26	437	14-型穴5 SP5	土師器 ⅢB (口縁)	A1 b	(12.0) — [6.8]	口縁部は緩やかに屈曲・外傾し、底部は、 【外】縦断面、炭化 【内】縦断面	【外】10/10.5/7(丸) 【内】10/10.5/7(丸) 黄・1~3mmの石質・長石・珪石 不具	口 1/4	
128	2	29	438	14-型穴16 床面直上	ⅢB オ	(14.8) — [3.6]	口縁部と天井部の境は丸くならず、底部は丸く おさめる。 【外】回転付、炭化 【内】回転付	【外】2.5/7/10.0 【内】2.5/7/10.0 黄・1.5mm以下の黒色粒 不具	口 1/8	
128	2	29	439	14-型穴16 埴土	ⅢB オ	(13.2) — [4.4]	立ち上がりは内傾し、底部は丸くおさめる。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/5/7 【内】5/5/7 黄・2mmの緑粒 不具	受 1/8	
2	29	440	14-型穴16 埴土	ⅢB オ (口縁)	— — [2.7]	立ち上がりは短く内傾し、底部は丸くおさめる。受 部に重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転付 【内】回転付	【外】2.5/10/10.0 【内】7/7/10.0 黄・1mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/8 以下		
129	2	29	441	14-型穴16 カマド	土師器 ⅢB (底面)	(5.6) — [10.2]	体部は直形。 【外】縦断面、炭化 【内】→	【外】5/10.5/10.0 【内】5/10.5/10.0 黄・1~3mmの石質・長石・珪石 不具	底 2/3	
129	2	30	442	14-型穴15 埴土	ⅢB ス	(15.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は丸くならず、内底部は凹 溝が落ちる。天井部は比較的高い。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/7/10.0 【内】7/7/10.0 黄・1mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/8	
128	2	30	443	14-型穴15 カマド	ⅢB オ	(15.0) — [4.6]	口縁部と天井部の境は丸くならず、底部は丸く おさめる。天井部は高い。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】2.5/8/10.0 【内】2.5/7/10.0 黄・1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/8 以下	
129	2	30	444	14-型穴15 床面直上	ⅢB イ	(14.5) — [4.9]	口縁部と天井部の境は鋭く屈曲し、わずかに凹溝が 見られる。内底部は斜面を有す。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/6/7 【内】5/6/7 黄・1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	口 1/4	
117	2	32	445	14-型穴21 カマド	ⅢB オ	(13.8) (5.8) [4.7]	立ち上がりはやや内傾し、底部は丸くおさめる。内 面に当て具痕あり。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付、当て具痕	【外】5/6/7 【内】2.5/10.5/10.0 黄・1.5mm以下の緑粒 不具	受 1/5	
117	2	34	446	14-型穴2 埴土	ⅢB オ	(14.0) — 4.5	立ち上がりは内傾し、内底部は丸くおさめる。底 面は丸くおさめる。 【外】回転付、回転3割り (-) 【内】回転付	【外】5/7/10.0 【内】5/6/7 黄・1.5mm以下の緑粒・黒色粒 不具	受 1/4	
2	34	447	14-型穴2 SP2	土師器 ⅢB (口縁)	Ⅳ F	— — [6.1]	口縁部は断面付近で外折し、底部は、 【外】1割り、炭化、付 【内】1割り、炭化、付	【外】7.5/10.5/4.7(丸) 【内】10/10.5/10.0 黄・0.5~2mmの石質・長石 不具	口 1/8 以下	

表 24 土器観察表 (24)

単位:cm (推定値) [残存値] [復元値]

調査 番号	発 見 番号	遺 物 番号	遺 物 部位	観察 部位 (部位)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手造の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 構成	残 存 率	備考
118	2	39	448	14-型穴30 甕上	須恵器 杯蓋 (口縁)	h ウ	— [3.1]	口縁部と天井部の境は弱い線が通る。口縁部は内 湾気味に下り、内面は幅広い凹面を有す。 [外]凹削け? [内]凹削け?	口 1/8 以下	
118	2	39	449	14-型穴30 甕上	須恵器 杯蓋	④ h ウ	(13.0) — [2.8]	口縁部と天井部の境は弱い線が通る。口縁部は内 湾を有す。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	口 1/7	
128	2	39	450	14-型穴30 SK3	須恵器 杯蓋	④ h ウ	12.7 — [3.5]	口縁部と天井部の境は弱い線が通る。口縁部は外 湾気味に下り、内面は凹面を有す。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	口 1/6	
118	2	39	451	14-型穴30 SK3	須恵器 杯蓋	④ h ウ	14.3 — 6.7	口縁部と天井部の境は弱い線が通る。口縁部は内 湾気味に下り、内面は凹面を有す。天井部は深い。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?、落て片破	口 5/8	
118	2	39	452	14-型穴30 SK3	須恵器 杯蓋	—	(12.3) — [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、断面は丸くおさめる。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	受 1/5	
118	2	39	453	14-型穴30 カマド	須恵器 杯蓋	④ c Ⅲ	(11.9) (6.8) 4.4	立ち上がりはやや短く内傾し、内面は凹面が通る。 底面は平直。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	受 1/2 口 1/3	
118	2	39	454	14-型穴30 SK3	須恵器 杯蓋	④ h イ	12.7 8.9 5.1	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を有す。杯部は 記号「半凸」。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?、静止?	完存	
118	2	39	455	14-型穴30 甕上	須恵器 器台 (脚部)	—	— [3.5]	凹面によって集まった輪郭状の支からなる支條帯 を配する。3x3孔あり。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	破片	
118	2	39	456	14-型穴30 甕上	土師器 甕 (口縁)	Ⅲ A1	(20.4) — [5.6]	肩が膨らみ口内面は緩やかに湾曲・外反する。口 縁は丸く収める。 [外]凹削け? [内]縦筋	口 1/5	
118	2	39	457	14-型穴30 床面直上	土師器 甕	Ⅲ A2	25.7 — 10.1	体部は浅く傾斜を示す。口縁部湾曲・水平直 くまでのびる。底面は平直。 [外]凹削け?、板? [内]凹削け?、板?	ほぼ 完存	
118	2	39	458	14-型穴30 SK32	土師器 甕	Ⅲ V h	(17.6) — [8.39]	口縁部は湾曲・外反する。口縁部は [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]縦筋	口 1/7	
118	2	39	459	14-型穴30 SK32	土師器 (底面)	—	丸底。 [外]縦筋 [内]板?	[外]2.5x10x8mm [内]2.5x10x8mm 板:0.5~1mmの石英・長石	底 7/8	
118	2	39	460	14-型穴30 床面直上	土師器 甕 (底面)	—	(8.1) (3.0) 6.8	黒炭丸 (3+αの切り抜き) 片 [外]凹削け? [内]板?	破片	
118	2	39	461	14-型穴30 SF95	土師器 甕 (底面)	—	(4.9) (4.2) 1.0	黒炭丸 (3+αの切り抜き) 片 [外]凹削け? [内]板?	破片	
120	2	42	462	14-型穴23 カマド	土師器 甕 (口縁)	B b	(25.0) — [7.2]	口縁部は凹面・内湾し、断面は [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]縦筋	口 1/6	
2	42	463	14-型穴23 床面直上	土師器 杯	B c	12.7 — [5.0]	体部は傾斜を示す。口縁部は凹面気味に深く内湾 し、断面は内湾する面をもつ。外面の化粧土沈着の 範囲にムラあり。 [外]凹削け?、凹削け削り (-)、一部化粧土 [内]縦筋	口 1/4		
2	42	464	14-型穴23 甕上	割版土器 (杯蓋)	—	— [3.5]	割版土器。 [外]縦筋 [内]縦筋	破片	割版V式 か	
119	2	46	465	27-型穴2 甕上	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(14.0) — [4.1]	口縁部と天井部の境は丸くおさめる。口縁部は丸 くおさめる。自然釉付着。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?	口 1/2	
119	2	46	466	27-型穴2 甕上	須恵器 杯蓋	⑤ e オ	12.6 7.7 4.4	立ち上がりは内傾し、断面は丸くおさめる。底面は 浅く平直。受部境に溝あり。受部に意匠的な文様 あり。 [外]凹削け?、凹削け削り (-) [内]凹削け?、静止?	口 3/8	
119	2	46	467	27-型穴2 甕上	須恵器 杯蓋	⑤ e オ	10.9 5.1 4.3	立ち上がりはやや短く内傾し、断面は丸くおさめる。 立ち上がりは受部と意匠的な文様は、なだらかなで、全体 に施す。 [外]凹削け?、凹削け削り (-)、一部凹削け未施 [内]凹削け?	口 3/4	14-型穴 15・27-型 穴?と接合

表 25 土器観察表 (25)

単位:cm (推定値) [残存値] 【復元値】

調査 番号	中 心 部 位 番号	土 器 番号	遺 構 番号	観察 部位 (部位)	分 類	口 縁 形状 番号	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備考
119	2	466	27-型穴2 カマド	築造部 基盤 (体部)		6.2 4.1 [7.7]	体部は最終部を呈し、基部は比較的細い。体部上位に比喩が1条あり、径1.6cmの円孔を外→内に穿つ。内外に隣接。 【外】回転付、回転→割り(上・右)、円孔1ヶ 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 青・2mm以下の繊維・黒色粒 良	体 1/1	
119	2	469	27-型穴2 カマド	土器部 高杯	C	14.6 — [11.4]	粗製品。杯部は直線的に大きく開き、肩部は丸く収める。頸部は丸く、基部にかけて大きく開く。 【外】縦線 【内】丸、付	【外】10/97/6明黄褐 【内】10/97/6明黄褐 黒・2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 7/8	
119	2	470	27-型穴2 カマド	土器部 壺	B	15.8 — [10.5]	口縁部は両面・外傾し、肩部は、歪み著しく器壁の厚みに違いがあり、粗雑な作りである。 【外】回転付、マフ、外面→口縁内面にかけて被焼 【内】回転付、マフ	【外】5/306/6暗 【内】5/306/6暗 黒・5mm以下の石英・長石 良	口 1/1	
128	2	471	14-型穴18 甕上	築造部 杯蓋	⑤ d オ	(12.5) — [3.8]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、肩部は丸くおさめる。 【外】回転付、回転→割り(右)、基部→切り未調整 【内】回転付	【外】5/57/2灰白 【内】5/57/1灰白 黒・5mm以下の繊維 不良	口 1/8	
128	2	472	14-型穴18 甕上	築造部 杯蓋	⑤ d ウ	(13.8) — [4.4]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、内肩部は幅広い傾斜面を有す。 【外】回転付、回転→割り(右)、基部→切り未調整 【内】回転付	【外】2.5/57/1灰 【内】5/57/1灰白 青・4mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/8	
2	48	473	14-型穴18 甕上	築造部 高台 (脚部)		— — [4.3]	口縁あり。 【外】回転付、自然軸付着 【内】回転付	【外】2.5/57/2暗灰 【内】5/57/1 焼良・0.1~1mmの繊維 良好	破片	
2	48	474	14-型穴18 甕上	築造部 壺 (口縁)		(15.6) — [2.2]	頸部傾斜変換点外面に鋭い段があり、肩部は丸くおさめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】5/67/灰 【内】5/57/1灰 焼良・0.5~2.5mmの繊維・黒色粒 良	口 1/8 以下	
119	2	475	14-型穴18 SP2	築造部 底口蓋 (口縁)		(15.7) — [8.1]	口縁部は外反し、肩部は上方に横み上げ肥厚する。 【外】回転付、平文・材料後刻目 【内】付、当て具良	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 青・0.2~1mmの繊維 良	口 2/3	
2	48	476	14-型穴18 甕上	土器部 壺	B c	(14.8) — [4.4]	体部は胸形を呈す。口縁部は内湾気味につきまぶ、基部内面がややくぼむ。厚手の作りである。 【外】付、→割り 【内】板付、放射状の13°	【外】7.5/306/6暗 【内】7.5/306/6暗 焼良・0.5~1.5mmの石英・長石・付 良	口 1/8	
2	48	477	14-型穴18 カマド	土器部 壺 (口縁)	A' b' b'	(10.3) — [7.0]	口縁部は両面・外反し、肩部は、 【外】付、指頭正傾 【内】付、指頭正傾	【外】7.5/306/3ア/6 【内】7.5/306/3ア/6 青・0.5~1mmの石英・長石 良	口 1/8	
128	2	478	14-型穴12 甕上	築造部 杯蓋	⑤ d オ	(14.6) — [4.5]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、肩部は丸くおさめる。 【外】回転付、回転→割り(右) 【内】回転付、基部に当て具良	【外】5/306/1青灰 【内】5/307/1明青灰 青・1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/8 以下	
2	51	479	14-型穴12 5K363	築造部 杯蓋		(13.2) — [3.1]	立ち上がりは短く内傾し、肩部は先細りしている。 【外】回転付、回転→割り(上) 【内】回転付	【外】10/97/2ア/6黄緑 【内】10/97/2ア/6黄緑 青・1.5mm以下の繊維 不良	口 1/6	
121	2	480	14-型穴12 床面直上	土器部 手取上蓋		13.1 9.7 8.1	粗製品。体部はボウル状を呈し、平底。赤あり。 【外】指頭正傾 【内】指頭正傾	【外】5/307/6暗 【内】5/307/6暗 黒・0.5~2mmの石英・長石・付 良	完存	
121	2	481	14-型穴12 甕上	土器部 壺	E b	(12.6) — [13.5]	口縁部は直立し、肩部丸く収める。体部は球形。 【外】厚線、付 【内】縦線	【外】7.5/305/4ア/6 【内】10/96/4ア/6黄緑 黒・0.5~1.5mmの石英・長石・付 良	口 1/6	
2	51	482	14-型穴12 甕上	土器部 底口蓋 (口縁)		(10.6) — [6.0]	口縁部は両面・外反し、肩部は丸く収める。頸部内に接合明瞭。 【外】付 【内】付、指頭正傾	【外】10/96/4ア/6黄緑 【内】10/97/4ア/6黄緑 青・0.5~2mmの石英・長石・0.1~0.2mmの金雲母 良	口 1/8	
121	2	483	14-型穴12 甕上	土器部 壺 (底蓋)		— — 6.8	底蓋丸(3+αの切り抜き) 【外】付 【内】付	【外】7.5/307/6暗 【内】7.5/307/6暗 青・0.5~2mmの石英・長石 良	破片	
121	2	484	14-型穴12 甕上	土器部 壺 (口縁)	a	(25.7) — [8.3]	口縁部は直口し、肩部は、 【外】縦線 【内】縦線	【外】7.5/305/9明黄 【内】5/305/9明黄 黒・1~1mmの石英・長石・付 良	口 1/7	
2	52	485	27-型穴140 貼込内	土器部 壺	f	— — [8.3]	口縁部は短く折り返し、体部は肩が狭い。 【外】板付 【内】板付	【外】10/97/4ア/6黄緑 【内】7.5/307/6暗 黒・2mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	口 1/8 以下	
2	52	486	27-型穴140 貼込内	築造部 土器		(16.6) — [8.3]	口縁部は短く折り返し、体部はボウル状を呈する。 【外】縦線 【内】縦線	【外】7.5/305/4ア/6 【内】5/305/9明黄 黒・1mm以下の石英・長石・雲母・赤色粒 良好	口 1/8 以下	備録Y1式
2	54	487	27-型穴130 貼込	築造部 杯蓋	d イ	(12.2) — [4.5]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、内肩部は幅広い傾斜面を有す。 【外】回転付、回転→割り(上) 【内】回転付	【外】5/67/灰 【内】5/67/灰 焼良・1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/4	

表 26 土器観察表 (26)

単位:cm (推定値) [保存値] [復元値]

調査 年度	調査 番号	遺物 番号	遺物 名称	種類 部位 (底径)	分 類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 生成	残 存 率	備考	
2	54	488	27-型穴130 部方	煎煮器 柄 (底部)	—	— [4.4]	体部は磁石で、底部はやや平頭。体部中心に2本の筋を施す。口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7(赤灰) 青・2mm以下の緑紋 不具	1/8		
2	54	489	27-型穴130 部土	土師器 盆 (底部)	b	— [8.5]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・2mm以下の緑紋 不具	1/8 以下		
119	2	56	490	16-型穴29 カマド	煎煮器 有蓋高杯	C	12.2 10.9 7.3	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~2mmの緑紋 不具	1/8 以下	
119	2	56	491	16-型穴29 カマド	煎煮器 有蓋高杯 (底部)	—	— [0.9]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~0.5mmの緑紋 不具	1/4	
128	2	66	492	16-型穴11 SP418	煎煮器 杯蓋	① a ャ	11.9 — [3.7]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・1mm以下の緑紋 不具	1/4	
128	2	66	493	16-型穴11 SP418	煎煮器 杯蓋	① b イ	13.1 — 4.3	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・1mm以下の緑紋、黒色粒 不具	1/4 以下	
121	2	66	494	16-型穴11 SP418	土師器 高杯 (杯蓋)	B1	(14.8) — [4.7]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~1.5mmの石英・長石・付焼 不具	1/3	
121	2	66	495	16-型穴11 SP418	土師器 高杯 (脚柱)	B2	9.9 — [5.4]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~1.5mmの石英・長石・付焼 不具	1/8 以下	
121	2	66	496	16-型穴11 SP418	土師器 高杯	B2	13.4 8.7 8.3	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 不具	1/8 以下	
121	2	66	497	16-型穴11 SP418	土師器 高杯 (脚柱)	B2	2.5 — [5.1]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~1.5mmの石英・長石・赤色粒 不具	1/3	
121	2	66	498	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [3.4]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~1.5mmの石英・長石・付焼 不具	1/8 以下	
121	2	66	499	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [3.6]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~2mmの石英・長石 不具	1/8 以下	
121	2	66	500	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [1.5]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~3mmの石英 不具	1/8 以下	
121	2	66	501	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [1.6]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~1mmの石英・長石 不具	1/8 以下	
121	2	66	502	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [1.7]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~1mmの石英・付焼 不具	1/8 以下	
121	2	66	503	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [2.2]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~1mmの石英・長石 不具	1/8 以下	
121	2	66	504	16-型穴11 SP418	煎煮土器 (口縁)	—	— [2.8]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.1~0.5mmの石英 不具	1/8 以下	
121	2	66	505	16-型穴11 SP418	土師器 盆	A2	(16.0) — [9.8]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~3mmの石英・長石・付焼 不具	1/4	
121	2	66	506	16-型穴14 SP418	煎煮器 広口蓋 (口縁)	—	— [4.1]	口縁は直し、口縁の縁に1本の筋を施す。 [外]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。 [内]口縁に、口縁の縁に1本の筋を施す。	[外]S6/7 [内]S6/7 青・0.5~1mmの緑紋 不具	1/4	

表 27 土器観察表 (27)

単位: cm (推定値) [保存値] 【復元値】

国 庫 番 号	種 別 番 号	土 器 番 号	遺 構 層 位	種別 器種 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【内】	色調【外】/【内】 土 質 構成	残 存 率	備 考
2	73	507	27-Ⅱ立1 SP121	土師質土器 杯 (口・底 部)		(9.8) [2.8]	口縁部は外傾し、端部は丸くおさめる。図示でな かったが、底面片があり回転・切りによるものと思 われる。 【外】回転?、回転・切り 【内】回転?	【外】2.518/3黄赤 【内】2.518/3黄赤 端径:2mm以下の石英・長石・赤色粒 不目	口 1/8	中注
2	77	508	14-S01	黒色器 杯 (底 部)	杯B	— [2.4]	底部に高台を貼り付け。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N7/灰白 【内】N8/灰白 弁:0.5~2mmの細粒 不目	底 1/8 以下	
133	2	509	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 小皿		6.2 5.6 0.9	口縁部は太く短い。 【外】回転?、底面:回転・切り 【内】回転?	【外】7.518/6浅黄褐 【内】7.518/4浅黄褐 端径:0.1~1mmの石英・長石 不目	口 1/2	
133	2	510	14-S039・ 27-S0139 土層	土師質土器 杯		9.8 6.5 2.4	口縁部は直線的に外傾する。 【外】回転?、回転・切り 【内】回転?、静止?	【外】7.518/4浅黄褐 【内】7.518/4浅黄褐 弁:1~2.5mmの長石・珩礫 不目	口 2/3	
133	2	511	14-S039・ 27-S0139 土層	土師質土器 杯		10.8 6.0 2.5	体部は外傾する。 【外】回転?、回転・切り 【内】回転?	【外】7.518/4浅黄褐 【内】7.518/3浅黄褐 端径:0.5~1mmの石英・長石・珩礫 不目	口 3/8	
2	78	512	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 杯 (口・体 部)		— 6.6 [2.1]	口縁部と体部片。 【外】回転?、回転・切り 【内】回転?	【外】7.518/3浅黄褐 【内】10/88/3浅黄褐 弁:2mm以下の石英・長石・赤色粒 不目	口 1/8 以下	
133	2	513	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 杯		(13.4) 8.8 3.2	体部は直線的に外傾する。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N8/灰白 【内】N8/灰白 端径:0.5~2mmの石英・長石 不目	底 1/4	
133	2	514	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 皿 (口縁)		(14.6) — [2.4]	体部は外傾する。浅い。 【外】回転? 【内】回転?	【外】10/88/2灰白 【内】10/88/2灰白 端径:0.1~0.5mmの石英・長石・珩礫 不目	口 1/6	
133	2	515	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 (底 部)		— 5.8 [1.1]	底面切り離し技法は不明。 【外】回転? 【内】回転?	【外】10/88/3浅黄褐 【内】7.518/4浅黄褐 端径:0.5~1mmの石英・長石・珩礫 不目	底 1/7	
133	2	516	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 足 盤 (口縁)		(7.8) — [5.8]	唇部短く下方に延びる。 【外】前傾?、口・ 【内】?、?	【外】10/87/2灰白 【内】10/88/2灰白 端:0.5~2.5mmの石英・長石・赤色 粒 不目	口 1/8	横断面
2	78	517	14-S039・ 27-S0139	土師質土器 足 盤 (口縁・体 部)	(口・底 部) (底・体 部)	(13.8) (8.4) [5.8]	図示でなかったが、体部片があり格子状を施す。 【外】脚:?? 体部:格子状 【内】脚:?? 体部:?? 弁:2mm以下の石英・長石・赤色粒 不目	【外】脚:7.518/4/A? (脚~2.518/6 体部:10/84/2浅黄褐 【内】脚:7.518/6/6体部:10/85/3 ? 浅黄 弁:2mm以下の石英・長石・赤色粒 不目	口 1/8	横断面
2	78	518	14-S039・ 27-S0139 土層	煎茶器 有蓋点杯 (体部)	A	11.3 — [5.8]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は面を持 つ。 【外】回転?、回転・切り(口) (口) 形状不明 【内】回転?	【外】N8/灰白 【内】N8/灰白 弁:0.5~1.5mmの細粒・黒色粒 不目	受 3/8	
122	2	519	14・27-S070 土層	煎茶器 杯蓋 (口縁)	B イ	— [2.9]	口縁部と天井部の境は境が通り、内端部は凹面を 有す。 【外】回転? 【内】回転?	【外】2.518/1黄灰 【内】N5/灰 端径:1mm以下の細粒・黒色粒 不目	口 1/8 以下	
122	2	520	14・27-S070 土層	煎茶器 杯蓋	D オ	(12.5) — [3.5]	口縁部がわずかに屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転? 【内】回転?	【外】7.518/1灰 【内】7.518/1灰 端径:1mm以下の細粒・黒色粒 不目	口 1/8 以下	
122	2	521	14・27-S070 土層	煎茶器 杯身		(11.2) (6.8) (4.4)	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転?、回転・切り(口) (口) 【内】回転?	【外】S17/1灰白 【内】S17/1灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 不目	受 1/4	
122	2	522	14・27-S070 土層	煎茶器 杯身		(10.8) — [2.7]	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。自然 傾き。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N5/灰 【内】N5/灰 弁:1.5mm以下の細粒 不目	口 1/8 以下	
122	2	523	14・27-S070 土層	煎茶器 杯身 (口縁)		(11.8~ 12.5) — [2.6]	立ち上がりは内傾気味に立ち上がり、端部は先細 りしている。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 端径:1.5mm以下の細粒・黒色粒 不目	受 1/7	
122	2	524	14・27-S070 土層	煎茶器 杯身	⑤ D オ	(13.2) — [3.2]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 受端部は丸く仕上げる。 【外】回転? 【内】回転?	【外】2.518/1灰白 【内】S18/1灰白 弁:0.5mm以下の細粒・黒色粒 不目	口 1/8	
122	2	525	14・27-S070 土層	煎茶器 杯身	⑤ D オ	11.6 — [2.7]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は丸くおさめる。受 端部は丸く仕上げる。 【外】回転? 【内】回転?	【外】2.518/1灰白 【内】2.518/1灰白 弁:2mm以下の細粒 不目	口 1/8	

表 28 土器観察表 (28)

単位:cm (推定値)【残存額】【目元額】

国 際 形 式 番 号	種 類 番 号	通 号 番 号	遺 構 層 位	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土 質 構成	残 存 率	備考
122	2	82	526	14・27-S070 上層	東意器 高杯 (脚部)	— (8.2) 【4.1】	丸脚で竹状を呈し、裾部は内傾する。 【外】回転付? 【内】回転付?	【外】J7, B37/116白 【内】N7/137白 黄・0.1~0.5mmの黒色粒 点	底 1/4	
122	2	82	527	14・27-S070 上層	東意器 高杯 (脚部)	— (10.3) 【5.3】	脚部はへの字状に開き、裾部は有縁幅広面を持つ。 【外】回転付?, 回転軸付, 4方向長方形? 【内】回転付?	【外】S56/136 【内】S56/136 黄・0.5~2mmの緑粒・黒色粒 点	底 1/4	
122	2	82	528	14・27-S070 上層	東意器 広口壺 (口縁)	— (11.2) 【7.5】	口縁部は外傾し、裾部は内傾する面を持つ。 【外】回転付?, 回転軸付 【内】回転付?	【外】S60/136 【内】S60/136 緑黄・0.5~1.5mmの緑粒 点	口 1/4	
122	2	82	529	14・27-S070 上層	東意器 壺 (口縁)	— (10.0) 【6.0】	口縁部は両面・外反し、外側面に折り込んで丸く収める。 【外】回転付? 【内】回転付?	【外】J7, B37/116白 【内】N5/135 緑黄・2mm以下の緑粒・黒 点	口 1/4	
122	2	82	530	14・27-S070 上層	東意器 壺 (口縁)	— (22.0) 【6.4】	口縁部は外反し、裾部は下方に肥厚し、稜付丸面をもつ。 【外】回転付?, 自然軸付着 【内】回転付?, 自然軸付着	【外】N7/137白 【内】N7/137白 緑黄・0.1~2mmの緑粒 点	口 1/6	
122	2	82	531	14・27-S070 上層	東意器 壺 (口縁)	— (23.4) 【6.8】	口縁部は大きく外反し、裾部は上下に肥厚し、裾部は稜付丸面をもつ。 【外】回転付? 【内】回転付?, 当て具痕, 口縁部に自然軸付着	【外】S60/136 【内】S60/136 緑黄・0.1~1mmの緑粒 点	口 1/5	
122	2	82	532	14・27-S070 上層	東意器 — (底面)	— (4.0) 【12.8】	縁形狭長底。内外面に粘土目貼付痕あり。 【外】平打文様, 自然軸付着 【内】当て具痕, 付? 消し	【外】J2, B35/116黄 【内】J2, B36/116黄 黄・2~4mmの緑粒 点	底 1/1	
122	2	82	533	14・27-S070 上層	東意器 器種不明 (底面)	— (21.2) 【5.6】	把手稜付痕あり 【外】回転付? 【内】回転付?, 当て具痕, 付? 消し	【外】N4/134 【内】N7/137白 緑黄・0.1~0.5mmの黒色粒 点	底 1/10	
122	2	82	534	14・27-S070 上層	東意器 右蓋高杯蓋 (つまみ)	3.7 1.2 【2.3】	つまみは扁平で、中央がくぼむ。 【外】回転付?, 回転軸付着 【内】回転付?	【外】S60/136 【内】N7/137白 黄・0.5~1.5mmの緑粒・黒色粒 点	つま み	
122	2	82	535	14・27-S070 上層	東意器 壺 (口縁)	— (1.1)	口縁部のみの緑片。裾部外面に突縁が1条出る。 【外】回転付? 【内】回転付?	【外】S56/136 【内】S56/136 緑黄・0.1~1mmの緑粒・黒色粒 点	口 1/9 以下	
122	2	82	536	14・27-S070 上層	東意器 器種不明 (脚部)	— (6.1)	2条の突縁を造らし、その間に逆三角形の凸と輪縁状文様 (9条1束2条) を造らす。 【外】回転付? 【内】付?	【外】J2, B36/216黄 【内】S57/137白 緑黄・0.1~0.5mmの黒色粒 点	緑片	
123	2	82	537	14・27-S070 上層	土師器 瓶 (口縁)	— h 【6.0】	口縁部は直直し、裾部a。 【外】付?, 付? 【内】付?	【外】J10B2/477黄褐色 【内】J2, B32/60 瓶・0.5~1.5mmの石黄・長石・金雲 母・付粒 点	口 1/8 以下	
123	2	82	538	14・27-S070 上層	土師器 瓶 (口縁)	— B 【5.3】	口縁部は直直し、裾部c。 【外】縦形痕 【内】付?, 瓶付?	【外】J2, B37/116黄 【内】J2, B38/216白 瓶・0.5~1.5mmの石黄・長石・黒色 粒・金雲母 点	口 1/9 以下	
123	2	82	539	14・27-S070 上層	土師器 瓶 (把手)	把 手 イ 3.3 1.9 【7.4】	把手は丸扁で上方への反りが強い牛角状を呈し、側面稍凹。上面に刺突と切り込みを刻む。貫通しない。 【外】付? 【内】瓶部折痕	【外】S57/60 【内】S57/60 黄・0.1~2mmの石黄・長石・付粒 不良	把 手 の み	
123	2	82	540	14・27-S070 上層	土師器 壺 (口縁)	— F 【26.5】 【5.5】	口縁部はへの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、裾部d。 【外】付?, 付? 【内】付?, 付?	【外】J2, B35/477黄褐色 【内】J2, B36/477黄褐色 瓶・1~3mmの石黄・長石・0.1~0.5mmの金雲母 点	口 1/8	
123	2	82	541	14・27-S070 上層	土師器 壺 (口縁)	— c 【6.4】	口縁部はへの字状に屈曲・外傾し、裾部e。 【外】付?, 付? 【内】付?	【外】J10B2/477黄褐色 【内】J2, B36/60 瓶・0.1~3mmの石黄・長石・付粒 点	口 1/8 以下	
104	2	82	542	14・27-S070 上層	製土師 土師 (口縁)	— — 【2.4】	口縁部は直直し、裾部は先細り。 【外】付?, 指頭付着 【内】付?, 指頭付着	【外】J2, B32/60 【内】J2, B36/60 瓶・0.5~1.5mmの石黄・長石・付粒 不良	口 1/8 以下	備議V式
104	2	82	543	14・27-S070 上層	製土師 土師 (口縁)	— — 【3.4】	口縁部は内湾気味に直直し、裾部は丸くおさめる。 【外】付? 【内】付?, 指頭付着	【外】S536/60 【内】J2, B36/60 瓶・0.5~1.5mmの付粒・長石 不良	口 1/8 以下	備議V式
122	2	82	544	14・27-S070 中層	東意器 大型煎茶壺 (口縁)	— (22.0) 【6.2】	口縁部は直線的に外傾し、裾部は内傾する面を持つ。單葉外面に波瀾2条が走る。 【外】回転付?, 洗滌2条 【内】回転付?	【外】S60/136 【内】N7/137白 黄・0.5~1mmの緑粒・黒色粒 点	口 1/9 以下	
122	2	82	545	14・27-S070 中層	土師器 壺 (口縁)	— (18.6) 【4.7】	一口口縁部。口縁部半位が屈曲し、裾部は丸く収める。 【外】付? 【内】付?	【外】J2, B32/60 【内】S57/60 黄・0.5~1.5mmの石黄・長石・付粒 点	口 中盤部 内系	

表 29 土器観察表 (29)

単位:cm (推定値)【残存値】【目元値】

国 際 形 式 番 号	種 別 番 号	通 身 番 号	遺 構 部 位	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】(内)	色調【外】(内) 土質 構成	残 存 率	備 考
123	2	82	546	14・27-S070 中層	土師器 甕 (口縁)	F e2	(17.8) — [6.2]	口縁部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上り、 肩部は、 [外]10/86・4/7(黄褐色) [内]10/86・4/7(黄褐色) 釉:1~4mmの石英・長石・ 鉄 [外]7.5/85・6/明 [内]7.5/85・4/7(黄 青)2mm以下の石英・長石・赤色鉄 良好	口 1/8	
123	2	82	547	14・27-S070 中層	土師器 甕 (口縁)	—	(17.2) — [5.6]	口縁部は直立し、肩部近くで外上方に開く。 [外]12/97・7/9 [内]12/97・7/9	口 1/6	
123	2	82	548	14・27-S070 中層	土師器 杯 (口縁)	B c	— — [2.2]	口縁部は内湾し、肩部は丸く収める。 [外]1/9 [内]1/9・7/18	口 1/8	
128	2	82	549	14・27-S070 下層	東意器 杯蓋 (口縁)	a 7	(11.5) — [3.8]	口縁部と天井部の境は突如強い稜が走り、肩部 にはほぼ平坦な面を有す。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:1.5mm以下の緑鉄・黒色鉄 良好	口 1/7	
122	2	82	550	14・27-S070 下層	東意器 杯蓋 (口縁)	① b 9	— — [3.5]	口縁部と天井部の境は強い稜が走り、肩部は外方に 屈曲し斜面を有す。 [外]10/87・10/87 [内]10/87・10/87 釉:1mm以下の緑鉄 良好	口 1/8 以下	
122	2	82	551	14・27-S070 下層	東意器 有蓋高杯蓋 (天井)	3 6.8 [1.8]	— — [1.8]	つまみは扁平で大きく中央がくぼむ。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:10.1~1mmの緑鉄 良好	つま みへ 天井 部	
122	2	82	552	14・27-S070 下層	東意器 高杯 (脚部)	— 9.4 [6.0]	— — [6.0]	脚部は大きくハの字状に開き、裾部には有蓋高杯蓋 面を持つ。 [外]10/87・3/3向長方形3x3、沈着1条、自然釉付着 [内]10/87・3/3向長方形3x3、沈着1条、自然釉付着	脚 全周	
123	2	83	553	27-S012	土師器 甕 (口縁)	A2 H a	[13.8] — [6.7]	口縁部は緩やかに屈曲・外傾し、肩部は先細りして いる。体部は短筒。 [外]10/87・4/7(黄褐色) [内]10/87・4/7(黄褐色) 釉:2mm以下の石英・長石・鉄 良好	口 3/8	
123	2	83	554	27-S012	土師器 甕 (口縁)	A2 H a	15.1 — 15.2	中型甕。口縁部は高曲・やや外傾し、肩部は丸く収 める。体部は短筒。 [外]10/87・4/7(黄褐色) [内]10/87・4/7(黄褐色) 釉:2mm以下の石英・長石・赤色鉄 良好	完存	
2	84	555	14-SK55	東意器 杯蓋 (口縁)	① a イ	(10.5) — [3.2]	立ち上がりは内傾した後肩部付近で外方に屈曲し、 内湾部は凹面を有す。肩部に重ねつきあり。 自然釉付着。 [外]10/87・10/87 [内]10/87・10/87	口 1/3		
123	2	87	556	14-SK163	土師器 高杯 (杯部)	B2	15.0 — [4.5]	短筒高杯。杯蓋はやや浅く口縁部は外上方に開き、 肩部は外方につまみ出す。接合技法。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:0.5~2mmの石英・長石・鉄 良好	口 1/7	
2	93	557	14-SK399	土師器 甕 (口縁)	IV e1	(24.4) — [5.5]	口縁部は直立し、肩部はe1。 [外]12/97・7/9 [内]12/97・7/9	口 1/8 以下		
116	2	94	558	14-SK469	土師器 甕 (口縁)	ⅢA	(15.2) (8.0) [3.6]	底部は丸みを帯びた平底。口縁部は斜めに開き、 肩部は内傾する面を持つ。 [外]12/97・7/9 [内]12/97・7/9	口 1/8 以下	
2	95	559	27-SK125	土師器 甕 (口縁)	A2 H d1	(15.2) — [3.9]	口縁部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、 肩部はe1。 [外]12/97・7/9 [内]12/97・7/9	口 1/8	布類系	
124	2	101	560	28-型穴1 床面直上	土師器 高杯 (杯部)	B1	14.2 10.2 12.9	横製品。口縁部は内湾気味に立ち上がり、肩部は内 傾する面を持つ。脚部は緩やかに開く。接合技法。 [外]12/97・板付、脚柱部は3方向内湾3x3 [内]12/97・板付、脚柱部は3方向内湾3x3	口 1/2 2/3	
124	2	101	561	28-型穴1 床面直上	土師器 高杯 (杯部)	B1	14.2 — [5.4]	横製品。短筒高杯。口縁部は内湾気味に立ち上り、 肩部は内傾する面をもちつにより浅くくぼ む。 [外]12/97・板付 [内]12/97・板付	杯 1/1	
124	2	101	562	28-型穴1 埋土	土師器 高杯 (脚部)	B1	(10.6) [7.0]	横製品。脚柱部と根部の継ぎ。脚柱部は実用・中 型。脚柱部は3方向内湾3x3を穿孔する。 [外]12/97・板付、脚柱部は3方向内湾3x3 [内]12/97・板付、脚柱部は3方向内湾3x3	脚 3/8	
2	104	563	28-型穴80 西カマド	東意器 杯蓋 (口縁)	b ウ	(11.0) — [4.2]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内湾部は外方 に屈曲し斜面を有す。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:1.5mm以下の緑鉄・黒色鉄 良好	口 1/8		
2	104	564	28-型穴80 埋土	東意器 杯蓋 (口縁)	c ウ	(12.8) — [5.0]	口縁部と天井部の境には強い稜が走り、内湾部は外方 に屈曲し斜面を有す。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:1.5mm以下の緑鉄・黒色鉄 良好	口 1/6		
2	104	565	28-型穴80 埋土	東意器 杯蓋 (口縁)	c エ	(14.4) — [4.6]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内湾部は外方 に屈曲し斜面を有す。自然釉付着。 [外]10/87・10/87(黄褐色) [内]10/87・10/87(黄褐色) 釉:2mm以下の緑鉄・黒色鉄 良好	口 1/8		

表 30 土器観察表 (30)

単位:cm (推定値) [残存額] [還元額]

図表番号	所屬遺跡番号	遺物番号	遺物名	発見層位	種別群属(部位)	分類	口縁底径高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残存率	備考
2	104	566	29-型穴80 埴土	東直器 杯蓋	② e ク	— [4.8]	口縁部と天井部の境は明確が通り、内縁部は斜面を有す。自然軸付着。 [外]回転付、回転<90度 (0) [内]回転付	[外]S7/灰白 [内]S7/灰白 青:1mm以下の緑紋・黒色粒 貝	口 1/8 以下		
2	104	567	29-型穴80 埴土	東直器 杯蓋	— [3.8]	(11.8) [3.8]	立ち上がりは内傾し、縁部は丸くおさめる。受部に杯蓋重ね焼き時の焼きムラあり。焼きふくれあり。自然軸付着。 [外]回転付、回転<90度 (-) [内]回転付	[外]S5/灰 [内]S6/灰 青:1mm以下の緑紋・赤色粒 貝	口 3/8		
2	104	568	29-型穴80 東カマド	土師器 杯 (口縁)	B	— [4.4]	口縁部は斜めに開き、縁部は外縁面をもつ。 [外]縦軸離、化粧土 [内]縦軸離	[外]S5B/6粒 [内]S5B/6粒 青:1mm以下の石英・灰石・赤色粒 貝	口 1/8 以下		
2	104	569	29-型穴80 埴土	土師器 盥 (口縁)	— [5.6]	— [5.6]	口縁部は両曲・外傾し、縁部は。 [外]付、付付 [内]付	[外]10YR6/4灰 [内]10YR5/6黄 青:1mm以下の石英・灰石・赤色粒・黒色粒 貝	口 1/8		
125	104	570	29-型穴80 東カマド	土師器 盥 (口縁)	B	(19.8) [4.2]	二重口縁部。口縁部中位が屈曲し、縁部は丸くおさめる。 [外]付、付付 [内]付	[外]10YR7/4灰 [内]10YR5/3浅黄 青:1mm以下の石英・灰石・赤色粒・黒色粒 貝	口 1/8 以下	中部部内 部	
125	104	571	29-型穴80 東カマド	土師器 高杯 (杯底)	A	— [4.2]	有段高外の杯底面。底面内面には放射状の溝を施す。接合技法あり。 [外]付、付付、濃いス [内]付、放射状の溝	[外]7.5YR6/6粒 [内]5YR5/6明赤 青:1mm以下の石英・灰石・付、金雲母 貝	杯底 1/1		
125	104	572	29-型穴80 床面直上	土師器 盥	A3 IV b	16.6 4.2 26.8	口縁部は両曲・直線的に立ち上がり、縁部は。体部下平がぼる彫形を呈す。 [外]付、付付、濃いス [内]付、体部下平濃いログ	[外]10YR7/6明黄 [内]10YR5/8明黄 青:1mm以下の石英・灰石・金雲母・赤色粒 貝	ほぼ 完存		
2	107	573	29-型穴20・ 46-型穴35 埴土	東直器 杯蓋	② a 4	(11.2) [4.5]	口縁部と天井部の境は強い線が通り、内縁部は斜面を有す。 [外]回転付、回転<90度 (0) [内]回転付	[外]S5/灰 [内]S5/灰 青:1mm以下の緑紋・黒色粒・白色粒 貝	口 1/8 以下		
2	107	574	29-型穴20・ 46-型穴35 埴土	東直器 盥 (口縁)	— [4.2]	(16.0) [4.2]	口縁部は外反し、縁部外面に受部が1条通る。縁部に横線状文 (141x141x1) を配する。 [外]回転付 [内]回転付	[外]S5/2灰白 [内]7.5Y/1灰白 [内]7.5Y/1灰白 青:1mm以下の緑紋・黒色粒 貝	口 1/8		
2	107	575	29-型穴20・ 46-型穴35 SP1	土師器 盥 (口縁)	— [9.7]	— [9.7]	口縁部は直口する。縁部は。図示できなかったが、把手付足の体部片あり。 [外]付、付付 [内]縦軸離	[外]7.5YR7/6粒 [内]7.5YR5/6明黄 青:1mm以下の石英・灰石・黒色粒 貝	口 1/8 以下		
2	107	576	29-型穴20・ 46-型穴35 SP1	土師器 盥	ⅢA	25.0 — 15.5	体部は丸底で肩の緩まない短胴形を呈する。口縁部は緩やかに両曲・外反する。縁部は先細りしている。 [外]付 [内]付	[外]S5B/6粒 [内]7.5YR6/6粒 青:1mm以下の石英・灰石・黒色粒 貝	口 1/4		
2	108	577	29-型穴4 埴土	東直器 杯蓋	② a 3	(13.2) [3.4]	口縁部と天井部の境は強い線が通り、内縁部は明確が通る。 [外]回転付 [内]回転付	[外]S5/2灰白 [内]2.5Y/2灰 青:1mm以下の緑紋・黒色粒 貝	口 1/8		
2	108	578	29-型穴4 床面直上	土師器 盥 (底面)	A1	— [6.3]	小笠原が。丸底。器壁厚い。被熱痕付着。 [外]付、付付 [内]縦軸離	[外]10YR5/6赤 [内]10YR5/2灰白 青:1mm以下の石英・灰石・赤色粒 貝	底 1/1		
127	110	579	41-型穴3 カマド周辺	東直器 有蓋高杯	— [10.1]	(10.1) 8.7 7.7	立ち上がりは内傾し、内縁部は斜面を持つ。器壁は縦割内面形を呈し、台形部を穿孔する。 [外]回転付、回転<90度 (-)、3方向台形部あり [内]回転付	[外]S6/灰 [内]S7/灰白 青:1mm以下の緑紋 貝	脚 1/1		
2	110	580	41-型穴3 カマド周辺	土師器 盥 (口縁)	— [14.0]	(14.0) [4.4]	体部は短形で、縁部は丸く収める。 [外]縦軸離 [内]縦軸離	[外]2.5YR/2灰白 [内]10YR5/2灰白 青:1mm以下の石英・灰石・赤色粒 貝	口 1/8		
124	113	581	29-型穴3 床面直上	東直器 杯蓋	② b ク	14.0 — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い線が通り、内縁部に段を有す。 [外]回転付、回転<90度 (0)、頂部<90度未調整 [内]回転付	[外]S5/灰 [内]S6/灰 青:1mm程度の緑紋 貝	ほぼ 完存		
124	113	582	29-型穴3 床面直上	東直器 杯蓋	② e イ	(13.8) — 4.3	口縁部と天井部の境は明確が通り、内縁部に段を有す。 [外]回転付、回転<90度 (0)、付 [内]回転付、静止付	[外]S6/灰 [内]S5/灰 青:1.5mm以下の緑紋 貝	口 3/8		
124	113	583	29-型穴3 埴土	東直器 杯蓋	② d ク	(13.6) [5.0]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので、浅い凹線が通る。凹線が。内縁部は斜面を有す。 [外]回転付、マフ、底面が [内]回転付	[外]S5B/1灰白 [内]10YR5/3浅黄 青:1mm以下の緑紋 貝	口 1/4		
124	113	584	29-型穴3 埴土	東直器 杯蓋	② e ス	14.0 — [4.3]	口縁部と天井部の境は浅い凹線が2条通り、沈線が通る。 [外]回転付、回転<90度 (0) [内]回転付、当て貝	[外]S5/灰 [内]S6/灰 青:1mm以下の緑紋・黒色粒 貝	口 1/2		

表 31 土器観察表 (31)

単位:cm (推定値)【残存値】【埋入値】

図 像 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 構 層 位	埋 入 深 度 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備 考	
	2	113	585	28-型穴3 埋土	直立器 杯蓋	b イ	(14.0) — 【外】回転? 【内】回転?	口縁面と天井面の境は弱い線が走り、内面は凹面 面を有す。 【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 点	口 1/6		
	2	113	586	28-型穴3 埋土	直立器 杯蓋	③ + オ	(16.6) — 3.6	口縁面と天井面の境は凹面が走り、内面は段を有 す。天井面に?記号 / /。 【外】回転?、回転?傾り(4)、凹面1条 【内】回転?、静止?	【外】N5/灰 【内】N6/灰 骨:1.5mm以下の繊維 粒	口 1/8	
121	2	113	587	28-型穴3 床面直上	直立器 杯身	③ b オ	(13.0) 7.4 4.9	口縁面の立ち上がりは内傾し、端面は丸くおさめ る。底面は平直。2枚被覆。 【外】回転?、回転?傾り(8) 【内】回転?	【外】2.5B7/20黄 【内】17.5B2/4?/橙 骨:2mm以下の繊維・赤色粒 不具	受 3/4	
124	2	113	588	28-型穴3 埋土	直立器 杯身	③ + オ	(13.1) — 4.7	立ち上がりはやや短く内傾し、端面は丸くおさめ る。 【外】回転?、回転?傾り(8) 【内】回転?、静止?	【外】N5/灰 【内】N4/灰 骨:1mm以下の繊維 点	口 1/4	
2	113	589	28-型穴3 埋土	土師器 釜 (口縁)	—	— 【外】 【内】	口縁部は直曲・外傾し、端面は丸く収める。 【外】縦筋縞 【内】縦筋縞	【外】5Y4/1灰 【内】5Y7/1灰白 骨:1mm以下の石英・長石・赤色粒 ・黒色粒 点	口 1/8 以下		
2	113	590	28-型穴3 埋土	土師器 釜 (口縁)	—	(17.8) — 【外】 【内】	口縁部は直立状態で立ち上がり、端面は丸く収め る。 【外】?、直筋 【内】?、直筋	【外】7.5B6/4(無) 【内】7.5B5/4?/無 骨:2mm以下の石英・長石・赤色粒 点	口 1/4		
2	113	591	28-型穴3 埋土	土師器 甕 (口縁)	Y b	(21.2) — 【外】 【内】	口縁部は直立し、器壁は厚い。端面は、 【外】縦筋縞 【内】縦筋縞	【外】10Y67/6暗黄褐 【内】10Y67/3?/黄褐 骨:2mm以下の石英・長石・赤色粒 点	口 1/8		
2	114	592	28-型穴6 埋土	直立器 杯蓋	b イ	(13.0) — 【外】 【内】	口縁面と天井面の境は弱い線が走り、内面は凹面 面を有す。 【外】回転?、回転?傾り(-) 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】N5/灰 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 点	口 1/8		
2	114	593	28-型穴6 床面直上	土師器 釜 (口縁)	b	— 【外】 【内】	口縁部は高曲・大きく外反する。端面は、 【外】縦筋縞、化粧土 【内】縦筋縞	【外】7.5B6/6(無) 【内】10Y67/3?/黄褐 骨:2mm以下の石英・長石・赤色粒 点	口 1/8 以下		
2	116	594	28-型穴30 埋土	直立器 杯蓋	② b ウ	(13.0) — 【外】 【内】	口縁面と天井面の境は弱い線が走り、内面は幅広 の斜面を有す。 【外】回転?、回転?傾り(4)、頂部?切り未調整 【内】回転?	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:1mm以下の繊維・黒色粒 点	口 1/8 以下		
124	2	116	595	28-型穴30 站床	直立器 杯蓋	② d オ	(13.6) — 【外】 【内】	口縁面と天井面の境は弱く直曲し、端面は丸くおさ める。天井面は平直。自然剥付着。 【外】回転?傾り(8) 回転? 【内】回転?、静止?	【外】7.5B7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 点	口 2/8	
2	116	596	28-型穴30 埋土	直立器 杯身	—	(11.4) — 【外】 【内】	立ち上がりは内傾し、端面は先細りしている。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:1mm以下の繊維 点	口 1/8 以下		
2	119	597	28-型穴50 埋土	土師器 釜 (口縁)	F e2	— 【外】 【内】	口縁部はくの字状に屈曲・西向きに立ち上がり、 端面は、 【外】?、直筋 【内】?、直筋	【外】10Y67/3?/黄褐 【内】10Y67/3?/黄褐 骨:1mm以下の石英・長石 点	口 1/8 以下		
2	120	598	41-型穴2 埋土	直立器 高杯 (脚座)	—	(8.0) 【外】 【内】	脚座はへの字状に開き、側面には有角端面をも つ。 【外】回転?、回転?傾り、推定3方向有角? 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】10Y6/1灰 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 点	底 1/4		
125	2	121	599	28-型穴45 床面直上	直立器 杯身	—	11.0 5.5 4.4	立ち上がりは直立し、端面は丸くおさめる。底面は やや平直。受部に杯蓋を重ねる向きによる焼きムラあ り。自然剥付着。 【外】回転?、回転?傾り(4) 【内】回転?	【外】2.5B6/1黄灰 【内】2.5B7/1灰白 骨:2mm以下の繊維 点	口 1/2	
2	121	600	28-型穴45 床面直上	直立器 杯身 (口縁)	—	(11.6) — 【外】 【内】	立ち上がりは内傾し、内面は凹面を有す。 【外】回転? 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:2mm以下の繊維・黒色粒 点	口 1/8		
2	121	601	28-型穴45 床面直上	直立器 杯蓋	b イ	— 【外】 【内】	口縁面と天井面の境は弱い線が走り、内面は段を 有す。 【外】回転?、回転?傾り(-) 【内】回転?	【外】N5/灰 【内】N5/灰 骨:1mm以下の繊維 点	口 1/8 以下		
125	2	121	602	28-型穴45 床面直上	直立器 杯身	④ a オ	11.2 — 5.2	立ち上がりは内傾し、端面は丸くおさめる。受部に 蓋を重ねる向きあり。蓋の面が見られる。 【外】回転?、回転?傾り(4) 【内】回転?	【外】N6/灰 【内】N6/灰 骨:1.5mm以下の繊維・黒色粒 点	口 5/8	
125	2	121	603	28-型穴45 床面直上	直立器 杯蓋	③ + イ	(12.0) — 【外】 【内】	口縁面と天井面の境は弱い凹面が走り、内面は凹面 面を有す。 【外】回転?、回転?傾り(4) 【内】回転?、静止?	【外】N7/灰白 【内】2.5B7/1灰白 骨:1mm以下の繊維 点	口 1/4	
125	2	121	604	28-型穴45 床面直上	直立器 杯身	④ + イ	(10.8) — 【外】 【内】	立ち上がりは内傾し、端面は凹面を有す。底面は 直立的平直。 【外】回転?、回転?傾り(8) 【内】回転?、静止?	【外】7.5B7/1灰白 【内】7.5B7/1灰白 骨:1mm以下の繊維・黒色粒 点	口 2/8	

表 32 土器観察表 (32)

単位:cm (推定値)【残存額】【目録額】

図 表 番 号	種 類 番 号	遺 物 番 号	遺 物 名	種 別 部 位	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 産地	残 存 率	備 考
125	2	121	605	29-型45 床面直上	須恵器 杯蓋	(11.4) — [4.2]	口縁部と天井部の境は強い段が通り、内面は幅広の 凹面が広がる。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 青:1mm以下の緑粒・黒色粒・白色結 晶 土	口 1/4	
125	2	121	606	29-型45 床面直上	須恵器 右蓋高杯 (杯蓋)	9.4 — [5.9]	立ち上がりは内傾し、内面は斜面を持つ。受部に 蓋ね成きの焼きムラあり。 【外】回転付、回転3割り(8)、3方向台形3割 【内】回転付、静止付	【外】N6/灰 【内】N4/灰 青:1mm以下の緑粒 土	口 1/2	
125	2	121	607	29-型45 埋土	須恵器 杯蓋	(10.0) 4.0 4.8	立ち上がりは内傾し、内面は斜面を有す。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、蓋ね成きのちりちり	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗:1mm以下の緑粒・黒色粒・白色結 晶 土	受 3/8	
125	2	121	608	29-型45 埋土	須恵器 杯蓋	(11.0) (4.9) [3.9]	立ち上がりは直立し、断面は凹面を有す。受部に蓋 ね成きの焼きムラあり。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 青:2mm以下の緑粒・黒色粒 土	口 1/8 以下	
125	2	121	609	29-型45 埋土	須恵器 杯蓋	(11.0) — [4.1]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、断面は丸くおさま る。受部に杯蓋ね成きの焼きムラあり。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 土	口 1/8 以下	焼成時 800℃ セット関 係か?
127	2	121	610	30-537 中笠 (口・底 部)	須恵器 中笠 (口・底 部)	34.0 14.5 16.0 [21.2] [7.8]	口縁部は長く大きく外反し、断面は上下に肥厚して 有段角縁をもつ。体～底部は差みが著しく、一部 大きくくぼむ。断面は差着によって文様帯をうけ 構成し、土粒二段に輪状波状文(9割り2割り)、下に 回転付目線を施す。 【外】平行文付、回転付目 【内】当て具板のちりちり	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗粒:2mm以下の緑粒 土	口 2/3	
127	2	126	611	29-5262	須恵器 杯蓋	13.0 3.9 4.8	立ち上がりは浅く内傾し、断面は丸くおさまる。受 部に焼きムラあり。底面は浅くやや平直。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付、静止付	【外】J2、S17/灰白 【内】J2、S18/灰白 青:2mm以下の緑粒・黒色 土	口 1/2	
127	2	126	612	29-5262	土師器 盃	(13.5) — [10.4]	口縁部は高直・外反する。断面は先細りしてい る。 【外】J2 【内】口縁部12割り、体部9割り	【外】J10/S3/灰白 【内】S18/S4/明赤 青:1mm以下の右黄・黄赤・赤色粒 土	口 1/8	埋付蓋。
127	2	126	613	29-5264	須恵器 杯蓋	(14.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は弱い段が通り、内面は凹 面を有す。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】S17/灰白 【内】J2、S17/灰白 青:2mm以下の緑粒・黒色粒 土	口 1/8	
127	2	126	614	29-5264	須恵器 杯蓋	(12.4) — [3.9]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、断面は先細りして いる。受部に蓋ね成きの焼きムラあり。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 土	口 1/8 以下	
133	2	127	615	29-5210	須恵器 杯 (底面)	— (9.0) [2.8]	底面に高台を施す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】J7、S17/灰白 青:1mm以下の緑粒 土	底 1/8	
133	2	127	616	29-5210	須恵器 皿	(16.6) (13.2) 2.2	口縁部は直線的に外傾し、断面は丸い。底面は 明瞭で、平直。 【外】回転付、線付底 【内】回転付、線付底	【外】N6/灰 【内】N6/灰 青:2mm以下の緑粒 土	口 1/8	
127	2	127	617	31-534	須恵器 杯 (底面)	— — [1.1]	底面に断面方形の低い高台を施す。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 粗:0.5mm以下の緑粒 土	底 1/8 以下	
127	2	129	618	32-5209 上層	須恵器 杯蓋	(11.2) — 3.5	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、断面は丸く おさまる。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】J7、S17/灰白 【内】N7/灰白 青:1mm以下の緑粒・黒色粒 土	口 1/8	
131	2	129	619	32-5209 上層	須恵器 杯蓋	11.4 11.8 5.5 4.0	口縁部と天井部の境は丸くならぬから、断面は丸く おさまる。天井部は平直。 【外】回転付、回転3割り本調整 【内】回転付、線付底	【外】N5/灰 【内】N6/灰 青:2mm以下の緑粒 土	完存	
131	2	129	620	32-5210 上層	須恵器 杯蓋	12.0 5.0 3.7	口縁部と天井部の境は直立し、断面は丸くおさま る。天井部はやや平直。焼き差みあり。 【外】回転付、緑色粒付着 【内】回転付	【外】S17/灰白 【内】N7/灰白 粗粒:1mm以下の緑粒・黒色粒 土	完存	
127	2	129	621	32-5209 上層	須恵器 杯	(9.0) (6.5) 3.8	口縁部は直立気味に立ち上がり、底面は平直。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】S17/灰白 【内】S17/灰白 粗:1mm以下の黒色粒 土	口 1/4	
127	2	129	622	32-5209 上層	須恵器 杯	(10.4) — 3.7	口縁部は外傾し、体部は丸みを帯び、底面はやや平 直。底面に粘土塊(2+)の付着あり。 【外】回転付、回転3割り(8) 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】J2、S18/灰白 粗:1mm以下の砂粒・黒色粒 土	口 3/8	
131	2	129	623	32-5209 上層	須恵器 杯	(10.6) — 4.5	口縁部と天井部の境は、丸くならぬから、断面は丸く 収める。天井部は高く丸みを帯びる。→記号 「1」あり。 【外】回転付、回転3割り(8)、底部3割り本調整 【内】回転付	【外】S17/灰白 【内】S17/灰白 青:1mm以下の緑粒 土	口 1/2	

表 33 土器観察表 (33)

単位: cm (推定値) [残存値] [還元値]

国 際 形 式 番 号	種 類 番 号	通 身 番 号	遺 構 層 位	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土 質 構成	残 存 率	備 考
131	2	129	624	32-5020 上層	東意器 杯A	(12.2) 6.4 4.4	口縁部は直線的に外傾し、底面は外傾し平直。 [外]回転付、回転付回り、縁部傾 [内]回転付、静止付	[外]: 7.5/7.1/16白 [内]: 5/6/1/8 黄・2mm以下の緑砂 質	底 1/2	
131	2	129	625	32-5020 上層	東意器 杯A	(11.0) 6.8 3.9	口縁部は外傾し、体部は丸みをおび、底面は平直。 [外]回転付、回転付回り未調整 [内]回転付	[外]: 5/5/7 [内]: 5/5/5 黄・2mm以下の緑砂 質	底 5/8	
2	129	626	32-5020 上層	東意器 杯A	杯A	(12.0) — [4.3]	口縁部は外傾し、体部は丸みをおび、底面は平直。 [外]回転付、回転付回り [内]回転付	[外]: 5/6/1/8白 [内]: 5/6/1/8白 黄・2mm以下の緑砂 質	口 1/4	
131	2	129	627	32-5020 上層	東意器 杯A	12.8 (6.4) [3.8]	口縁部は直線的に外傾し、体部は丸みをおび、底面 は平直。重ね焼きの焼きムラ、焼き歪み、滑着痕あ り。 [外]回転付、微動 [内]回転付、微動広張	[外]: 12.8/6.4/真灰 [内]: 5/7/1/8白 黄・2mm以下の緑砂 質	完存	
2	129	628	32-5020 上層	東意器 蓋	蓋	(15.1) — [2.0]	口縁部は強く屈曲し垂下する。つまみ文柄。 [外]回転付、回転付回り (-) [内]回転付	[外]: 5/5/5 [内]: 5/5/5 黄・5mm以下の砂粒 質	口 1/4	
2	129	629	32-5020 上層	東意器 蓋	蓋	18.0 — [3.4]	口縁部は平直で肩部付で屈曲し垂下する。文柄。 [外]回転付 [内]回転付、静止付	[外]: 5/6/5 [内]: 5/6/5 黄・砂粒をほとんど含まない 質	口 1/2	
131	2	129	630	32-5020 上層	東意器 杯B (底部)	— 9.6 [3.6]	三角高台を貼り付ける。 [外]回転付、回転付回り [内]回転付、静止付	[外]: 5/7/8白 [内]: 5/7/8白 黄・2mm以下の緑砂 質	底 7/8	
2	129	631	32-5020 上層	東意器 杯B	杯B	(12.8) — [4.0]	口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸く収める。底面 やや内側に高台貼付痕あり。 [外]回転付 [内]回転付	[外]: 5/7/8白 [内]: 5/8/1/8 黄・2mm以下の砂粒 質	口 3/8	
2	129	632	32-5020 上層	東意器 杯B (底部)	杯B	— (9.5) [4.0]	底面やや内側に断面四角形の高台を貼り付ける。 [外]回転付、回転付回り [内]回転付、静止付	[外]: 5/7/8白 [内]: 5/7/8白 黄・1mm以下の砂粒 質	底 1/2	
2	129	633	32-5020 上層	東意器 杯B	杯B	12.7 — [4.2]	口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸く収める。底面 やや内側に高台貼付痕あり。 [外]回転付、回転付回り、回転付回り (-) [内]回転付	[外]: 5/7/8白 [内]: 5/7/8白 黄・2mm以下の砂粒 質	口 5/8	
2	129	634	32-5020 上層	東意器 蓋	蓋	(13.0) — [2.9]	口縁部は直立気味に立ち上がる。 [外]回転付 [内]回転付	[外]: 5/5/5 [内]: 5/5/5 黄・2mm以下の砂粒 質	口 1/6	
2	129	635	32-5020 上層	東意器 蓋	蓋A	(16.0) — [2.6]	口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸く収める。 [外]回転付 [内]回転付	[外]: 5/6/5 [内]: 5/7/8白 黄・2mm以下の砂粒 質	口 1/12 以下	
131	2	129	636	32-5020 上層	東意器 高杯	12.2 10.8 10.5	杯部は腕形を呈し、脚部との間に鋭い稜を有する。 脚部はへろの字状に開き、脚部が斜め下方に突出 し、外表面を持つ。焼き歪み著しい。 [外]回転付 [内]回転付	[外]: 5/5/5 [内]: 5/5/5 黄・1mm以下の緑砂 質	ほぼ 完存	
2	129	637	32-5020 上層	東意器 高台付碗 (底部)	— (7.5) [2.3]	高台付碗の脚部のみ 高台は、やや更高で若干内湾する。 [外]回転付 [内]回転付、静止付	[外]: 5/5/5 [内]: 5/5/5 黄・1mm以下の砂粒 質	底 3/8		
2	129	638	32-5020 上層	東意器 平皿 (口縁)	平皿	(9.1) — [5.8]	平皿の口縁のみ。口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸 く収めている。外面に沈凹が1条ある。 [外]回転付、沈凹1条 [内]回転付	[外]: 5/5/5 [内]: 5/6/5 黄・1mm以下の砂粒 質	口 1/6	
131	2	129	639	32-5020 上層	東意器 煲	17.0 — [28.4]	口縁部は強く外傾し、主肩部を横み上げ、前面を持 つ。体部はやや肩のあった球形を呈す。底面は丸 底。内面の当て具痕は下半分が剥けている。 [外]回転付、平行191-回転84日 [内]回転付、当て具痕	[外]: 5/7/8白 [内]: 2.5/8/1/8白 黄・2mm以下の緑砂 質	ほぼ 完存	
2	129	640	32-5020 上層	土師器 杯 (口縁)	杯	— — [2.2]	肩部は丸く収める。 [外]: 化粧土 [内]: 化粧土	[外]: 5/5/6/6/6 [内]: 5/5/6/6/6 黄・1mm程度の石英・長石 質	口 1/8 以下	
2	129	641	32-5020 上層	土師器 杯	杯	(9.5) — [2.7]	口縁部はわずかに外反し、肩部は丸く収める。 [外]: 191、板付 [内]: 191	[外]: 5/5/7/8/8 [内]: 7.5/8/7/4/7/4/4 黄・1mm以下の石英・長石・赤色砂 質	口 1/8	
2	129	642	32-5020 上層	土師器 杯	杯	(8.6) — [2.9]	体部は腕形を呈し、肩部は丸く収めている。 [外]: 191、板付 [内]: 191	[外]: 7.5/8/7/4/7/4/4 [内]: 7.5/8/7/4/7/4/4 黄・1mm以下の石英・長石 質	口 1/4	
2	129	643	32-5020 上層	土師器 杯 (口縁)	杯	— — [4.3]	体部は腕形を呈す。口縁部は直口し、肩部は丸く収 めている。 [外]: 191 [内]: 板付	[外]: 5/5/6/6/6 [内]: 5/5/6/6/6 黄・2mm以下の石英・長石・赤色砂 質	口 1/8	

表 34 土器観察表 (34)

単位:cm (推定値)【残存額】【還元額】

図録番号	検出番号	遺物番号	遺構層位	種類 器種 (部位)	分類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】 【内】	色調【外】 【内】 備考	残存率	備考
2	129	644	32-5020 上層	土師器 壺 (口縁)	Ⅱ C2	— [4.7]	口縁部はくの字状に屈曲し、外縁部をつまみ出し、 肩部は面を持つ。 【外】粗い凹凸、 【内】320- 口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】縦線磨 【内】縦線磨 粗い1mm以下の石質・長石・赤色粒 点	口 1/8 以下		
2	129	645	32-5020 上層	土師器 壺 (口縁)	—	— [4.0]	口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】縦線磨 【内】縦線磨 粗い1mm以下の石質・長石・赤色粒 点	口 1/8 以下		
2	129	646	32-5020 上層	土師器 壺 (口縁)	A3 1 d2	(14.7) — [7.7]	小型壺。口縁部は屈曲・外傾し、肩部は2。 【外】320-、 【内】320-、 口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】320-、 【内】320-、 口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】320-、 【内】320-、	口 1/4		
131	129	647	32-5020 上層	土師器 壺 (口縁)	A2 Ⅱ d1	(18.0) — [10.6]	口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】320-、 【内】320-、 口縁部は屈曲・外反し、肩部は2。 【外】320-、 【内】320-、	口 1/6		
2	129	648	32-5020 上層	土師器 壺 (口縁)	A2 Ⅱ a	(17.8) — [4.5]	口縁部はほぼ直立し、肩部は先鋭にしている。 【外】320-、 【内】320-、	口 1/6		
2	129	649	32-5020 上層	土師器 壺 (把手)	Ⅱ C	[6.2] [1.5] [4.0]	把手は上面三角形を呈し、断面は上面が凹んだ扁平形。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、 口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 把手のみ		
2	129	650	32-5020 下層	灰土器 杯蓋 (口縁)	④ d オ	(11.0) — [3.5]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/8		
2	129	651	32-5020 下層	灰土器 杯蓋 (口縁)	④ d オ	— [3.4]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/6		
2	129	652	32-5020 下層	灰土器 杯蓋 (口縁)	④ d オ	— [3.1]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/8		
2	129	653	32-5020 下層	灰土器 杯蓋 (口縁)	④ d オ	(10.2) — [2.8]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/6		
2	129	654	32-5020 下層	灰土器 蓋 (口縁)	—	(9.2) — [1.5]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/6		
2	129	655	32-5020 下層	灰土器 蓋 (口縁)	—	— [1.3]	口縁部と天井部の境は欠けならぬが、断面は欠け おさめる。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/8 以下		
2	129	656	32-5020 下層	灰土器 高杯 (脚部)	—	(8.8) [2.0]	脚部は口縁部から下方に突出し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	底 1/8		
131	129	657	32-5020 下層	灰土器 高杯 (脚部)	—	(10.3) [7.6]	脚部は口縁部から下方に突出し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	底 7/8		
129	129	658	32-5020 下層	灰土器 把手付鉢	—	(12.0) — [10.4]	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/8	658と同一 個体の可 能性あり	
129	129	659	32-5020 下層	灰土器 把手付鉢 (把手)	—	— [9.5]	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/8	658と同一 個体の可 能性あり	
129	129	660	32-5020 下層	土師器 鉢	B Ⅲ	11.8 4.2 5.4	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/2		
129	132	661	36-5010 下層	灰土器 杯	—	(12.2) (7.8) [4.8]	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/3		
129	132	662	36-5010 下層	灰土器 杯	—	(14.2) (10.3) 4.9	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/1		
129	132	663	36-5010 下層	灰土器 蓋 (脚部)	—	— [5.0]	口縁部は口の字状に屈曲し、外縁部を持つ。 【外】粗面正角、 【内】粗面正角、	口 1/6		

表 36 土器観察表 (36)

単位:cm (推定値) [残存値] [埋元値]

図 表 番 号	探 検 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種 別 部 位 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残 存 率	備 考
132	2	133	684	33-502 下層	土師器 移動式甕	— [26.2]	竹け底。底部外部は押し組明瞭。 [外]7×4.5×1.1 [内]1.9	[外]5YR6/4 [内]5YR6/4 黒:2mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	底・ 底部	
132	2	133	685	33-502 下層	土師器 甕	(40.4) 8.3	大甕型。肩がゆるい口頸部は屈曲・外傾する。 [外]口縁部1×1.5×1.1, 体部外側1.5×1.1×1.1 [内]1.1	[外]7.5YR6/4-7 [内]10YR5/2-6黄褐色 青:1mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	口 1/8 以下	
2	131	686	中世奈良群 界 41-501	製土土師 (口縁)	— [2.5]	口縁部はわずかに内湾し、肩部は丸く収める。 [外]縦筋 [内]縦筋	[外]2.5YR/1黄褐色 [内]10YR7/4-7 黄褐色 青:1mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	横筋 傾斜V式		
133	2	134	687	中世奈良群 界 41-501 上層	青磁 甕 (口縁)	— [3.7]	体部外部に屈曲部を有する。 [外]蓋半文, 施釉 [内]施釉	[軸面]17.5×6/2×1.1 [胎土]2.5YR2/8灰白 精良:砂粒をほとんど含まない	口 1/8 以下	
133	2	134	688	中世奈良群 界 41-501 上層	中世奈良群 杯 (口縁)	(12.2) [3.0]	口縁部は直線的に外傾し、肩部は丸くおさめる。口 縁外部に点状の痕跡あり。 [外]口縁部1.1×1.1 [内]口縁部1.1	[外]2.5YR/2K白 [内]2.5YR/2K白 青:1mm以下の石英・長石等 やや不良	口 1/8	十瓶山所
133	2	134	689	中世奈良群 界 41-501 上層	土師質土器 足釜 (脚縁)	— [12.5]	[外]1.1 [内]1.1	[外]7.5YR6/2灰褐色 [内]7.5YR6/2灰褐色 黒:1mm以下の石英・長石 良好	脚の み	
133	2	134	690	中世奈良群 界 41-501 上層	土師質土器 足釜	26.4 [10.4]	口縁部は内湾し、肩部は丸くおさめる。脚縁は短く 突出する。 [外]1.1×1.1 [内]1.1×1.1, 胎面直傾	[外]5YR6/4-7 [内]7.5YR6/2-7 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/8	横井産
133	2	134	691	中世奈良群 界 41-501 上層	土師質土器 甕 (口縁)	(36.0) [3.8]	口縁部は水平近くまで屈曲し、内肩部を積み上げる。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]7.5YR6/4-7 [内]7.5YR6/4-7 青:1mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	口 1/8 以下	
133	2	134	692	中世奈良群 界 41-501 上層	中世奈良群 片口鉢	(27.2) 6.8	体部は直線的に開き、肩部は肥厚する。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]7.5YR6/4 [内]7.5YR6/4 精良:3mm以下の長石 良好	口 1/12	東橋系
133	2	134	693	中世奈良群 界 41-501 上層	中世奈良群 片口鉢	(25.4) (9.0) 9.5	体部はやや湾曲して開き、肩部は肥厚する。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]2.5YR/1K白 [内]2.5YR/1K白 黒:1mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	口 1/2	東橋系
133	2	136	694	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 甕	6.2 4.9 1.1	口縁部は短く外傾し、肩部は丸く収める。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 (K) [内]口縁部1.1	[外]7.5YR6/4黄褐色 [内]7.5YR6/4黄褐色 青:1mm以下の石英・長石・赤色砂 良好	底 1/8 以下	定存
133	2	136	695	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(9.9) (7.0) [2.7]	口縁部は大きく外傾する。肩部外部はやや肥厚する。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 (K) [内]口縁部1.1	[外]7.5YR6/4黄褐色 [内]7.5YR6/4黄褐色 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/3	
133	2	136	696	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(9.2) [2.6]	口縁部は外傾する。肩部外部はやや肥厚する。 [外]口縁部1.1, 2次横筋 [内]口縁部1.1	[外]5YR6/3黄褐色 [内]5YR6/3黄褐色 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/6	横井産
133	2	136	697	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(11.1) [2.4]	口縁部は大きく外傾する。肩部外部はやや肥厚する。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]2.5YR/2K白 [内]2.5YR/2K白 精良:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/6	
133	2	136	698	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(11.9) [2.8]	口縁部は大きく外傾する。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]10YR5/2K白 [内]10YR5/2K白 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/8 以下	
133	2	136	699	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(11.4) (8.0) 2.4	口縁部は外傾する。 [外]口縁部1.1 [内]口縁部1.1	[外]7.5YR6/4黄褐色 [内]7.5YR6/4黄褐色 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/8 以下	
133	2	136	700	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 杯	(10.8) (7.0) 2.3	口縁部は大きく外傾する。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 (K)。板目状正傾 [内]口縁部1.1, 胎面直傾	[外]10YR5/2K白 [内]10YR5/2K白 精良:1mm以下の石英・長石 良好	底 2/3	
133	2	136	701	中世奈良群 界 39-501	中世奈良群 杯	(12.4) 8.5 2.9	口縁部は外傾し、丸みを帯びた外縁面をもつ。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 (K) [内]口縁部1.1, 胎面直傾	[外]10YR5/1黄褐色 [内]10YR5/1黄褐色 精良:1mm以下の石英・長石 不良	底 1/3	十瓶山所
133	2	136	702	中世奈良群 界 39-501	中世奈良群 杯	11.9 8.2 3.2	口縁部は外傾し、丸みを帯びた外縁面をもつ。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 (K) [内]口縁部1.1, 胎面直傾	[外]2.5YR/1黄褐色 [内]2.5YR/1黄褐色 精良:1mm以下の石英・長石 不良	口 1/2	十瓶山所
133	2	136	703	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 足釜 (口縁)	— [4.2]	口縁部はやや内湾し、肩部は丸く収める。脚縁は短く 水平に貼付する。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 [内]口縁部1.1	[外]10YR5/3黄褐色 [内]10YR5/3黄褐色 青:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/8 以下	
133	2	136	704	中世奈良群 界 39-501	土師質土器 足釜 (口縁)	(18.4) [5.1]	口縁部はやや内湾し、肩部は丸く収める。脚縁は短く 突出し、脚部下縁の承相正傾は明瞭。 [外]口縁部1.1, 胎面直傾 [内]縦筋	[外]7.5YR6/4-7 [内]7.5YR6/4-7 黒:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/8	

表 37 土器観察表 (37)

単位:cm (推定値) [残存値] [埋元値]

図 表 番 号	土 器 番 号	遺 物 番 号	遺 物 部 位	種別 部 位 (部位)	分 類	口縁 底 部 高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土 質 構成	残 存 率	備 考
133	2	136	705	中世本型洋 灰 39-501	土器質土層 足金 (口・脚部)	(27.0) — [15.2]	体部から口縁部にかけて内傾し、肩部は丸く収める。 唇部は短く突出し、唇部下端に爪形凹痕が残る。 [外]凹痕?、爪形凹痕、折?、板状?、折? [内]板状?	[外]10YR5/3浅黄緑 [内]10YR5/3浅黄緑 骨:1mm以下の石英・長石・ 炭素	口 1/8 以下	
124	2	146	706	28-583	煎茶器 杯身	(14.5) — [4.3]	口縁部と天井部の境は突帯状の強い骨が通り、肩部 はほぼ平坦な面を有す。天井部は短く平直。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N7/RC白 [内]N7/RC白 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 1/2	
127	2	147	707	29-5812	煎茶器 右蓋高杯蓋	2.3 (1.0) [2.4]	中央がくぼんだつまみを貼付ける。自然軸(縁) 付着。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]5YR7/4青灰 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	つま み 1/1	
126	2	148	708	29-5819	煎茶器 杯蓋	(13.8) — [4.9]	口縁部と天井部の境は強い骨が通り、肩部は凹斜面 を有す。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N7/RC白 [内]N6/RC 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 1/3	
126	2	148	709	29-5819	煎茶器 杯身	(11.0) — 5.2	立ち上がりは短く内傾し、肩部は丸くおさめる。底 部は深い丸底。受部境に溝をなす。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]N6/RC 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	受 3/8	
126	2	148	710	29-5819	煎茶器 杯蓋	12.6 5.5 4.5	口縁部と天井部の境は弱い骨が通り、内肩部は外方 に屈曲し凹斜面を有す。天井部はややくぼむ。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]N6/RC 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 5/8	
126	2	148	711	29-5819	煎茶器 杯身	(10.0) — [4.0]	立ち上がりはややくぼみ内傾し、肩部は丸くおさめ る。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N7/RC白 [内]7.5Y7/1灰白 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 3/8	
126	2	148	712	29-5819	煎茶器 提柄	7.9 — [20.3]	縦断面は縦で、口縁は外反し、肩部は肥厚し角張 る。体部は一方が丸く、一方が平坦な扇状形を呈す。 体部両側面に大きく輪状をなす把手を貼り付 ける。口縁と体部の接合は凹痕閉塞法。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口)、自然軸付着 [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]5YR7/4暗黄灰 [内]5YR7/4暗黄灰 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	ほぼ 完 存	
2	148	713	29-5819	土器 盤 (口縁)	IV a1	(26.8) — [12.9]	口縁部は直口し、肩部は、 [外]凹痕? [内]凹痕?	[外]5YR7/6暗 [内]5YR7/6暗 骨:1mm以下の石英・長石・赤色炭 素	口 1/8	
2	148	714	29-5858	土器 盤 (底部)	II 皿	— [5.9]	小笠雲が、丸底。 [外]凹痕?、被熱 [内]凹痕?、折?	[外]2.5YR5/6暗 [内]10YR5/3灰白 骨:1mm以下の石英・長石・ 炭素	底 1/1	
2	148	715	29-5865	煎茶器 盤	—	(19.2) — [5.9]	口縁部は直立状態で立ち上がった後さらに外方に 開く。肩部外面に突帯を貼付け肩部となし、その下 に突帯が1条通る。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]7.5Y7/1灰白 [内]7.5Y7/1灰白 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 1/8	
2	151	716	66-586	土器 高杯 (脚部)	—	(10.2) [3.3]	脚部部の破片。ローリングを受けている。 [外]縦断面 [内]縦断面	[外]7.5YR7/6暗 [内]7.5YR7/6暗 骨:1mm以下の石英・長石・赤色炭 素	底 1/4	
127	2	152	717	29-5500	煎茶器 杯蓋	(13.4) — [4.5]	口縁部と天井部の境は突帯状の強い骨が通り、肩部 はほぼ平坦な面を有す。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]7.5YR7/6暗 [内]N7/RC白 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 3/8	
132	2	155	718	34-533	煎茶器 杯身 (口縁)	(13.4) — [2.9]	立ち上がりは短く内傾し、肩部は丸くおさめる。受 部に歪み状の突起あり。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]N6/RC 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	口 1/6	
132	2	155	719	34-533	煎茶器 杯身 (口縁)	(12.4) — [2.5]	立ち上がりは短く外湾気味に立ち上がり、肩部は丸 くおさめる。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]N6/RC 骨:1mm以下の緑紋・赤色炭 素	口 1/6	
132	2	155	720	34-533	煎茶器 杯身 (口縁)	(12.8) — [3.1]	立ち上がりは短く外湾気味に立ち上がり、肩部は丸 くおさめる。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]N6/RC 骨:1.5mm以下の緑紋	口 1/8	
132	2	155	721	34-533	煎茶器 提柄	— [2.2]	縦状の把手を貼り付ける。 [外]凹痕? [内]凹痕?	[外]N4/RC [内]5YR7/4灰 骨:1mm以下の緑紋・赤色炭 素	把 手 の み	
132	2	155	722	34-533	煎茶器 高杯 (脚部)	— [2.8]	杯底部から脚部にかけて穿孔あり。脚部外面に 放射状のつやを施す。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口)、自然軸付着 [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N6/RC [内]10YR5/3灰白 骨:1mm以下の緑紋・黒色炭 素	脚 部 1/1	
132	2	155	723	34-533	煎茶器 高杯 (脚部)	(10.8) [6.7]	脚部は太い基部からハの字状に開き、根底部は丸 く湾曲する。 [外]凹痕?、凹痕?開り(口) [内]凹痕?、凹痕?開り(口)	[外]N4/RC [内]N6/RC 骨:1.5mm以下の緑紋 良好	底 3/8	

表 38 土器観察表 (38)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

国庫 番号	探検 番号	遺物 番号	遺物 部位	種類 名称 (部位)	分類	口縁 底径 高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 土質 構成	残 存 率	備考
132	2	155	724	34-533	東意器 土管 (口縁)	— (2.6)	土管の破片が、断面から4~5cm下まで露出している。 底縁を確認できる。 【外】棒子文様。回転刻目 【内】当て具痕	【外】N6/灰 【内】N6/灰 青:2mm以下の線粒 黒	口 1/8 以下	断面に粘土が かきこみ、赤 土・色調が異 なっている。 底縁・断面とも 不明
132	2	155	725	34-533	東意器 壺 (底面)	— (10.2) [5.4]	底面は平直。 【外】回転付 【内】回転付、微細な縦 線	【外】N5/灰 【内】N6/灰 黒青:1mm以下の線粒・赤色粒 黒	底 1/4	
2	156	726	32-574	東意器 杯 (底面)	杯B (12.4) [1.9]	底面に、内縁する面を持つ高台を貼り付ける。 【外】回転付 【内】回転付	【外】2.5/5/1灰白 【内】2.5/5/1灰白 青:1mm以下の線粒 黒	底 1/6		
134	2	157	727	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	④ b ヌ (12.9) — 4.4	口縁部と天井部の境は弱い線が走り、内縁部は浅い 凹面が走る。 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付	【外】N4/灰 【内】N7/1灰白 黒:1mm以下の線粒 黒	口 1/3	
134	2	157	728	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	④ b イ (12.9) — 4.9	口縁部と天井部の境は弱い線が走り、上下を削り出 すことよって変形を作り出す。内縁部は凹面 を有す。 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付	【外】N5/1灰 【内】N6/灰 黒:1mm以下の線粒 黒	口 1/4	
134	2	157	729	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (2.8)	口縁部と天井部の境は弱い線が走り、内縁部は浅い 凹面が走る。 【外】回転付 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】N7/1灰白 青:2mm以下の線粒 黒	口 1/8 以下	
134	2	157	730	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	④ b ウ (12.4) — 4.5	口縁部と天井部の境は弱い線が走り、断面は外方に 傾斜し凹面を有す。 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付、跡止	【外】N5/1灰 【内】N7/1灰白 黒:2mm以下の線粒 黒	口 1/2 以上	
134	2	157	731	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	④ b ヌ (15.8) — [3.0]	口縁部と天井部の境は浅い線が走り、内縁部は凹面 が走る。 【外】回転付、回転付5割り(8)、底部5割り未調整 【内】回転付	【外】10/5/1灰黒 【内】N6/灰 黒青:1mm以下の線粒 黒	口 1/3	
2	157	732	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— a ア (10.8) — [3.8]	口縁部と天井部の境は浅い線が走り、断面はほぼ 垂直な面を有す。 【外】回転付、回転付5割り(7) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 黒青:0.5mm以下の線粒・黒色粒 黒	口 1/8		
2	157	733	中央区画 底層断面	東意器 杯蓋	— d イ (11.8) — [4.3]	口縁部と天井部の境は浅い線が走り、内縁部は凹面 を有す。 【外】回転付、回転付5割り、未調整 【内】回転付	【外】N4/灰 【内】N5/灰 黒:2mm以下の線粒・赤色粒 黒	口 1/12		
134	2	157	734	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (10.8) — [4.1]	立ち上がりは両面気味に立ち上がり、断面は丸くお きめる。 【外】回転付、回転付5割り(7) 【内】回転付	【外】N7/1灰白 【内】N6/灰 黒青:1mm以下の線粒・赤色粒 黒	口 1/6	
134	2	157	735	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (11.8) — [3.8]	立ち上がりは内縁し、断面は面を有す。 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 黒:2mm以下の線粒・赤色粒 黒	口 1/6	
134	2	157	736	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (12.9) — 4.9	立ち上がりはやや内縁し、内縁部は凹面を有す。底 部は浅く角丸平底。受部に杯蓋を重ねるべきによる変 形がみられ、回転付5割り(4) 【外】回転付、回転付5割り(4) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N5/灰 青:1mm以下の線粒・黒色粒 黒	口 1/8 以下	
2	157	737	中央区画 底層断面	東意器 杯蓋	— イ (11.4) — [4.6]	立ち上がりはやや内縁して直立し、断面は先鋒りし ている。 【外】回転付、回転付5割り(7) 【内】回転付	【外】N5/灰 【内】N6/灰 黒青:2mm以下の線粒・黒色粒 黒	口 1/6		
134	2	157	738	中央区画 包含層	東意器 杯蓋 (口縁)	— (12.9) — [3.0]	立ち上がりは短く内縁し、断面は丸くおきめる。 【外】回転付 【内】回転付	【外】2.5/5/1灰黒 【内】N7/1灰白 黒青:2mm以下の線粒・赤色粒 黒	口 1/8 以下	
134	2	157	739	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (14.2) — [3.1]	立ち上がりは外周気味に内縁し、断面は先鋒りし ている。受部底に溝をなし受部は丸くおきめる。 受部に重ねるべきによる変形がみられ、 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付	【外】2.5/5/1灰黒 【内】N7/1灰白 黒青:0.5mm以下の黒色粒 黒	口 1/6	
134	2	157	740	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	④ d オ (12.9) — 3.1	立ち上がりは短く両面して内縁し、断面は先鋒りし ている。受部は丸く仕上げられる。 【外】回転付、回転付5割り(8) 【内】回転付工具付	【外】2.5/6/1灰黒 【内】N7/1灰白 【内】赤黒 黒青:1mm以下の線粒 黒	口 1/4	
134	2	157	741	中央区画 包含層	東意器 杯蓋	— (12.6) — [3.0]	立ち上がりは短く内縁し、断面は先鋒りしている。 【外】回転付 【内】回転付工具付	【外】N5/2灰黒 【内】N4/灰 【内】赤黒 黒青:0.5mm以下の線粒 黒	口 1/8 以下	
134	2	157	742	中央区画 包含層	東意器 杯蓋 (口縁)	— (13.0) — [2.1]	立ち上がりは短く両面して直立し、内縁部は先鋒り している。受部は丸くおきめる。 【外】回転付、回転付5割り(7) 【内】回転付	【外】N6/灰 【内】N6/灰 黒:2mm以下の線粒・黒色粒 黒	口 1/8 以下	

表 39 土器観察表 (39)

単位: cm (推定値) [残存額] [還元値]

図 像 番 号	所 属 番 号	通 物 番 号	遺 構 層 位	種類 名称 (部位)	分 類	口 縁 底 径 高さ	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 土質 構成	残 存 率	備 考
134	2	157	743	中央区画 包含層	煎煮器 杯身	(11.2) — [2.9]	立ち上がりは短く屈曲して内傾し、肩部は先細りしている。受腹部に溝をなし、受腹部は丸くおさまる。 [外]回転付 [内]回転付	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 骨:1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/6	
134	2	157	744	中央区画 包含層	煎煮器 杯身 (口縁)	— — [2.4]	立ち上がりは両面気味に短く内傾し、肩部は先細りしている。受腹部に溝をなし、受腹部は丸くおさまる。 [外]回転付 [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N6/灰 骨:1mm以下の繊維 良	口 1/8 以下	
2	157	745	中央区画 包含層	煎煮器 杯身	(12.1) — [3.1]	立ち上がりは短く内傾し、肩部は先細りしている。受腹部に折重ね痕きによる溝きみあり。 [外]回転付 [内]回転付	[外]S5/灰 [内]S5/灰 骨:1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/8 以下		
2	157	746	中央区画 覆瓦	煎煮器 杯身	(13.0) — [3.1]	立ち上がりは短く高直し、肩部は先細りしている。受腹部は丸く仕上げる。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]2.5/3/黄灰 [内]S7/灰白 骨:1mm以下の繊維・黒色粒 良	口 1/6		
2	157	747	中央区画 底層部	煎煮器 杯身	(11.6) — [3.5]	立ち上がりは短く高直し、肩部は先細りしている。受腹部は丸く仕上げる。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 骨:1mm以下の繊維 良	口 1/4		
2	157	748	中央区画 包含層	煎煮器 杯身	(12.3) — [4.5]	立ち上がりは短く高直し、肩部は丸くおさまる。立ち上がりは貼付技法。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付、静止付	[外]2.5/3/2灰 [内]2.5/3/2灰 骨:2mm以下の繊維 不良	口 1/8		
134	2	157	749	中央区画 包含層	煎煮器 有蓋高杯 (杯蓋)	(10.2) — [4.1]	立ち上がりは内傾し、肩部は丸く収める。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N6/灰 骨:1~2mmの繊維・黒色粒 良	受 1/8	
134	2	157	750	中央区画 包含層	煎煮器 有蓋高杯 (杯蓋)	(10.6) — [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、内肩部は両斜面を持つ。受部に蓋の磨痕あり。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]N5/灰 [内]N7/灰白 骨:1~2mmの黒色粒・繊維 良	口 1/4	
134	2	157	751	中央区画 包含層	煎煮器 杯身	— — [4.4]	立ち上がりは直立し、肩部は丸くおさまる。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]10/87/灰白 [内]10/87/灰白 骨:1mm以下の繊維・付繊維 不良	口 1/8 以下	
2	157	752	中央区画 底層部	煎煮器 杯身	(10.0) — [4.1]	立ち上がりは内面気味に内傾し、肩部は丸くおさまる。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]N5/灰 [内]N5/灰 骨:1mm以下の繊維 良	口 1/6		
2	157	753	中央区画 包含層	煎煮器 有蓋高杯 (杯蓋)	(11.0) — [5.4]	立ち上がりはやや内傾し、内肩部は両斜面を持つ。受部に丸く磨きの痕あり。 [外]回転付、回転付(裏、推定5方向長方形) [内]回転付	[外]10/85/1灰 [内]2.5/3/2灰 骨:0.4~1mmの繊維・付繊維 良	受 1/8		
134	2	157	754	中央区画 包含層	煎煮器 高杯 (脚部)	(9.5) — [5.4]	脚部は縁への字状に開き、煎煮器は下方に肥厚し外肩部をもつ。 [外]回転付 [内]回転付	[外]10/88/2灰 [内]10/88/1灰 骨:0.5~2mmの繊維 不良	脚 1/4	
134	2	157	755	中央区画 包含層	煎煮器 高杯 (脚部)	(8.9) — [6.4]	脚部は縁への字状に開き煎煮器は下方に直ぐて丸く収める。 [外]回転付、推定4方向長方形 [内]回転付	[外]17.5/30/灰 [内]N5/灰 骨:1~3mmの繊維 良	脚 1/8	
134	2	157	756	中央区画 包含層	煎煮器 高杯 (脚部)	(15.0) — [2.9]	煎煮器の高杯の脚部は、煎煮器は縁を外反し、ラッパ状に開く。煎煮器は下方に肥厚し外肩部をもつ。 [外]回転付、推定長方形、降灰 [内]回転付、降灰	[外]N5/灰 [内]N5/灰 骨:0.1mmの繊維・付繊維 良	脚 1/8 以下	
2	157	757	中央区画 包含層	煎煮器 罐 (口縁)	(13.0) — [3.5]	口縁部は内外面に明瞭な段を持つ二重口縁状。肩部は先細り。 [外]回転付 [内]回転付	[外]2.5/37/灰白 [内]2.5/37/灰白 骨:0.5~1mmの繊維・黒色粒・付繊維 不良	口 1/8		
2	157	758	中央区画 包含層	煎煮器 — (口縁)	— — [6.1]	口縁部は長く直線的に外傾し、肩部は先細りしている。 [外]回転付、回転付(裏) [内]回転付	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 骨:1~3mmの繊維 良	口 1/10		
134	2	157	759	中央区画 包含層	煎煮器 陶器台 (口縁)	(20.0) — [5.3]	口縁部はやや内面気味に立ち上がり、肩部付直ぐに外方に開く。口縁2条に区切られた文様帯の中に磨痕状文を配す。 [外]回転付 [内]回転付	[外]N6/灰 [内]2.5/3/1黄灰 骨:1~2mmの繊維 良	口 1/8	
134	2	157	760	中央区画 包含層	煎煮器 鉢	(9.2) — [5.6]	口縁部はやや内傾し、肩部は先細りしている。体部には波状が2条ある。 [外]回転付、沈没2条 [内]回転付	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 骨:0.5~2mmの繊維 不良	口 1/8 以下	
134	2	157	761	中央区画 包含層	土師器 鉢 (口縁)	13.4 — [9.0]	口縁部は両面、わずかに内傾し、肩部は丸く。 [外]口縁部177付、体部上半部付 [内]口縁部177付、体部上半部付	[外]17.5/30/2灰 [内]10/85/3付(黄灰) 骨:1~3mmの石質・黒石・付繊維、1mm以下の金雲母 不良	口 1/2	

表 40 土器観察表 (40)

単位:cm (推定値)【残存数】【取元値】

図号	種別	遺物番号	遺物部位	種類番号(部位)	分類	口縁底径高さ	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 産地	残存率	備考
135	2	157	762	中央区画 包含層	土師器 甕 (口部)	A2 a (16.2) — 【6.6】	口縁部は直曲・外傾し、肩部a。 【外】12.7、 【内】12.7 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/37.4/37.4 【内】7.5/37.4/37.4 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/4	
135	2	157	763	中央区画 包含層	土師器 甕 (口部)	A2 IV a (15.2) — 【7.2】	口縁部は直曲・外傾し、肩部a。 【外】横筋、 【内】口縁部12.7、底部面付 不具	【外】5/38.5/37.4 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/2	
2	157	764	中央区画 包含層	土師器 甕 (口部)	A2 e1 (11.8) — 【4.9】	口縁部は直曲・外傾し、肩部e1。 【外】縦筋、 【内】縦筋、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/8		
135	2	157	765	中央区画 包含層	土師器 甕 (口部)	A2 IV h (17.4) — 【12.2】	口縁部は直曲・外傾し、肩部h。 【外】12.7、 【内】12.7、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/37.4/37.4 【内】10/37.4/37.4 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/3	
112	2	157	766	中央区画 底層部	土師器 甕 (底)	B — 【12.8】	底部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/37.4/37.4 【内】7.5/38.5/38.5 粗:0.5~2mmの石英・長石・珪藻 不具	底 のみ	
2	157	767	中央区画 包含層	土師器 甕 (把手)	把手 ア (把手) 3.2 2 【5.8】	把手は直曲・上方への反りが強い半角状を呈し、断面直付。 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】5/38.5/38.5 【内】5/38.5/38.5 粗:0.5~1mmの石英・長石・珪藻 不具	把手 のみ		
2	157	768	中央区画 包含層	土師器 移動式甕	— 【5.4】	底面直付。 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】5/38.5/38.5 粗:0.5~2mmの石英・長石・珪藻 不具	底 のみ		
2	157	769	中央区画 底層部	白磁 甕 (底)	ウ — 【5.4】 【2.4】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/37.4/37.4 【内】10/37.4/37.4 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	底 1/4		
135	2	158	770	居間区画 包含層	東夷器 杯蓋 (口部)	④ オ 13.4 — 【4.3】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 0.6	
2	158	771	居間区画 包含層	東夷器 杯蓋 (口部)	オ 11.9 — 【3.1】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/10		
2	158	772	居間区画 包含層	東夷器 杯蓋 (口部)	④ オ 11.9 — 【3.1】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 1/8 以下		
2	158	773	居間区画 包含層	東夷器 杯蓋 (口部)	オ 11.2 — 【3.6】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1.5mm以下の珪藻 不具	受 1/10		
2	158	774	居間区画 包含層	東夷器 短甕蓋	— 【4.2】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:0.1~1mmの珪藻 不具	口 1/4		
135	2	158	775	居間区画 包含層	東夷器 広口甕 (底)	— 【7.2】 【7.2】	底面は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/38.5/38.5 【内】10/38.5/38.5 粗:0.1~1mmの珪藻 不具	底 1/4	
135	2	158	776	居間区画 包含層	土師器 高杯 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/37.4/37.4 【内】10/37.4/37.4 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・珪藻 不具	底 1/8	
2	158	777	居間区画 包含層	土師器 甕 (口部)	d1 — 【8.5】	口縁部は直曲し、肩部は内傾する。 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1.5mm以下の石英・長石・珪藻 不具	口 1/8 以下		
2	158	778	居間区画 包含層	土師器 甕 (把手)	把手 ア (把手) 3.6 3 【7.4】	把手は直曲を呈し、断面は内傾。 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】10/37.4/37.4 【内】10/38.5/38.5 粗:0.1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	把手 のみ		
2	158	779	居間区画 包含層	東夷器 甕 (口部)	— 【3.3】 【1.2】 【1.8】	口縁部は直曲し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mm以下の珪藻 不具	口 のみ		
84	—	780	14-型穴1 埋土	土師器 甕 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 のみ	写真のみ	
102	—	781	6-型穴6 SK4	土師器 甕 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 のみ	写真のみ	
128	—	782	6-型穴2 埋土	土師器 甕 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 のみ	写真のみ	
113	—	783	14-型穴4 埋土	土師器 甕 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 のみ	写真のみ	
118	—	784	14-型穴30 SK32	土師器 甕 (口部)	— 【9.6】 【6.8】	口縁部は直曲・外傾し、 【外】→、 【内】→、 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	【外】7.5/38.5/38.5 【内】7.5/38.5/38.5 粗:1~2mmの石英・長石・珪藻 不具	口 のみ	写真のみ	

表 41 土製品観察表

単位:cm (推定値) [残存値]

調査 番号	分期 番号	調査 番号	遺物 番号	遺物名 部位	種別 種別	長さ 幅 厚み	重量 (g)	形態の特徴 手法の特徴	色調 土質 構成	残存 率	備考
87	1	25	D1	8-型穴4 壇上	土製品 紡錘車	2.2 2.0 1.6	7.6	円柱形を呈し、中央に円孔(φ5mm)を穿つ。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]17.5586/6燈 善 良	完存	
87	1	143	D2	8-SB7	土製品 紡錘車	2.2 2.2 2.0	40.0	狭い円柱形を呈し、中央にφ3.5mmの円孔を穿れする。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]17.5586/6燈 善 良	完存	
	2	107	D3	29-型穴20・ 16-型穴35 壇上	土製品 輪郭口	4.2 4.9 1.6	[32.7]	志込口付近外面に高温による発泡痕あり。 [外]ナデ、発泡痕 [内]縦磨	[外]12.5587/1黄灰 [内]17.5587/4.7(燈 善 良	細片	
88	2	107	D4	29-型穴20・ 16-型穴35 壇上	土製品 土罐	1.0 0.3 (5.1)	[5.3]	管状土罐。断面は、円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]縦磨	[外]17.5586/4.7(燈 善 良	細片	
88	2	107	D5	29-型穴20・ 16-型穴35 瓶方	土製品 土罐	3.1 1.2 1.2	[4.7]	管状土罐。断面は、円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]ナデ	[外]17.5586/4.7(燈 善 良	一部 欠損	
88	2	107	D6	29-型穴20・ 16-型穴35 壇上	土製品 土罐	2.9 1.1 1.1	3.0	管状土罐。断面は、円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]ナデ	[外]17.5586/4.7(燈 善 良	完存	
87	2	116	D7	28-型穴30 カマド焼通	土製品 紡錘車	[4.4] [0.4] [2.0]	42.0	平面は円形、断面は楕円形を呈す。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]17.5587/6燈 善 良好	完存	
129	2	129	D8	32-S020 上層	土製品 銅造 (吊手)	— — [4.5]	[40.0]	釣鐘型の銅造。吊手部は中央で円形の穴を穿れする。 [外]断面は縦 [内]縦ナデ	[外]17.5585/4.7(燈 [内]17.5585/6明燭 善 良	吊手 のみ	
	2	133	D9	33-S01 上層	土製品 平瓦	[11.4] [10.3] 2.1	[258.8]	縦縁は2辺面取りを行う。 [断面]縦磨 [凸面]縦目タタキ	[断面]10YR8/2灰白 [凸面]10YR8/2灰白 善 不良	細片	
	2	157	D10	河辺区画 包含新	土製品 平瓦	[10.1] [8.9] 2.4	[249.0]	瓦の体部片。 [断面]和目 [凸面]斜格子目叩き	[断面]10YR6/6明黄 陶 [凸面]10YR4/1黄灰 善 良	細片	

表 42 玉頸観察表

単位:mm (推定値) [残存値]

国史 番号	分 類 番号	遺物 番号	遺物名 部位	機種	石材	法量 (mm)				備考
						長さ	直径	孔の最小径	重量(g)	
88	1	36	S8	10-型穴90 埋土	白玉	滑石	[2.0]	4.5	[1.5]	1.0
88	1	43	S10	3-型穴45 床面直上	碧玉	滑石	[8.0]	(8.0)	[1.0]	3.0
88	1	60	S13	4-型穴90埋 床面直上	白玉	滑石	[3.0]	5.0	[2.0]	1.0
88	1	67	S14	3-型穴108 床面直上	白玉	碧玉	4.0	4.5	1.5	2.0
88	1	73	S18	21-型穴108埋 土	白玉	滑石	4.0	6.0	2.0	2.0
	1	87	S22	6-型穴3 埋土	白玉	滑石	[1.0]	4.0	[1.0]	1.0g 未満
88	1	96	S23	10-型穴50 埋土	白玉	滑石	6.5	7.0	2.5	4.0
88	1	99	S24	10-型穴30 埋土	白玉	滑石	[4.0]	4.0	[2.0]	1.0
	1	108	S25	3-型穴50 埋土	白玉	滑石	[3.0]	5.0	[2.0]	1.0
88	1	125	S26	10-版立1 S199	白玉	滑石	4.0	6.5	2.0	2.0
88	1	129	S27	4-版立1	ガラス玉	ガラス	7.0	9.0	2.0	9.0
	2	7	S34	14・27-型穴22 床面直上	白玉	滑石	[2.0]	[4.5]	[2.0]	1.0g 未満
88	2	42	S39	14-型穴23 床面直上	白玉	滑石	3.0	5.5	1.5	1.0g 未満
88	2	42	S40	14-型穴23 床面直上	白玉	滑石	[3.5]	5.0	[2.5]	1.0
88	2	42	S41	14-型穴23 床面直上	白玉	滑石	3.0	5.0	1.5	[1.0]
88	2	42	S42	14-型穴23 床面直上	白玉	滑石	[3.0]	4.5	[1.5]	1.0g 未満
88	2	42	S43	14-型穴23 床面直上	碧玉	滑石	[11.0]	[5.0]	[1.5]	2.0
88	2	54	S44	27-型穴130 埋土	白玉	滑石	1.5	5.0	1.5	1.0
	2	107	S48	29-型穴30埋 床面直上	白玉	滑石	3.0	[4.0]	1.0	1.0
88	2	147	S52	29-SK13	勾玉	滑石	4.1	2.8	5.0	8.2
88	2	158	S80	中央区画 勾玉類	白玉	滑石	[3.0]	5.0	2.0	1.0
88	2	158	S61	足部区画 視見	碧玉 (未製品)	滑石	[22.5]	7.0	-	17.0

表 43 石器・石製品観察表

単位:cm (推定値) [残存値]

国別 番号	分類 番号	遺物 番号	遺物名 部位	種類	石材	測量(cm)				備考	
						最大長	最大幅	最大厚	重量(g)		
87	1	13	S1	6-型穴1 堆土	砥石・台石	砂岩	28.5	11.2	6.8	3200.0	
87	1	18	S2	6-型穴7 両側溝	磨石	不明	14.1	9.4	6.5	1680	
87	1	21	S3	6-型穴1 床面直上	石皿	砂岩	29.7	19.1	8.1	5400.0	
87	1	25	S4	8-型穴4 床面直上	紡錘車	滑石	4.3	4.25	1.5	36.2	円盤台の形状で、中央に径0.7cmの円孔を穿つ。側面に 縦突文をランダムに20ヶ程度施す。
	1	25	S5	8-型穴4 堆土	R F	サヌカイト	3.8	3.4	0.6	9.0	
87	1	25	S6	8-型穴4 床面直上	砥石	砂岩	33.2	17.1	7.3	6996.0	
	1	25	S7	8-型穴4 床面直上	砥石	梁山岩	27.8	12.8	11.7	6250.0	
	1	43	S9	3-型穴45 堆土	R F	サヌカイト	2.6	2.1	0.55	3.1	
87	1	48	S11	10-型穴110 床面直上	石皿	砂岩	38.0	29.0	8.5	12350.0	
87	1	48	S12	10-型穴110 床面直上	石皿	砂岩	29.9	33.4	13.6	17350.0	
87	1	67	S15	3-型穴108 床面直上	石櫛?	結晶片岩	18.8	5.2	5.4	1680.0	
87	1	70	S16	4-型穴30 堆土	砥石	流紋岩?	5.5	3.1	1.2	26.3	
	1	70	S17	4-型穴30 堆土	R F	サヌカイト	4.0	3.2	0.5	9	
87	1	73	S19	21-型穴18他 床面直上	石皿	砂岩	23.3	19.2	5.9	4300.0	
87	1	83	S20	3-型穴40 堆土	石櫛	結晶片岩	8.6	4.9	3.9	280.0	
86 87	1	87	S21	6-型穴3 堆土	紡錘車	滑石	3.5	3.45	1.8	29.7	円盤台の形状で中央に径0.65cmの円孔を穿つ。側面と 下面に縦横突文を施す。
	1	132	S28	10-型穴3 SF20	砥石	砂岩	16.6	12.6	8.4	2310.0	
104	1	151	S29	45-型1	砥石		32.2	13.9	9.4	6350.0	
87	1	155	S30	9-S205 最下層	石櫛	サヌカイト	1.4	1.25	0.25	0.3	円盤式
	1	176	S31	10-SK207	MF	サヌカイト	4.2	6.5	0.5	11.9	
	1	186	S32	11-S35	削片	サヌカイト	[2.7]	[2.3]	[0.5]	2.8	使用痕あり
84	2	4	S33	14-型穴1 床面直上	台石	砂岩	18.6	19.5	9.7	6710.0	
	2	19	S35	14-型穴25 堆土	MF	サヌカイト	6.4	3.8	1.0	26.9	
87	2	22	S36	14-型穴26 床面直上	砥石		7.6	4.0	2.5	85.6	
87	2	39	S37	14-型穴30 堆土	打製石斧	サヌカイト	4.75	5.2	1.05	27.7	
87	2	39	S38	14-型穴30 SK31	砥石・台石	砂岩	23.0	12.2	5.4	2610.0	同一型穴建物内のSK33と接合
87	2	82	S45	14・27-SB70 中層	磨石	不明	11.5	7.6	5.4	785.1	全面磨滅
87	2	96	S46	14-S2249	スクレイパー	サヌカイト	3.1	4.6	0.7	9.4	二重風化
88	2	104	S47	29-型穴80 SP1	石孔円盤	滑石	2.05	2.15	4.0	2.7	ほぼ円形を呈する。全面を丁寧に研磨し、中央に2ヶ 所、径0.2cmの円孔を穿つ。
87	2	113	S49	29-型穴3 床面直上	石皿	砂岩	27.8	21.5	96.0	4700.0	
87	2	129	S50	32-SB20 上層	玉石	不明	8.9	6.1	6.15	510.4	
	2	138	S51	32-SB1	スクレイパー	サヌカイト	3.9	4.0	0.7	11.7	
87	2	158	S53	中央区画 直線掘削	火打石	チャート	1.8	2.0	1.85	5.1	
87	2	158	S54	中央区画 包合層	火打石	チャート	1.3	2.0	1.0	2.7	
87	2	158	S55	周辺区画 表層	火打石	チャート (青緑色)	1.2	1.9	0.5	1.3	
87	2	158	S56	周辺区画 表層	火打石	チャート (青緑色)	1.5	1.9	0.6	1.7	
87	2	158	S57	中央区画 包合層	石櫛	サヌカイト	2.8	1.2	0.4	0.9	円盤式
	2	158	S58	中央区画 包合層	削片	サヌカイト	3.7	3.2	0.35	4.2	表面全体に使用痕あり
	2	158	S59	中央区画 直線掘削	楔形石器	サヌカイト	4.7	5.4	1.3	31.9	
87	-	S62	12-SB35	火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ	
87	-	S63	12-SB35	火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ	
87	-	S64	12-SB35	火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ	
87	-	S65	中央区画 包合層	石櫛	サヌカイト	-	-	-	-	写真のみ	

表 44 金属製品・鉄製品観察表

単位:cm (推定値) [現存額] 【復元額】

国庫 番号	分庫 番号	遺物 番号	遺構名 層位	種類	機種	寸法 (cm)				形態・手法の特徴		
						最大長	最大幅	厚み	重量(g)			
133	2	156	M1	29-SF5	銅製品	古銭	2.5	2.4	[0.1]	1未測	両面とも表面が剥離して、字体は不明。	
	2	158	M2	周辺区画表層	鉛	彈丸	5.1	1.3	1.3	31.6	彈芯	
	1	15	T1	6・23-型穴8床面直上	鉄製品	刀子?	[3.6]	1.3	0.3	2.8	刀子の頭～基部か?刃部をもつ。	
	1	28	T2	3-型穴58面直上	鉄製品	棒状鉄片	[2.6]	[1.1]	0.5	4.1	折れ曲がっている。	
	1	43	T3	3-型穴45床面直上	鉄製品	棒状鉄片	[3.7]	1.0	0.4	4.1		
88	1	43	T4	3-型穴45床面直上	鉄製品	鉄線	[5.2]	[3.1]	0.4	12.6	切先と基部は欠損しており、全体の形状は不明である。断面では全体的に扁平で、刃部はわずかに尖細りしている。	
	1	48	T5	10-型穴110カマド	鉄製品	鉄浮	[2.8]	[1.6]	1.45	5.7	発泡剤あり。メタル痕なし。	
	1	67	T6	3-型穴108床直上	鉄製品	刀子(茎)	[3.7]	[1.65]	0.35	5.8	刀子の頭～基部か?	
	1	70	T7	4-型穴30面直上	鉄製品	不定形鉄片	[2.2]	[3.6]	0.9	15.7	折れ曲がっている。断面は長方形を呈し、やや厚手。	
	1	73	T8	21-型穴18面直上	鉄製品	棒状鉄片	[8.7]	[1.05]	0.45	18.7		
88	1	73	T9	21-型穴18面直上	鉄製品	釘	3.6	0.45	0.4	1.5	丸釘	
	1	80	T10	10-型穴210床直上	鉄製品	鉄浮	[3.3]	[2.6]	1.8	17.3	酸化土砂薄く付着。木質痕あり。	
88	1	83	T11	3-型穴40床直上	鉄製品	錠?	[16.05]	1.2	0.8	36.7	折り曲げ鉄器の可能性あり。	
	1	83	T12	3-型穴40床直上	鉄製品	棒状鉄片	[4.8]	0.8	0.35	5.9		
	1	83	T13	3-型穴40床直上	鉄製品	棒状鉄片	[3.8]	0.8	0.35	3.6		
88	1	83	T14	3-型穴40床直上	鉄製品	棒状鉄片	[14.55]	0.8	0.7	22.6	棒状の鉄器?	
	1	87	T15	6-型穴3面直上	鉄製品	棒状鉄片	[4.9]	0.6	0.45	3.8	折れ曲がっている。	
	1	90	T16	21-型穴8面直上	鉄製品	不定形鉄片	(2.8)	(5.2)	(14.5)	0.6	2	断面は厚手。
88	1	94	T17	10-型穴301床面直上	鉄製品	鉄線	[18.55]	3.35	0.5	79.1	背面部は直線的で、刃部は曲角。基部は折り返している。断面はやや膨らみのある二等辺三角形を呈す。	
88	1	108	T18	3-型穴50床直上	鉄器	鉄線	[4.9]	[1.9]	0.45	7.7	棒状三角形断面である。逆側部と切先、基部は欠損している。断面はほぼ直線で、基部断面は方形である。	
	1	158	T19	12-SB5	鉄製品	丸釘	[11.4]	0.7	0.8	9.5	丸釘、大型品	
	1	170	T20	24-SK2	鉄製品	棒状鉄片	[4.2]	0.4	0.35	3.6		
88	2	32	T21	14-型穴21床直上	鉄器	鉄線	[14.0]	0.7	0.4	19.4	長細形である。断面は長三角形を呈す。刃部は片減りしている。基部は欠損している。	
	2	34	T22	14-型穴2床直上	鉄製品	鉄浮	[7.6]	[6.6]	2.7	174.1	木質痕(1ヶ)、発泡剤あり。メタル痕なし。	
88	2	39	T23	14-型穴30床直上	鉄製品	刀子	10.55	2.1	a=0.3 b=1.65 c=0.6	42.2	ほぼ全体が残っており、刃部長7.4cm、茎長3.6cmを測る。両面直角。茎には径2.0cm、幅1.5cmの木質が接着されている。	
	2	51	T24	14-型穴12床面直上	鉄製品	鉄浮	[2.85]	[2.3]	2.45	18.0	酸化土砂付着。	
88	2	82	T25	14・27-SB7上層	鉄製品	釣針	[2.3]	[1.35]	0.3	2.4	小型「し」の字状の単式釣針である。針先に鋭は無し。	
	2	82	T26	14・27-SB7上層	鉄製品	棒状鉄片	[3.85]	0.6	0.3	2.5		
	2	93	T27	14-SB378	鉄製品	棒状鉄片	[4.7]	[0.7]	0.4	3.2		
	2	158	T28	中央区画包含層	鉄製品	刀子	[7.9]	1.65	0.6	28.3	小型品で、切先・基部を欠く。片側でなで封閉。刃部をもつ。	
	2	158	T29	寄附区画包含層	鉄製品	鉄浮	[4.9]	[3.2]	1.1	24.5	酸化土砂薄く付着。木質痕、発泡剤あり。メタル痕なし。	
88	2	158	T30	中央区画包含層	鉄製品	鉄線	[13.55]	[3.8]	0.35	64.8	背面部、刃部ともに直線的で、切先と基部は欠損している。断面は扁平である。	
88	2	158	T31	中央区画包含層	鉄製品	大釘金or三角鉄片	3.6	(7.7)	0.6	48.4		
	2	158	T32	中央区画包含層	鉄製品	釘	[5.7]	0.8	0.7	3.8	丸釘	
	2	158	T33	信越区画包含層	鉄製品	釘	[3.8]	0.6	0.3	1.7	角釘	
88	-	T34	10-SF14	鉄製品	不明	-	-	-	-	-	写真のみ	



第3～6調査区 全景（北東から）



第3～6調査区 全景（南西から）



第3・4調査区 全景（北東から）



第6・7調査区 作業風景（北西から）



第7調査区 全景（北東から）



第8・9調査区 全景（北東から）



第11調査区 全景（南西から）



第10調査区 西半全景（南西から）



第10調査区 東半全景（東から）



第12調査区 全景（南から）



第13調査区 全景（東から）



第20調査区 全景（東から）



第21調査区 全景（北から）



第22調査区 全景（北から）



第 23 調査区 全景（北から）



第 24 調査区 全景（北から）



9-SD205 全景（南から）



第42調査区 全景（南から）



第43調査区 全景（南から）



第44調査区 全景（南から）



第45調査区 全景（南から）



7-竪穴5 (北西から)



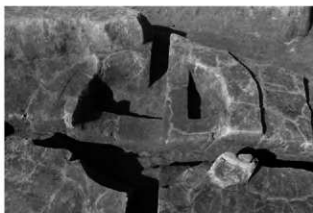
42-竪穴5 (南西から)



6-竪穴8 (南東から)



6-竪穴8 遺物出土状況 (南から)



6-竪穴8 カマド完掘状況 (南から)



6-竪穴7 (南から)



6-竪穴7 カマド遺物出土状況 (南から)



6-竪穴7 カマド完掘状況 (南から)



23- 竪穴8 (南東から)



8- 竪穴1 (南から)



8- 竪穴1 遺物出土状況 (南から)



8- 竪穴1 カマド完掘状況 (南から)



8- 竪穴4 (東から)



8- 竪穴4 カマド遺物出土状況 (南から)



8- 竪穴4 カマド完掘状況 (南から)



8- 竪穴4 遺物出土状況 (西から)



3- 竪穴 55・竪穴 35 (南西から)



3- 竪穴 55 カマド遺物出土状況 (南から)



6- 竪穴 6 (南から)



23- 竪穴 6 (南から)



6- 竪穴 6 カマド完掘状況 (南から)



23- 竪穴 6 SK 3 遺物出土状況 (南から)



21- 竪穴 10 (東から)



6- 竪穴 1 (東から)



10- 竪穴 90 (西から)



10- 竪穴 90 カマド完掘状況 (南から)



3- 竪穴 45 (南東から)



3- 竪穴 45 カマド遺物出土状況 (南から)



3- 竪穴 45 遺物出土状況 (北西から)



3- 竪穴 45 遺物出土状況 (南西から)



6- 竪穴 2 (南から)



6- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 110 (東から)



10- 竪穴 110 カマド遺物出土状況 (南から)



10- 竪穴 110 北西部遺物出土状況 (北から)



45- 竪穴 5 (南から)



10- 竪穴 201 (南から)



10- 竪穴 201 カマド完掘状況 (南から)



6- 竪穴 9 (南東から)



6- 竪穴 9 カマド完掘状況 (南から)



7- 竪穴 7 (北東から)



24- 竪穴 7 (南東から)



7- 竪穴 7 カマド完掘状況 (南から)



8- 竪穴 2 (南から)



8- 竪穴 2 カマド断面 (南から)



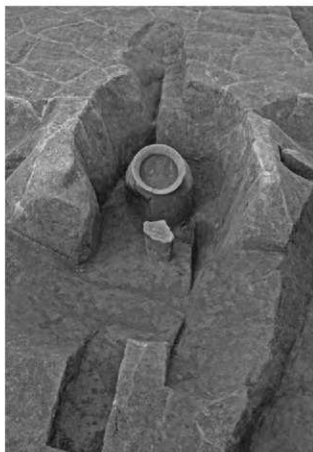
21- 竪穴 20 (南から)



21- 竪穴 20 カマド完掘状況 (南から)



5-竪穴30 (南から)



5-竪穴30 カマド遺物出土状況 (南から)



22-竪穴7 (西から)



10-竪穴310 掘方 (南から)



10-竪穴310 カマド遺物出土状況 (南から)



4-竪穴99 (東から)



10-SK 2 (東から)



3- 竪穴 108 (南東から)



3- 竪穴 108 カマド完掘状況 (南東から)



22- 竪穴 6 (南から)



4- 竪穴 30 (南西から)



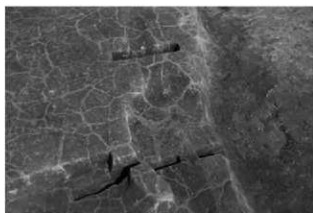
4- 竪穴 18 (南西から)



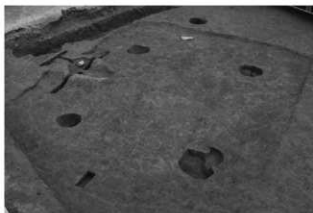
21- 竪穴 18 (南東から)



3- 竪穴 35 (南東から)



21- 竪穴 18 カマド完掘状況 (南から)



5- 竪穴 1 (南西から)



5- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



6- 竪穴 3・40 (南東から)



6- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



3- 竪穴 110・4- 竪穴 122 (南から)



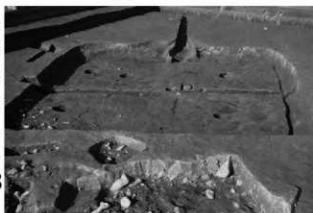
3- 竪穴 34 (南東から)



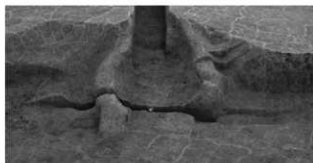
21- 竪穴 8 (南東から)



21- 竪穴 8 カマド完掘状況 (南東から)



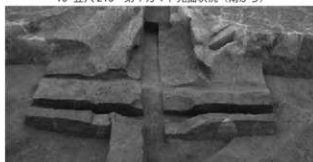
10- 竪穴 210 第1生活面 (南から)



10- 竪穴 210 第1カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 210 第2生活面 (南から)



10- 竪穴 210 第2カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 210 須恵器杯蓋 (210) 出土状況 (北から)



3- 竪穴 40 (東から)



3- 竪穴 40 カマド完掘状況 (南から)



23- 竪穴 5 (南東から)



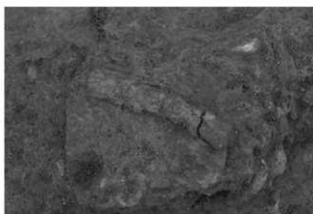
5-SP51 土師器甕 (204) 出土状況 (東から)



10- 竪穴 301 (南から)



10- 竪穴 301 カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 301 鉄鏝 (T17) 出土状況 (南から)



4- 竪穴 91 (南から)



10- 竪穴 50 + 30 (南東から)



10- 竪穴 50 カマド完掘状況 (南東から)



10- 竪穴 50 須恵器台付壺 (255) 出土状況 (北から)



10- 竪穴 50 北東隅遺物出土状況 (北から)



10- 竪穴 60 (北から)



10- 竪穴 60 カマド完掘状況 (南から)



5- 竪穴 35 (南東から)



24- 竪穴 1 (南から)



10- 竪穴 1 (南東から)



10- 竪穴 1 カマド断面 (東から)



21- 竪穴 2 (南から)



21- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)



3-竪穴 50 (南西から)



3-竪穴 50 カマド調査時状況 (南から)



22-竪穴 1 (南から)



22-竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



5-掘立 1 (南東から)



5-掘立 1 (南東から)



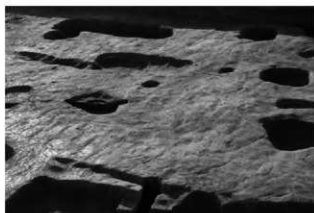
22-掘立 1 (北西から)



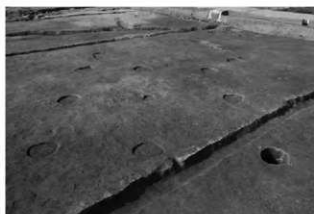
22-掘立 1 (北西から)



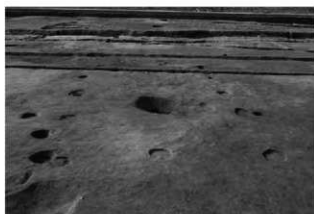
6-掘立1 (南西から)



6-掘立1 (東から)



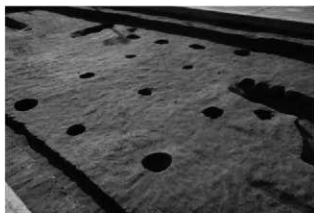
9-掘立1 (南東から)



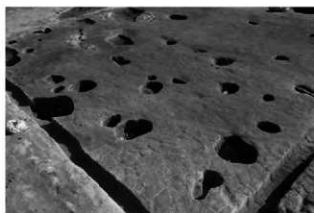
9-掘立2 (東から)



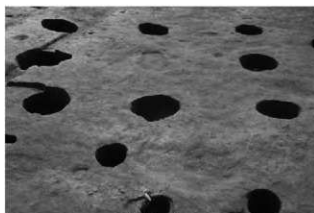
7-掘立1 (北から)



7-掘立2 (北東から)



10-掘立2 (北西から)



10-掘立1 (北から)



4-掘立1 (西から)



4-掘立1 SP33 断面 (北西から)



4-掘立1 SP34 断面 (南から)



4-掘立1 SP41 断面 (南西から)



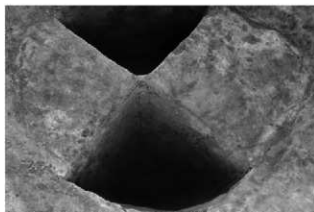
4-掘立1 SP42 断面 (西から)



4-掘立1 SP81 断面 (北から)



4-掘立1 SP39 断面 (北から)



4-掘立1 SP36 断面 (北東から)



4-掘立1 SP37 断面(東から)



4-掘立1 SP38 断面(北から)



10-掘立3 (北西から)



12-掘立1 (東から)



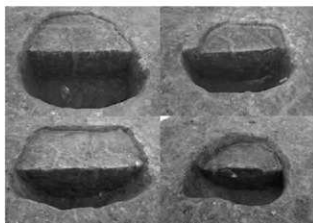
12-掘立2 (東から)



3-櫓列1 (北東から)



11-櫓列1 (東から)



5-櫓列1 断面(南から)



4-SD 3 断面 (東から)



3-SD 1 断面 (東から)



4-SD 3 遺物出土状況 (南から)



4-SD 3 遺物出土状況 (南から)



3・4-SD23 断面 (南西から)



5-SD49 断面 (南東から)



5-SD52 断面 (北西から)



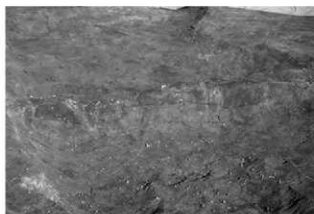
7-SD 1 断面 (東から)



6-SD11 a断面(南東から)



23-SD11 d断面(西から)



8-SD 5 ①断面(南西から)



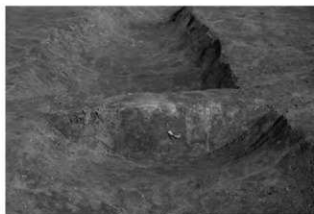
9-SD 5 ②断面(南西から)



8-SD 3 ①断面(北東から)



8-SD 6 a断面(南から)



8-SD 6 c断面(南から)



8-SD 6 d断面(北から)



8-SD 7 断面 (東から)



8-SD 7 遺物出土状況 (西から)



9-SD 6 a 断面 (北から)



9-SD 6 c 断面 (北から)



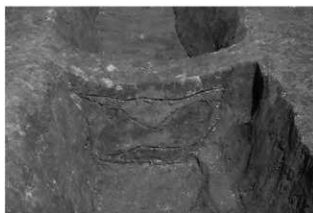
9-SD 6 全景 (南東から)



9-SD200 a 断面 (南から)



9-SD200 b 断面 (南から)



9-SD110 b 断面 (南から)



9-SD115 断面 (北から)



9-SD216 断面 (南から)



9-SD222 断面 (西から)



9-SD117 b 断面 (南西から)



9-SD117 c 断面 (南から)



9-SD117 d 断面 (南から)



9-SD117 全景 (北から)



9-SD117 遺物出土状況 (東から)



11-SD 7 b 断面 (西から)



11-SD 7 c 断面 (東から)



45-SD 4 断面 (西から)



10-SD202 断面 (北から)



10-SD216 断面 (東から)



11-SD12 c 断面 (南から)



11-SD 9 b 断面 (南西から)



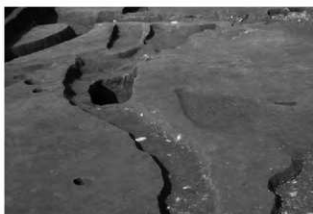
11-SD 8 a 断面 (北西から)



12-SD22 断面 (北から)



12-SD25 断面 (北から)



12-SD26 完掘状況 (南から)



12-SD26 b 断面 (北から)



9-SD205 a 断面 (南から)



9-SD205 b 断面 (南から)



9-SD205 c 断面 (南から)



9-SD205 d 断面 (南から)



9-SD205 e断面 (南から)



9-SD205 f断面 (南から)



9-SD205 完掘状況 (南から)



11-SD 2 断面 (南から)



11-SD 1 断面 (南から)



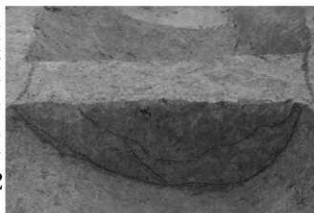
11-SD 3 断面 (南から)



11-SD 4 断面 (南から)



13-SD 1 断面 (東から)



13-SD 2 a 断面 (東から)



13-SD 2 b 断面 (東から)



13-SD 3 a 断面 (東から)



13-SD 3 b 断面 (東から)



3-SK 3 断面 (西から)



3-SK28 断面 (南から)



3-SK102 断面 (南西から)



3-SK29 断面 (西から)



3-SK101 断面（南から）



3-SK106・107 断面（西から）



3-SK137 断面（西から）



4-SK100 断面（西から）



21-SK19 断面（南東から）



4-SK25 断面（西から）



4-SK102 断面（西から）



4-SK105 断面（南から）



21-SK 1 断面(北から)



4-SK107 断面(西から)



4-SK50 断面(南から)



4-SK120 断面(西から)



21-SK 7 断面(西から)



5-SK11 断面(南から)



4-SK 2 断面(北から)



4-SK 2 遺物出土状況(南から)



5-SK67 断面（南西から）



5-SK68 断面（西から）



5-SK53 断面（東から）



22-SK 2 断面（北西から）



6-SK12 断面（南東から）



6-SK15 断面（南から）



6-SK45 断面（南東から）



6-SK39 断面（南東から）



6-SK14 断面 (北西から)



6-SK10 断面 (東から)



6-SK18 断面 (南から)



24-SK 5 断面 (南西から)



24-SK 6 断面 (南から)



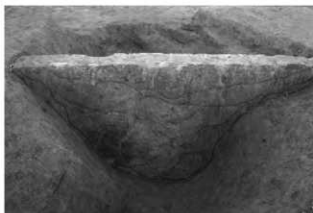
6-SK24 断面 (南から)



6-SK29 断面 (南から)



23-SK 1 断面 (西から)



24-SK25 断面 (西から)



24-SK13 断面 (西から)



24-SK14 断面 (南から)



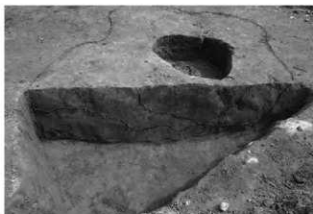
24-SK 2 断面 (西から)



6-SK46 断面 (北東から)



24-SK 8 断面 (東から)



24-SK11 断面 (北西から)



6-SK13 断面 (東から)



24-SK10 断面 (西から)



7-SK 6 断面 (南東から)



7-SK28 断面 (東から)



7-SK33 断面 (北から)



7-SK48 断面 (東から)



7-SK13 断面 (東から)



8-SK 8 断面 (西から)



8-SK16 断面 (東から)



9-SK 1 断面 (南から)



9-SK 2 断面 (南から)



9-SK 4 断面 (西から)



9-SK40 断面 (南西から)



43-SK 2 断面 (東から)



9-SK 5 断面 (北東から)



9-SK106 断面 (南から)



9-SK202 断面 (東から)



9-SK207 断面 (西から)



9-SK219 断面 (西から)



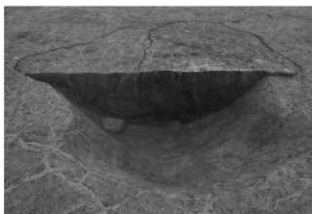
10-SK 3 断面 (東から)



10-SK55 断面 (北から)



10-SK10 断面 (南東から)



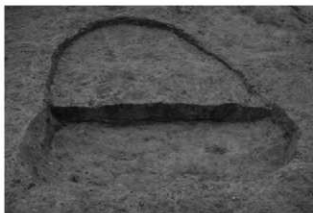
10-SK31 断面 (北から)



10-SK57 断面 (北西から)



10-SK52 断面 (南から)



10-SK58 断面 (南から)



10-SK106 断面 (東から)



10-SK111 a 断面 (西から)



10-SK124 b 断面 (南から)



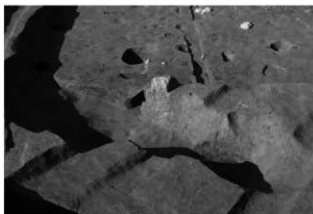
10-SK112 断面 (南から)



10-SK112 (西から)



10-SK128 断面 (南から)



10-SK207 全景 (南から)



10-SK207 断面（西から）



10-SK132 断面（北西から）



10-SK208 断面（北から）



10-SK311 断面（北東から）



10-SK312 断面（東から）



11-SK 6 断面（東から）



11-SK11 断面（南から）



11-SK29 断面（南東から）



11-SK30 断面 (南から)



11-SK15 断面 (南から)



11-SK31 断面 (東から)



12-SK 8 断面 (東から)



12-SK42 断面 (南東から)



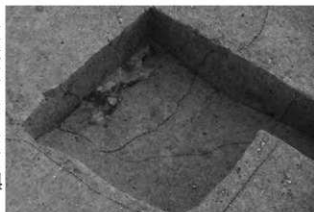
12-SK 1 断面 (南から)



12-SK 2 断面 (東から)



13-SK 6 断面 (西から)



13-SK 4 断面 (北西から)



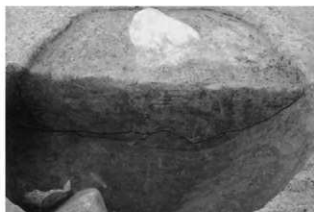
13-SK 4 全景 (南から)



13-SK12 断面 (南から)



13-SK12 遺物出土状況 (南から)



20-SK 7 断面 (南から)



20-SK10 断面 (南から)



9-SK 7 断面 (南西から)



9-SK126 断面 (南東から)



第14調査区 全景1回目（南西から）



第14調査区 全景2回目（北西から）



第 14 調査区 全景 3 回目（北西から）



第 27 調査区 全景（北から）



第 27 調査区 南半全景（北から）



14- 竪穴 1 （南西から）



14- 竪穴 1 カマド完掘状況（南西から）



14- 竪穴 2 （南西から）



14- 竪穴 2 カマド完掘状況（南から）



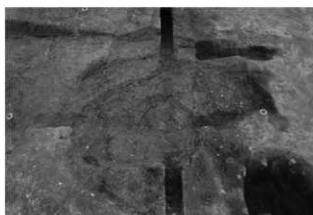
14- 竪穴 4 (東から)



14- 竪穴 4 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 5 (南から)



14- 竪穴 5 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 12 (南東から)



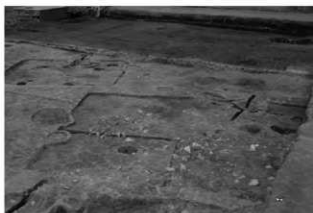
14- 竪穴 12 カマド完掘状況 (南から)



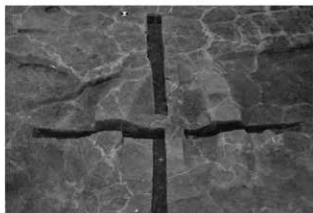
14- 竪穴 15 (南東から)



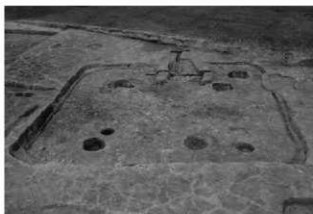
14- 竪穴 15 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 16 (南東から)



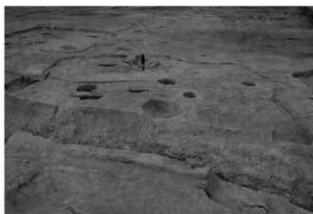
14- 竪穴 16 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 18 (南から)



14- 竪穴 18 カマド完掘状況 (南東から)



14- 竪穴 19 (南から)



14- 竪穴 19 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 20 (南西から)



14- 竪穴 22 (南から)



14- 竪穴 21 (南東から)



14- 竪穴 21 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 23 (南東から)



14- 竪穴 23 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 24 (南東から)



14- 竪穴 10 (南から)



14- 竪穴 26 (南西から)



14- 竪穴 25・26・28・29・31 (北東から)



14- 竪穴 29 (南東から)



14- 竪穴 29 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 30 (南から)



14- 竪穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)



14- 竪穴 32 (南から)



14- 竪穴 40 (南西から)



27- 竪穴 1 (南東から)



27- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



27- 竪穴 2 (南東から)



27- 竪穴 2 カマド遺物出土状況 (南から)



27- 竪穴 3 (南から)



27- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



27- 竪穴 130 (北東から)



27- 竪穴 140 (北東から)



14- 掘立 1 (南東から)



14- 掘立 10 (南東から)



14-掘立3 (西から)



14-掘立6 (東から)



14-掘立7 (東から)



27-掘立16 (南から)



14-掘立2 (西から)



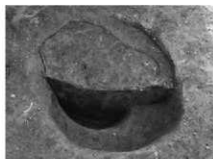
27-掘立1 断面(南から)



14-掘立11 SP418 遺物出土状況(東から)



14-掘立14 SP383 断面(南から)



14-掘立9 SP291 断面(東から)



14-掘立9 SP292 断面(東から)



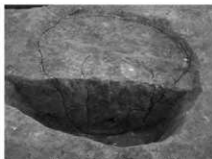
14-掘立9 SP293 断面(東から)



14-掘立9 SP289 断面(西から)



14-掘立9 SP295 断面(西から)



14-掘立9 SP294 断面(西から)



14-SD 1 c断面 (東から)



14-SD 2 a断面 (東から)



14-SD 1・2 b断面 (南から)



14-SD 3 断面 (東から)



14-SD46 断面 (東から)



14-SD53 断面 (東から)



14-SD60 a断面 (西から)



14-SD60 b断面 (西から)



14-SD39 a 断面 (西から)



14-SD39 b 断面 (西から)



14-SD39 全景 (東から)



27-SD139 全景 (東から)



14-SD29 断面 (東から)



14-SD70 a 断面 (西から)



14-SD70 b 断面 (西から)



14-SD70 c 断面 (西から)



14-SD70 d断面 (西から)



14-SD70 e断面 (北から)



14-SD70 f断面 (南から)



14-SD70 g断面 (南から)



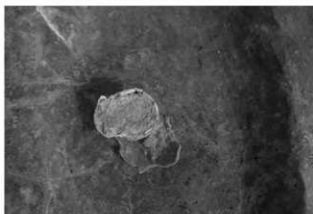
14-SD70 (南西から)



14-SD380 a断面 (南から)



27-SD12 断面 (西から)



27-SD12 遺物出土状況 (東から)



14-SK55 断面 (北西から)



14-SK5 断面 (南から)



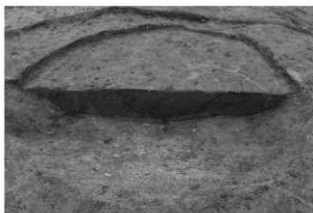
14-SK22 断面 (東から)



14-SK24 断面 (南から)



14-SK52 断面 (南から)



14-SK54 断面（南西から）



14-SK57 断面（西から）



14-SK77 断面（北から）



14-SK80 断面（東から）



14-SK84 断面（西から）



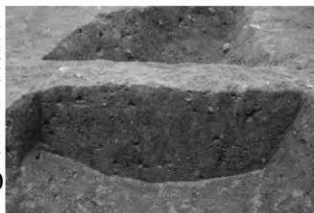
14-SK98 断面（東から）



14-SK155 断面（西から）



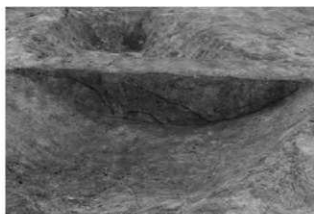
14-SK160 断面（東から）



14-SK176 断面（東から）



14-SK180 断面（北西から）



14-SK234 断面（南から）



14-SK238 断面（南西から）



14-SK229 断面（南から）



14-SK235 断面（北から）



14-SK260 断面（北東から）



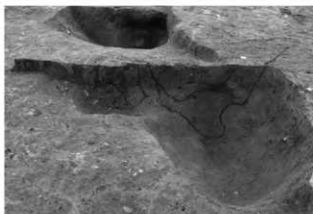
14-SK272 断面（南西から）



14-SK275 断面（南東から）



14-SK278 断面（南東から）



14-SK284・285 断面（東から）



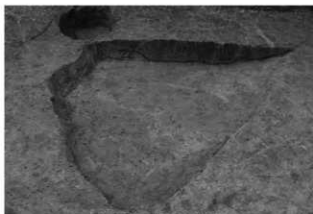
14-SK286 断面（西から）



14-SK319 断面（西から）



14-SK288 断面（東から）



14-SK322 断面（南から）



14-SK324 断面（西から）



14-SK325 断面（南から）



14-SK378 断面（南から）



14-SK399 断面（南東から）



14-SK401 断面（南から）



14-SK404 断面（西から）



14-SK406 断面（南から）



14-SK407 断面（西から）



14-SK410 断面（西から）



第28調査区 全景（南から）



28- 竪穴4・30（南から）



28- 竪穴4 カマド完掘状況（西から）



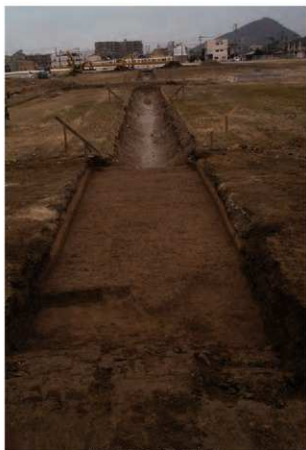
第 29 調査区 東半全景 (東から)



第 29 調査区 西半全景 (東から)



第 36 調査区 全景 (東から)



第 47 調査区 全景 (西から)



第30調査区 全景（北東から）



第30調査区 追加全景（北から）



第31調査区 全景（北から）



第 34 調査区 全景（南から）



第 32 調査区 西半全景（西から）



第 32 調査区 東半全景（北東から）



第 35 調査区 全景（北東から）



第 33 調査区 全景（東から）



第 37 調査区 全景（北から）



第 38 調査区 全景（東から）



第 40 調査区 全景（南東から）



第 46 調査区 全景（南西から）



第 39 調査区 全景（北から）



第 41 調査区 全景（南から）



28- 竪穴 1 (南から)



28- 竪穴 30 カマド完掘状況 (南から)



28- 竪穴 3 (南から)



28- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



28- 竪穴 6 (南から)



29- 竪穴 50 (北から)



29- 竪穴 20 (東から)



29- 竪穴 20 カマド完掘状況 (北から)



29- 竪穴 30 (西から)



46- 竪穴 35 (南西から)



46- 竪穴 12 (南から)



46- 竪穴 1 (南から)



46- 竪穴 5 (北から)



41- 竪穴 3・4 (南から)



36- 竪穴 12 (南西から)



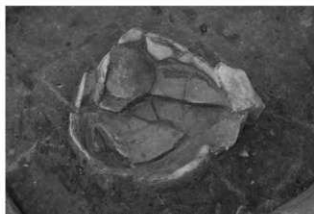
29- 竪穴 45 遺物出土状況 (北から)



29- 竪穴 80 (北西から)



29- 竪穴 80 西側カマド完掘状況 (南から)



29- 竪穴 80 遺物出土状況 (南から)



29- 竪穴 80 東側カマド完掘状況 (南から)



41- 竪穴 1 断面 (西から)



30-SD2 断面（北から）



30-SD7 断面（南西から）



30-SD6 断面（北から）



29-SD35 断面（東から）



29-SD64 断面（東から）



29-SD10 断面（南から）



31-SD1 断面（東から）



32-SD20 断面（北から）



32-SD20 遺物出土状況 (南から)



36-SD10 断面 (南から)



33-SD1・2 断面 (北東から)



41-SD1 断面 (西から)



41-SD1 (東から)



39-SD1 断面 (西から)



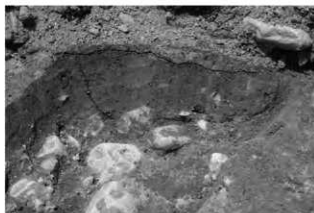
28-SD22 断面 (東から)



32-SD1 断面 (南から)



32-SD10 断面 (北から)



34-SD2 断面 (南から)



36-SD1 断面 (南から)



36-SD2 a 断面 (西から)



36-SD2 b 断面 (西から)



36-SD2 c 断面 (西から)



36-SD4 断面 (南から)



36-SD3 断面 (南から)



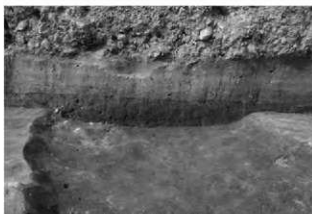
36-SD5 断面 (南から)



36-SD6 断面 (南から)



36-SD7 断面 (南から)



36-SD8 断面 (南から)



36-SD9 断面 (南から)



36-SD11 断面 (南から)



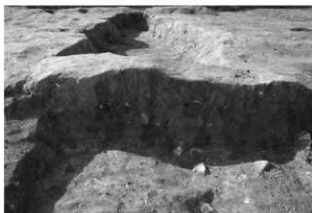
38-SD1 断面 (南西から)



38-SD2 断面 (南西から)



38-SD3 断面 (南から)



41-SD2 断面 (東から)



46-SD3・4 断面 (南東から)



47-SD1 断面 (南から)



28-SK5 断面 (南から)



29-SK1 断面 (北から)



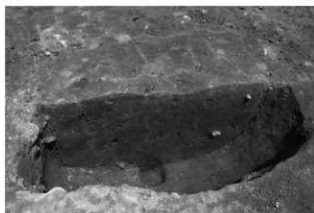
29-SK11 断面 (北から)



29-SK12 断面 (南から)



29-SK14 断面 (南から)



29-SK15 断面 (南から)



29-SK16 断面 (北から)



29-SK17 断面 (東から)



29-SK18 断面 (南から)



29-SK19 断面 (南から)



29-SK21 断面 (東から)



29-SK19 遺物出土状況 (南から)



29-SK33 断面（南から）



29-SK36 断面（南から）



29-SK51 断面（南から）



29-SK58 断面（南から）



29-SK65 断面（南から）



29-SK66 断面（南西から）



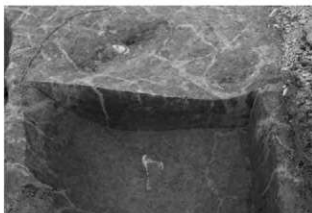
30-SK 5 断面（北から）



32-SK 2 断面（南東から）



32-SK 3 断面 (南から)



32-SK12 断面 (東から)



32-SK13 断面 (南西から)



32-SK15 断面 (東から)



34-SK 4 断面 (南から)



34-SK 5 断面 (西から)



37-SK 1 断面 (西から)



37-SK 2 断面 (東から)



39-SK 2 断面 (東から)



46-SK 6 断面 (西から)



46-SK10 断面 (南から)



第1回現地説明会



第2回現地説明会



第3回現地説明会



親子文化財教室の様子



現地説明会における遺物の公開風景



第9調査区 噴礫確認状況（東から）



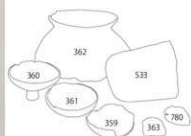
第5調査区 噴礫確認状況（西から）



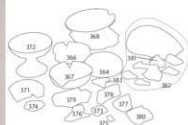
第7調査区 噴礫確認状況（西から）



出土遺物集合



14- 竪穴 1 出土遺物

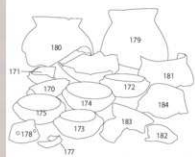


14- 竪穴 22 出土遺物

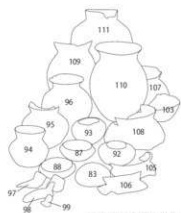


7- 竪穴 5 出土遺物

竪穴建物 出土遺物 (～T K 208 型式)



豎穴建物 出土遺物 (TK 23 ~ TK 10 型式)



3- 竪穴 45 出土遺物



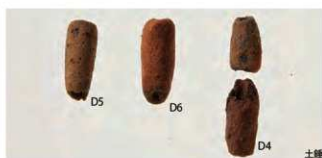
6- 竪穴 3 出土遺物

竪穴建物 出土遺物 (TK 10 ~ TK 209 型式)





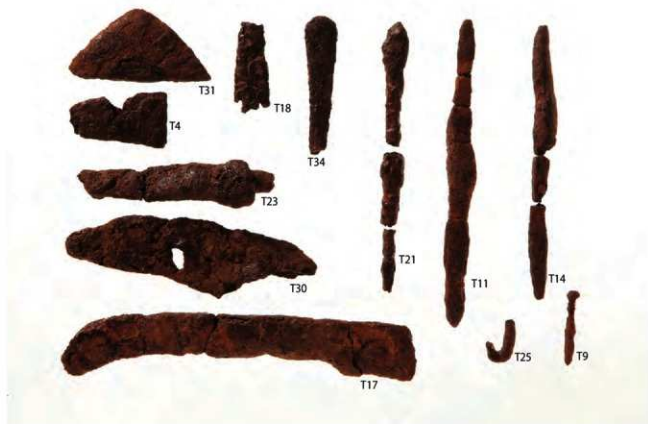
玉類



土錘



鉄滓他



鉄製品



7- 竪穴 5 (1・6～9)・6- 竪穴 1(11) 出土遺物



6- 竪穴 8 出土遺物



6- 竪穴 7 出土遺物



59



56



57



63



68



237



238



239



64



65

3- 竪穴 55 (56・57・59・63～65・68)・3-SK23 (237～239) 出土遺物



4- 竪穴 30 (185・186・190～195)・3- 竪穴 50 (266・269) 出土遺物





139



146



142



147



143



216



145



149



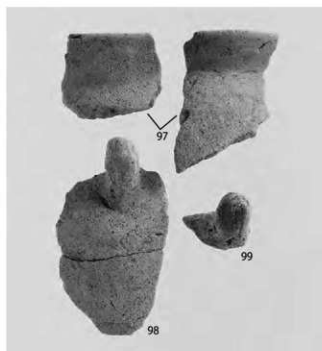
217



163

4- 竪穴 20 (139・142・143・145～147・149)・3- 竪穴 40 (216・217)・4- 竪穴 99 (163) 出土遺物







173



172



174



175



170



171



178



181



179



180



184



75



73



74



271



77



204



205



161



261

6- 竪穴 2 (73 ~ 75 · 77) · 7- 竪穴 3 (271) · 23- 竪穴 5 (204 · 205) · 21- 竪穴 20 (161) · 21- 竪穴 2 (261) 出土遺物



227



229



218



222



236



221



220



232



231



279



240



241



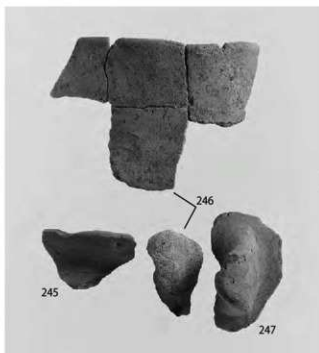
206



207



215



245

246

247



244

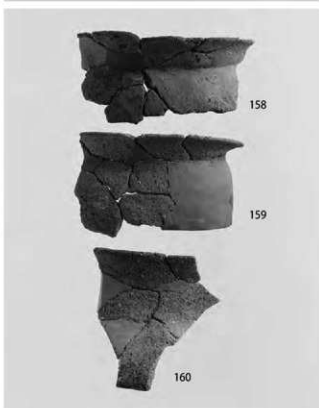


243



248

4- 掘立 1 (279) ・ 3- 竪穴 110 (240 ・ 241 ・ 243 ~ 248) ・ 5- 竪穴 1 (206 ・ 207) ・ 3- 竪穴 40 (215) 出土遺物







275



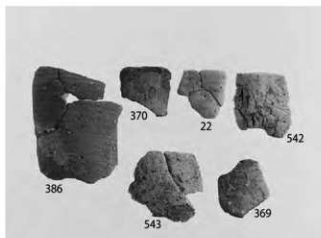
297・298



340



295



6- 竪穴 8 (22)

14-SD70 (542・543)

14- 竪穴 19 (386)

14- 竪穴 22 (369・370)

出土遺物



339

7- 掘立 1 (275)・24-SK2 (340)・24-SK5 (339)・45-SD1 (297・298・S29)・45-SD4 (295) 他 出土遺物

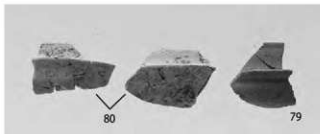




8- 竪穴 4 出土遺物



78



80

79



345



292



294



293



291

8- 竪穴 2 (78 ~ 80) ・ 8-SD7 (292 ・ 293) ・ 9-SX126 (345) ・ 9-SD117 (294) ・ 9-SD3 (291) 出土遺物



351



249



257



250



253



251



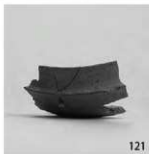
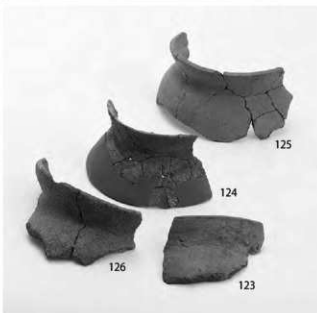
255



81



252





127



165



122



165



166



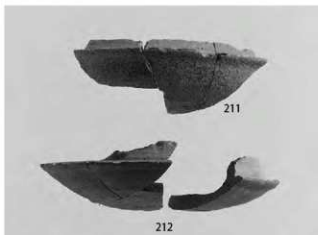
168



210



129



211



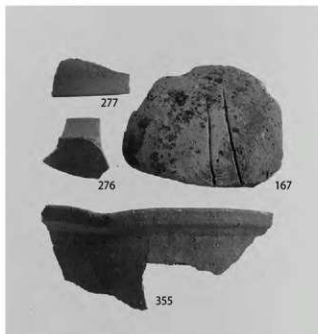
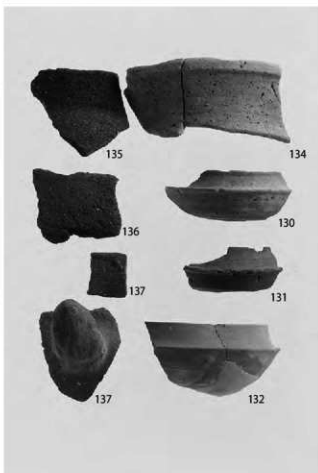
212



133



213



10- 掘立 1 SP105(277)

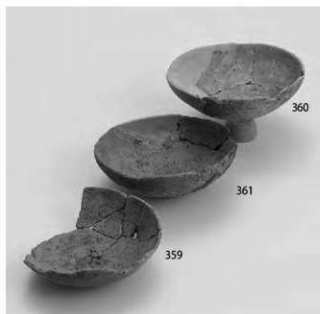
10- 掘立 2 SP17(276)

10-SX2(167)

10-SP15(355) 出土遺物

10- 竪穴 210(210 ~ 213)・10- 竪穴 201(129 ~ 137) 他 出土遺物







396



404



401

403



407

406

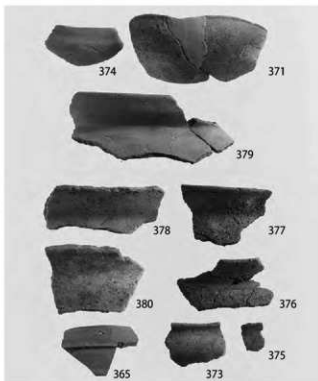
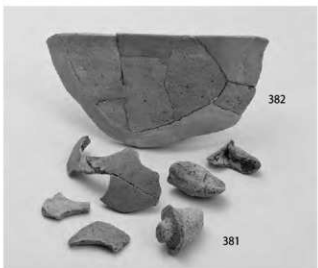
410

408

405



409





415



421



413

412

417

414

418

420

419



416



424



423



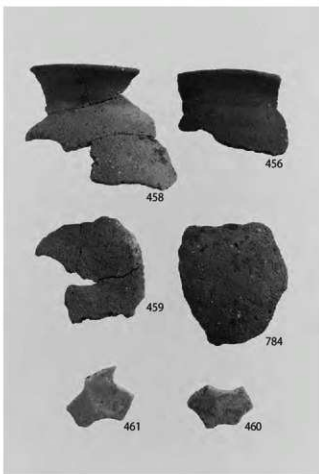
411

558

14- 竪穴 25 (412 ~ 421) ・ 14- 竪穴 40 (423 ・ 424) ・ 14-SK469 (558) ・ 14- 竪穴 28 (411) 出土遺物

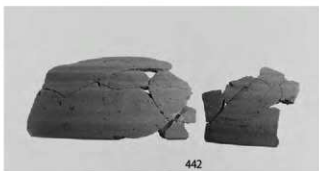


27- 竪穴 1 (426 ~ 430) ・ 14- 竪穴 5 (431 ~ 436) ・ 14- 竪穴 21 (445) ・ 14- 竪穴 2 (446) 出土遺物





27- 竪穴 2 (465 ~ 470) ・ 14- 竪穴 29 (490 ・ 491) ・ 14- 竪穴 18 (475) 出土遺物



14- 竪穴 23 (462) ・ 14- 竪穴 20 (384) ・ 14- 竪穴 26 (425) ・

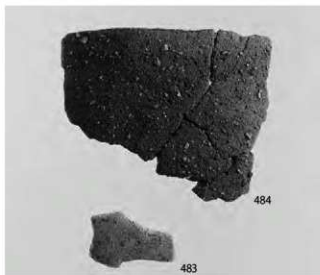
14- 竪穴 16 (439 ・ 441) ・ 14- 竪穴 15 (442 ・ 444) ・ 27- 竪穴 3 (389) 出土遺物



480



496



484

483



494



495

497



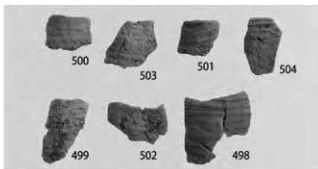
481



505



506



500

503

501

504

499

502

498

14- 竖穴 12 (480・481・483・484)・14- 掘立 14 (506)・14- 掘立 11 (494～505) 出土遺物



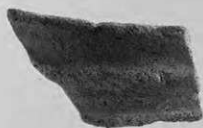
531



528



529



545



552



532



533



519

550

551

534



520



521



522



523



524



525



544



530



535



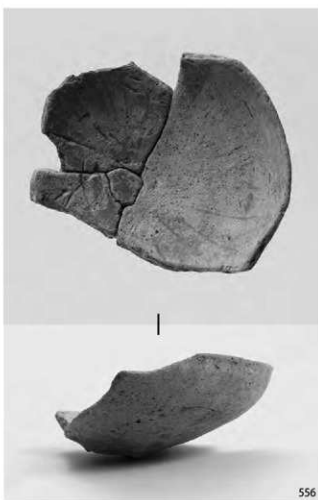
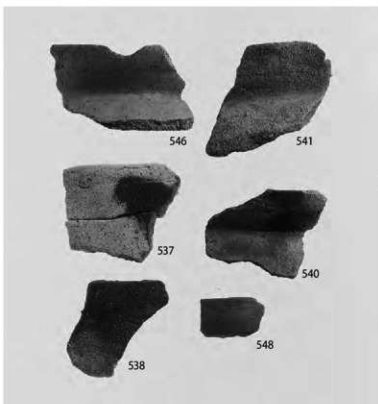
536



527



526





560



582



584



561

562



581



583



595



587

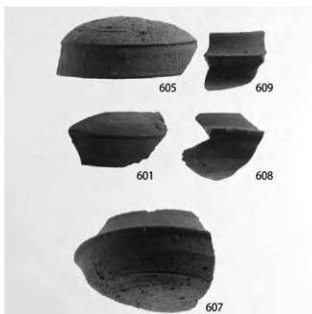


706



588

28- 竪穴 1 (560 ~ 562) ・ 28- 竪穴 30 (595) ・ 28-SK5 (706) ・ 28- 竪穴 3 (581 ~ 584 ・ 587 ・ 588) 出土遺物



29- 竪穴 45 (599・601～609)・29- 竪穴 80 (570・571・572) 出土遺物



710



711



708



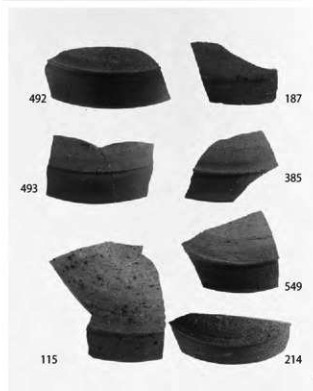
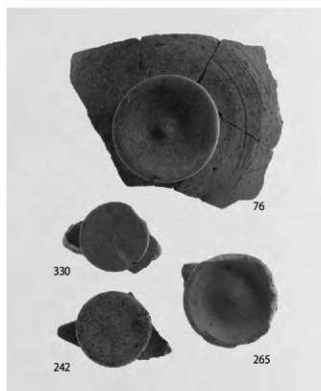
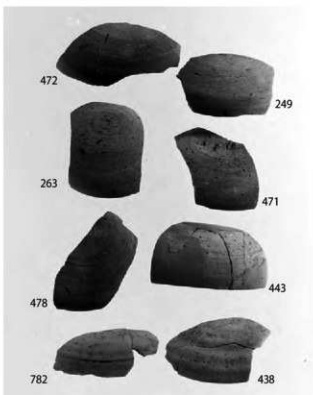
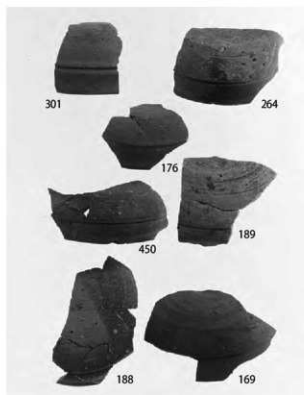
709



712



29-SX60(717)・29-SD64(613)・29-SD62(611)・29-SK12(707)・41- 竪穴 3(579)・30-SD7(610) 出土遺物



4- 竪穴 30(188・189)
3- 竪穴 108(169・176)
3- 竪穴 50(264)
3-SD1(301)
14- 竪穴 30(450)
出土遺物

6- 竪穴 2(76)
3- 竪穴 110(242)
3- 竪穴 108(330)
3- 竪穴 50(265)
出土遺物

3- 竪穴 50(263)
10- 竪穴 301(249)
14- 竪穴 12(478)
14- 竪穴 18(471・472)
14- 竪穴 16(438)
14- 竪穴 15(443)
6- 竪穴 2(782)
出土遺物

14- 竪穴 30(187)
3- 竪穴 40(214)
10- 竪穴 110(115)
14- 竪立 11(492・493)
14-SD70(549)
14- 竪穴 19(385)
出土遺物



9-SD205 出土遺物



312



311



313



32-SD20 出土遺物



D8



36-SD10 出土遺物



660



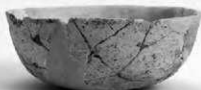
658・659



322



326



323



319



321



314



317



324



316



315



619



623



620



630



647



639



624



625



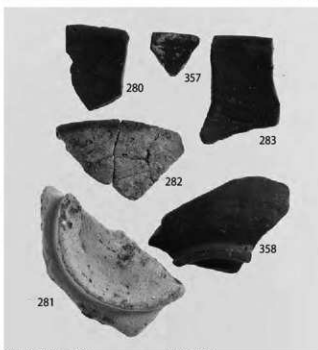
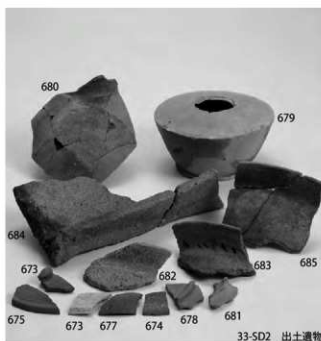
627

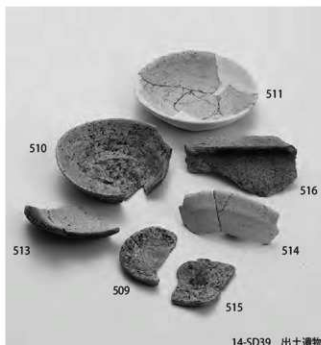


657

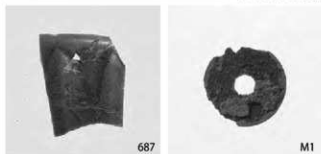
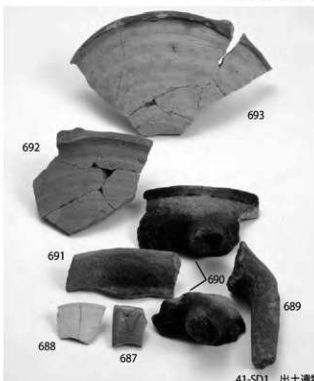
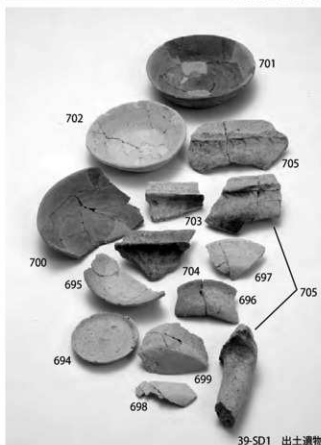


636



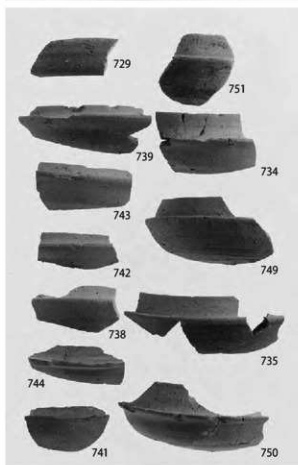


29-SD10 出土遺物



古代以降の出土遺物







770



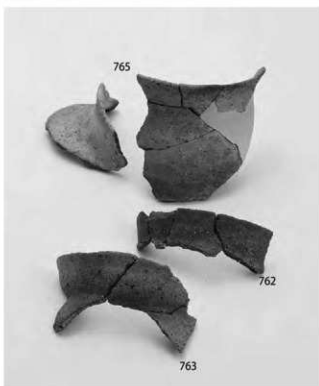
761



775



776



765

762

763

報 告 書 抄 録

ふりがな	はぎのまえ・いっぽんぎいせきⅠ						
書名	萩前・一本木遺跡Ⅰ						
副書名	新病院整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
巻次	第1冊						
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告						
シリーズ番号	第177集						
編著者名	舩築 紀子、森原 奈々						
編集機関	高松市教育委員会						
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2660						
発行年月日	平成29年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ° ' "	東経 ° ' "	整備期間	整備 面積	発掘 原因
はぎのまえ・いっぽんぎいせき 萩前・一本木遺跡	かがはけん 香川県 たかまつし 高松市 ふかしやまのまち 仏生山町	37201	34° 16' 58"	134° 2' 26"	第1次調査 2011.7.4～ 2012.3.22	8,413㎡	新病院 整備事業
			34° 16' 57"	134° 2' 20"	第2次調査 2012.3.26～ 2012.10.29	3,028㎡	
			34° 16' 55"	134° 2' 25"	第3次調査 2015.2.23～ 3.17 2015.4.3～ 8.24 2015.11.16～ 12.17	553㎡ 1,407㎡ 531㎡	
所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構		おもな遺物	特記事項	
萩前・一本木遺跡	集落遺跡	古墳時代中期 古墳時代後期 飛鳥時代 古代 中世	堅穴建物 土坑 溝 掘立柱建物 柵 方形区画溝 水路		土師器（古墳時代） 須恵器（古墳時代・ 飛鳥時代） 鉄器 石器など	古墳時代中期後葉から古墳時代後期の堅穴建物約94棟掘立柱建物34棟を検出した。 その他、飛鳥時代の基幹水路及び中世の溝を検出した。	
要約	高松市仏生山町に所在する、古墳時代中期から飛鳥時代を中心とする集落遺跡である。今回の調査では、古墳時代中期後葉から古墳時代後期の堅穴建物約94棟を検出しており、特に古墳時代中期から後期のカマドに関する良好な資料が得られた。また、古墳時代の居住域を圍繞する方形区画溝、飛鳥時代の基幹水路を検出した。						

2017年3月17日 印刷

2017年3月31日 発行

高松市埋蔵文化財調査報告第177集
新病院整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
萩前・一本木遺跡Ⅰ

—第3分冊—

著作権所有 高松市番町一丁目8番15号

発行者 高松市教育委員会

印刷者 株式会社 美巧社